

茨木市のまちづくりに関するアンケート

報告書

平成31年3月

茨木市

目次

I	調査の概要	1
1	調査目的.....	1
2	実施要領.....	1
3	報告書の見方.....	2
II	調査結果	3
1	回答者の属性.....	3
2	今後の定住意向について.....	7
3	茨木市の現状への満足度と今後の充実への期待度について.....	13
4	市政に関する情報の入手方法について.....	41
5	茨木市内での移動について.....	47
6	地域活動への参加状況について.....	59
7	防災への取り組みについて.....	77
	資料編	87
	調査票見本.....	87

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「第5次茨木市総合計画」の中間年である平成31（2019）年度に計画を見直し、「第5次茨木市総合計画（後期基本計画）」策定の基礎資料とするために、市民が日頃まちづくりについて考えていることや、まちづくりに対する率直な意見を把握することを目的とする。

2 実施要領

（1）調査対象

茨木市に居住する18歳以上の市民5,000人

（2）調査方法

調査対象を無作為に抽出し、郵送により調査票を配布・回収

（3）調査期間

平成31年1月8日（火）～平成31年1月28日（月）

（4）回収状況

発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
5,000 票	1,435 票	1,434 票	28.7 %

3 報告書の見方

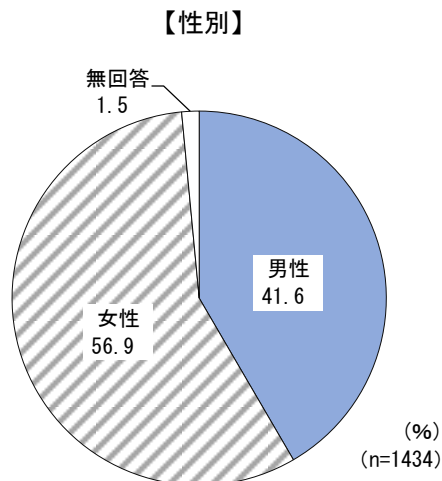
- (1) 表中の「調査数」及び図中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
 - (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
 - (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
 - (4) 図表中に以下の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。
 - ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ 2 LA% (2 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
- ※特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問である。

II 調查結果

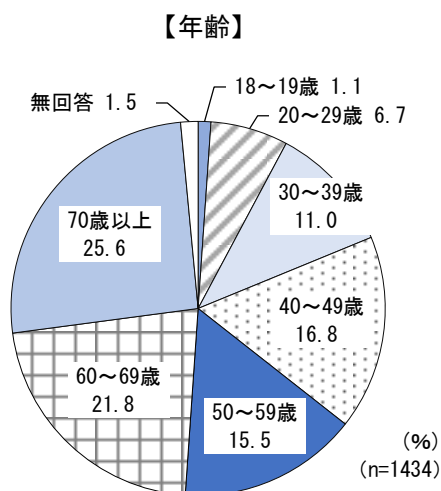
1 回答者の属性

(1) 性別・年齢

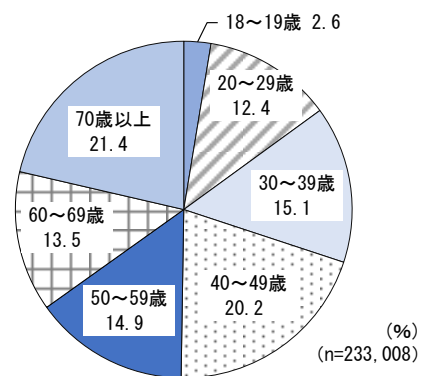
問1 あなたの性別・年齢について、記載してください。



回答者の性別は、「男性」が41.6%に対し、「女性」が56.9%となっている。



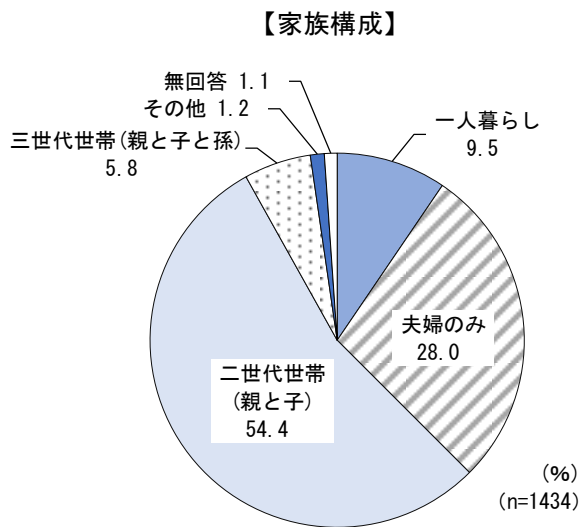
【(参考) 平成30年12月31日時点の
茨木市の人口構成 (18歳以上)】



回答者の年齢は、「70歳以上」が25.6%と最も高く、次いで「60～69歳」が21.8%となっており、60歳以上が半数近く(47.4%)を占めている。

(2) 家族構成

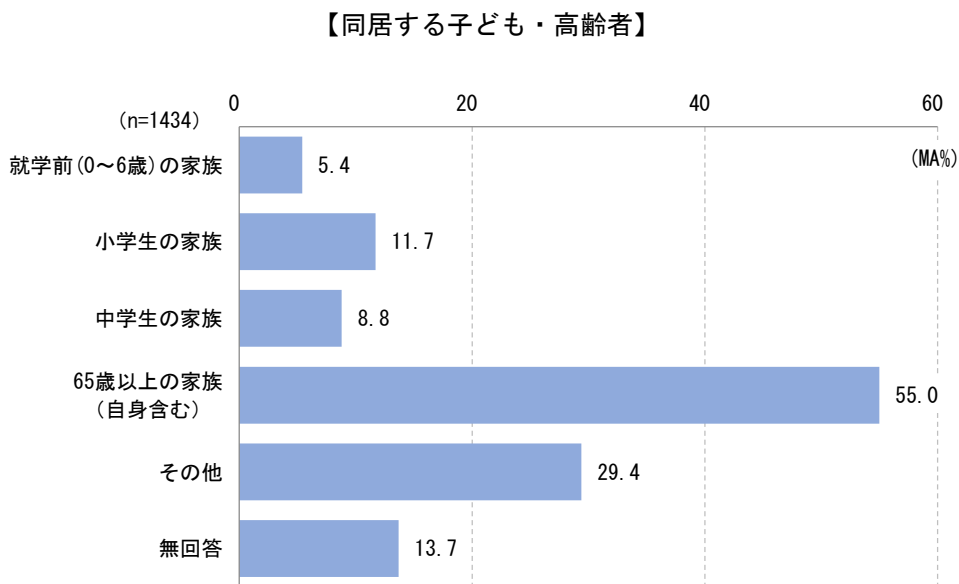
問2 あなたの家族構成について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



回答者の家族構成は、「二世世代世帯 (親と子)」が 54.4%を占めており、次いで「夫婦のみ」が 28.0%、「一人暮らし」が 9.5%となっている。

(3) 同居する子ども・高齢者

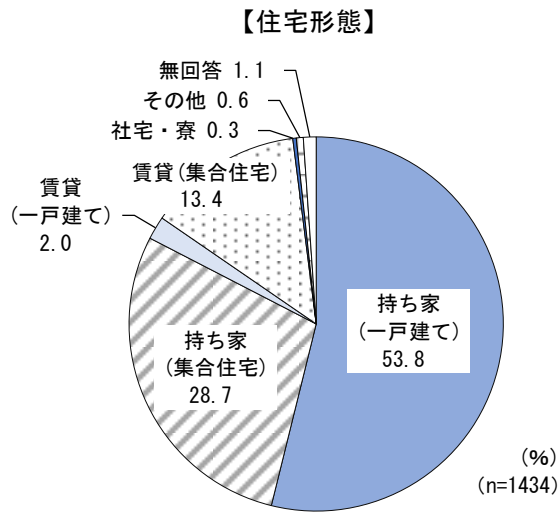
問3 下記のようなご家族と同居していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



同居する子どもや高齢者としては、「65歳以上の家族 (自身含む)」が 55.0%と最も高くなっている。また、就学前・小学生・中学生の子どもがいる世帯は概ね1割前後となっている。

(4) 住宅形態

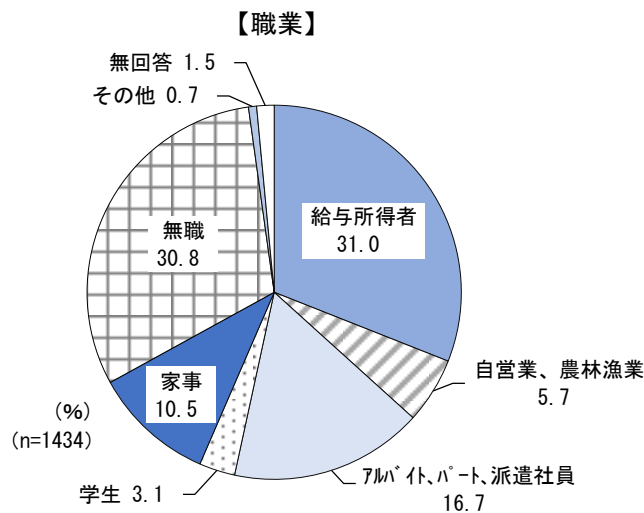
問4 あなたがお住まいの住宅の種類について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



回答者の住まいの形態としては、「持ち家 (一戸建て)」が 53.8%を占めており、次いで「持ち家 (集合住宅)」が 28.7%、「賃貸 (集合住宅)」が 13.4%となっている。

(5) 職業

問5 あなたの職業(兼業の場合は主なほう)について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



回答者の職業としては、「給与取得者」が 31.0%、「無職」が 30.8%と高くなっており、「アルバイト、パート、派遣社員」が 16.7%と続いている。

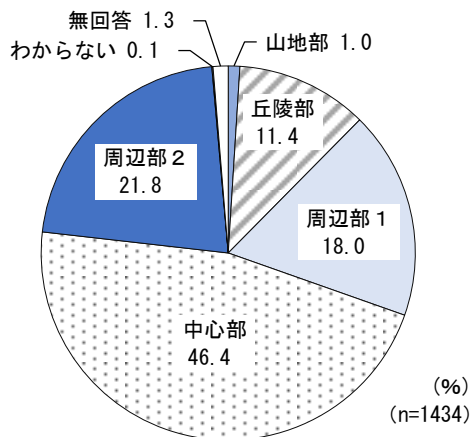
(6) 居住する地区と小学校区

問6 あなたはどの小学校区にお住まいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

【居住する小学校区】

地区	小学校区	回答数	構成比
山間部	清溪小学校	2	0.1
	忍頂寺小学校	12	0.8
	小計(山間部)	14	1.0
丘陵部	安威小学校	21	1.5
	福井小学校	31	2.2
	豊川小学校	19	1.3
	山手台小学校	56	3.9
	彩都西小学校	37	2.6
	小計(丘陵部)	164	11.4
周辺部1	郡山小学校	27	1.9
	太田小学校	54	3.8
	郡小学校	26	1.8
	沢池小学校	53	3.7
	耳原小学校	37	2.6
	西小学校	28	2.0
	西河原小学校	33	2.3
	小計(周辺部1)	258	18.0
中心部	茨木小学校	74	5.2
	春日小学校	69	4.8
	春日丘小学校	58	4.0
	三島小学校	40	2.8
	中条小学校	69	4.8
	玉櫛小学校	51	3.6
	大池小学校	85	5.9
	中津小学校	61	4.3
	水尾小学校	61	4.3
	庄栄小学校	33	2.3
	畑田小学校	19	1.3
	穂積小学校	45	3.1
	小計(中心部)	665	46.4
周辺部2	玉島小学校	45	3.1
	東小学校	45	3.1
	天王小学校	79	5.5
	葦原小学校	45	3.1
	白川小学校	49	3.4
	東奈良小学校	50	3.5
小計(周辺部2)	313	21.8	
わからない		2	0.1
無回答		18	1.3
合計		1,434	100.0

【居住する地区】

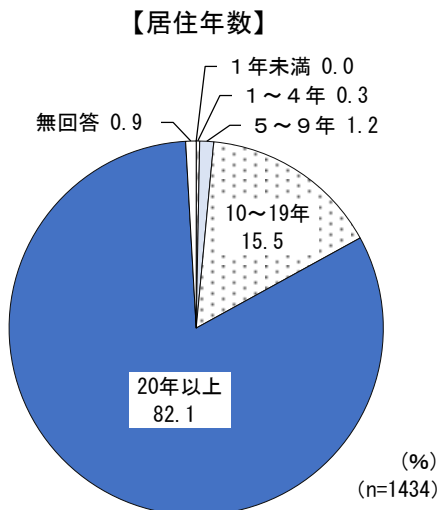


居住する小学校は、「(中心部) 大池小学校」が 5.9%と最も高く、次いで「(周辺部2) 天王小学校」が 5.5%、「(中心部) 茨木小学校」が 5.2%となっている。

2 今後の定住意向について

(1) 居住年数

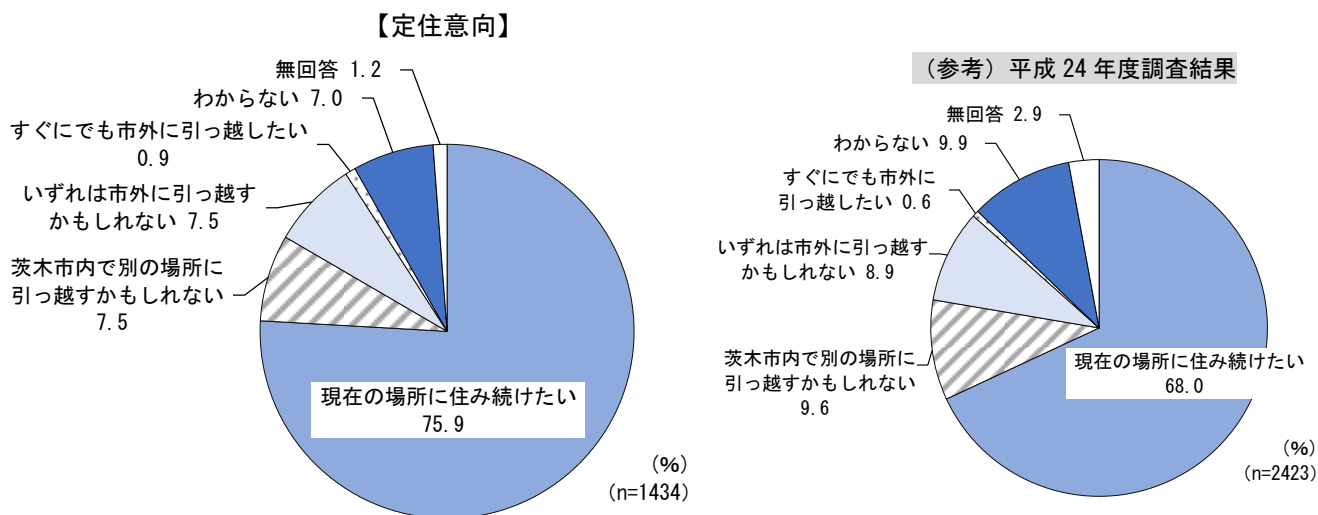
問7 あなたは茨木市に通算して何年お住まいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



茨木市での居住年数としては、「20年以上」が82.1%を占めており、次いで「10～19年」が15.5%となっている。

(2) 定住意向

問8 今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思われませんか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



今後も現在の住む場所に住み続けたいと思うかについて、「現在の場所に住み続けたい」が75.9%を占めており、次いで「茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」、「いずれは市外に引っ越すかもしれない」がともに7.5%となっている。

平成24年度に実施した前回調査（以降「前回調査」とする）と比較すると、「現在の場所に住み続けたい」が7.9ポイント増えている。

【回答者の属性等別 定住意向】

(上段：人、下段：%)

	調査数	現在の場所に 住み続けたい	茨木市内 でも別の場所 に引っ越さない	いずれは市外 に引っ越す かもしれない	すぐにでも 市外に引っ 越したい	わからない	無回答	
市全体	1434 100.0	1089 75.9	107 7.5	108 7.5	13 0.9	100 7.0	17 1.2	
【性別】	男性	597 100.0	466 78.1	41 6.9	44 7.4	7 1.2	35 5.9	4 0.7
	女性	816 100.0	615 75.4	66 8.1	62 7.6	6 0.7	65 8.0	2 0.2
【年齢】	18～29歳	112 100.0	56 50.0	13 11.6	23 20.5	5 4.5	15 13.4	0 0.0
	30～39歳	158 100.0	105 66.5	22 13.9	20 12.7	1 0.6	10 6.3	0 0.0
	40～49歳	241 100.0	171 71.0	22 9.1	29 12.0	3 1.2	15 6.2	1 0.4
	50～59歳	222 100.0	168 75.7	19 8.6	16 7.2	1 0.5	18 8.1	0 0.0
	60～69歳	312 100.0	248 79.5	21 6.7	12 3.8	3 1.0	27 8.7	1 0.3
	70歳以上	367 100.0	332 90.5	10 2.7	6 1.6	0 0.0	15 4.1	4 1.1
【居住年数】	10年未満	21 100.0	15 71.4	3 14.3	1 4.8	0 0.0	2 9.5	0 0.0
	10～19年	222 100.0	146 65.8	22 9.9	40 18.0	1 0.5	13 5.9	0 0.0
	20年以上	1178 100.0	928 78.8	81 6.9	66 5.6	12 1.0	85 7.2	6 0.5
【居住する地区】	山地部	14 100.0	11 78.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1
	丘陵部	164 100.0	117 71.3	10 6.1	19 11.6	4 2.4	12 7.3	2 1.2
	周辺部1	258 100.0	204 79.1	17 6.6	16 6.2	3 1.2	17 6.6	1 0.4
	中心部	665 100.0	517 77.7	54 8.1	46 6.9	5 0.8	41 6.2	2 0.3
	周辺部2	313 100.0	234 74.8	24 7.7	27 8.6	1 0.3	27 8.6	0 0.0
	わからない	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

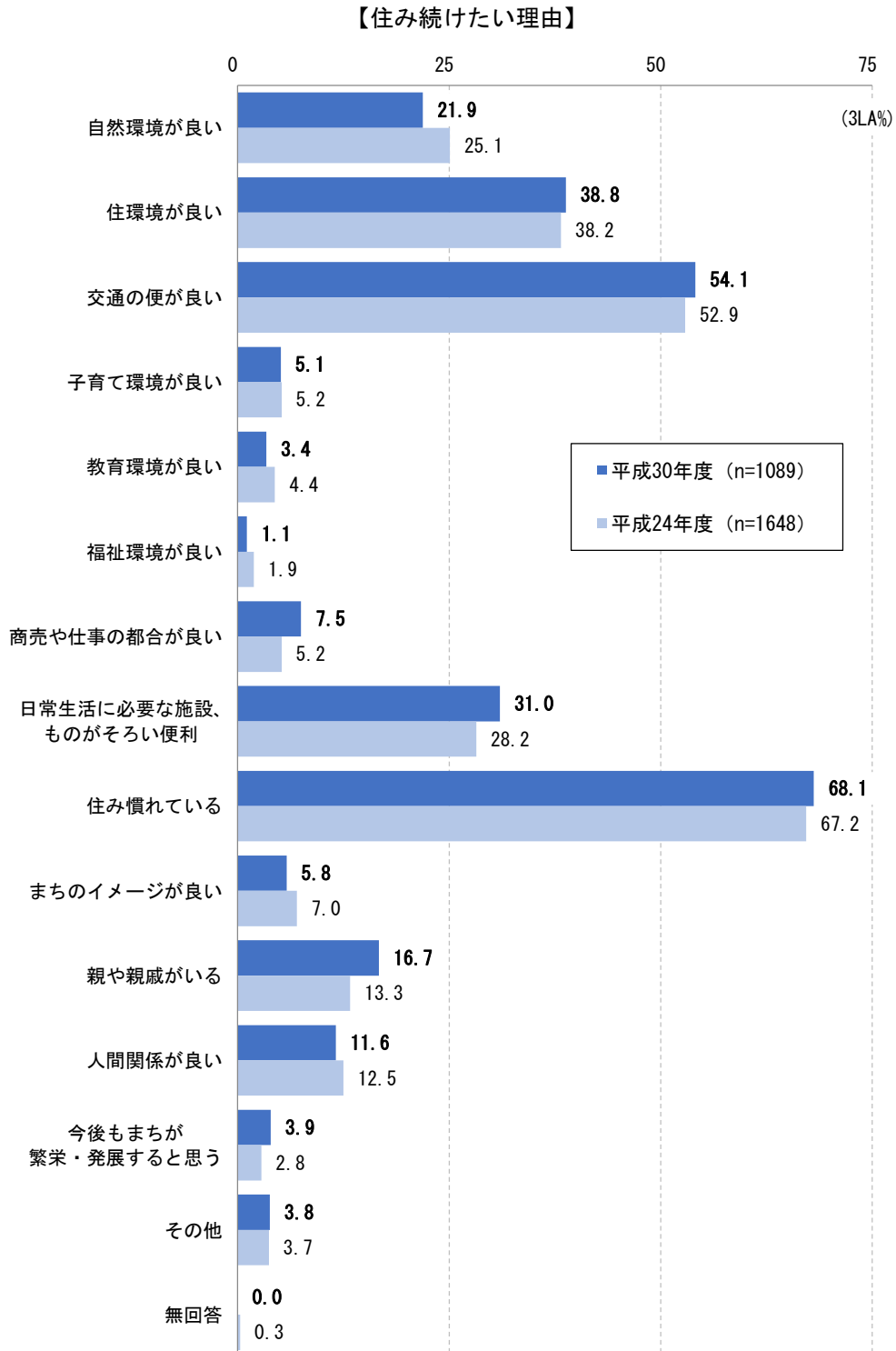
年齢別にみると、年代が上がるにしたがって「現在の場所に住み続けたい」は高くなる傾向にあり、40歳以上で7～9割台を占める。一方、“引っ越すかもしれない、または引っ越したい”という割合（「茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」「いずれは市外に引っ越すかもしれない」「すぐにでも市外に引っ越したい」の計）が10・20歳代で36.6%、30歳代で27.2%と高い。

居住する地区別にみると、「現在の場所に住み続けたい」が周辺部1で79.1%、“引っ越すかもしれない、または引っ越したい”という割合が丘陵部で20.1%と、それぞれ最も高くなっている。

(3) 住み続けたい理由

(問8で「1. 現在の場所に住み続けたい」とお答えになった方にお聞きます。)

問9 茨木市内に住み続けたい理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。



今後も現在住んでいる場所に住み続けたいと回答した人の理由としては、「住み慣れている」が68.1%と最も高く、次いで「交通の便が良い」が54.1%、「住環境が良い」が38.8%、「日常生活に必要な施設、ものがそろい便利」が31.0%となっている。

前回調査と比較しても、上位項目にさほど大きな差はみられないものの、概ねいずれの項目も割合がやや増えている。

【回答者の属性等別 住み続けたい理由】

(上段：人、下段：%)

	調査数	自然環境が良い	住環境が良い	交通の便が良い	子育て環境が良い	教育環境が良い	福祉環境が良い	い 商売や仕事の都合が良い	設、日常生活に必要な施設	住み慣れている	ま 町のイメージが良い	親や親戚がいる	人間関係が良い	展 今後もまちが繁栄・発展すると思う	その他	無回答
市全体	1089 100.0	239 21.9	422 38.8	589 54.1	55 5.1	37 3.4	12 1.1	82 7.5	338 31.0	742 68.1	63 5.8	182 16.7	126 11.6	42 3.9	41 3.8	0 0.0
【性別】																
男性	466 100.0	114 24.5	202 43.3	252 54.1	23 4.9	19 4.1	2 0.4	41 8.8	127 27.3	299 64.2	27 5.8	71 15.2	39 8.4	24 5.2	22 4.7	0 0.0
女性	615 100.0	123 20.0	218 35.4	333 54.1	32 5.2	18 2.9	10 1.6	40 6.5	209 34.0	441 71.7	36 5.9	109 17.7	84 13.7	18 2.9	19 3.1	0 0.0
【年齢】																
18～29歳	56 100.0	9 16.1	19 33.9	37 66.1	2 3.6	4 7.1	0 0.0	2 3.6	17 30.4	37 66.1	7 12.5	29 51.8	3 5.4	6 10.7	0 0.0	0 0.0
30～39歳	105 100.0	20 19.0	30 28.6	57 54.3	25 23.8	9 8.6	1 1.0	12 11.4	32 30.5	54 51.4	15 14.3	29 27.6	10 9.5	3 2.9	4 3.8	0 0.0
40～49歳	171 100.0	19 11.1	70 40.9	100 58.5	13 7.6	8 4.7	2 1.2	22 12.9	55 32.2	103 60.2	13 7.6	43 25.1	11 6.4	6 3.5	9 5.3	0 0.0
50～59歳	168 100.0	25 14.9	72 42.9	91 54.2	4 2.4	4 2.4	4 2.4	26 15.5	51 30.4	112 66.7	11 6.5	26 15.5	19 11.3	5 3.0	5 3.0	0 0.0
60～69歳	248 100.0	63 25.4	95 38.3	132 53.2	3 1.2	3 1.2	0 0.0	12 4.8	79 31.9	188 75.8	4 1.6	31 12.5	30 12.1	7 2.8	9 3.6	0 0.0
70歳以上	332 100.0	102 30.7	133 40.1	167 50.3	8 2.4	9 2.7	5 1.5	8 2.4	102 30.7	243 73.2	13 3.9	22 6.6	52 15.7	15 4.5	14 4.2	0 0.0
【居住年数】																
10年未満	15 100.0	8 53.3	8 53.3	6 40.0	8 53.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0	6 40.0	6 40.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0
10～19年	146 100.0	21 14.4	64 43.8	91 62.3	27 18.5	16 11.0	2 1.4	17 11.6	55 37.7	55 37.7	22 15.1	25 17.1	15 10.3	7 4.8	8 5.5	0 0.0
20年以上	928 100.0	210 22.6	350 37.7	492 53.0	20 2.2	19 2.0	10 1.1	65 7.0	277 29.8	681 73.4	41 4.4	157 16.9	109 11.7	34 3.7	33 3.6	0 0.0
【居住する地区】																
山地部	11 100.0	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	10 90.9	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0
丘陵部	117 100.0	62 53.0	46 39.3	14 12.0	16 13.7	3 2.6	2 1.7	7 6.0	12 10.3	79 67.5	12 10.3	19 16.2	14 12.0	5 4.3	8 6.8	0 0.0
周辺部1	204 100.0	76 37.3	84 41.2	54 26.5	12 5.9	10 4.9	2 1.0	17 8.3	34 16.7	139 68.1	13 6.4	31 15.2	34 16.7	13 6.4	10 4.9	0 0.0
中心部	517 100.0	57 11.0	185 35.8	375 72.5	13 2.5	17 3.3	7 1.4	45 8.7	226 43.7	334 64.6	25 4.8	88 17.0	48 9.3	17 3.3	15 2.9	0 0.0
周辺部2	234 100.0	34 14.5	105 44.9	143 61.1	14 6.0	7 3.0	1 0.4	11 4.7	64 27.4	175 74.8	12 5.1	42 17.9	28 12.0	7 3.0	7 3.0	0 0.0
わからない	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

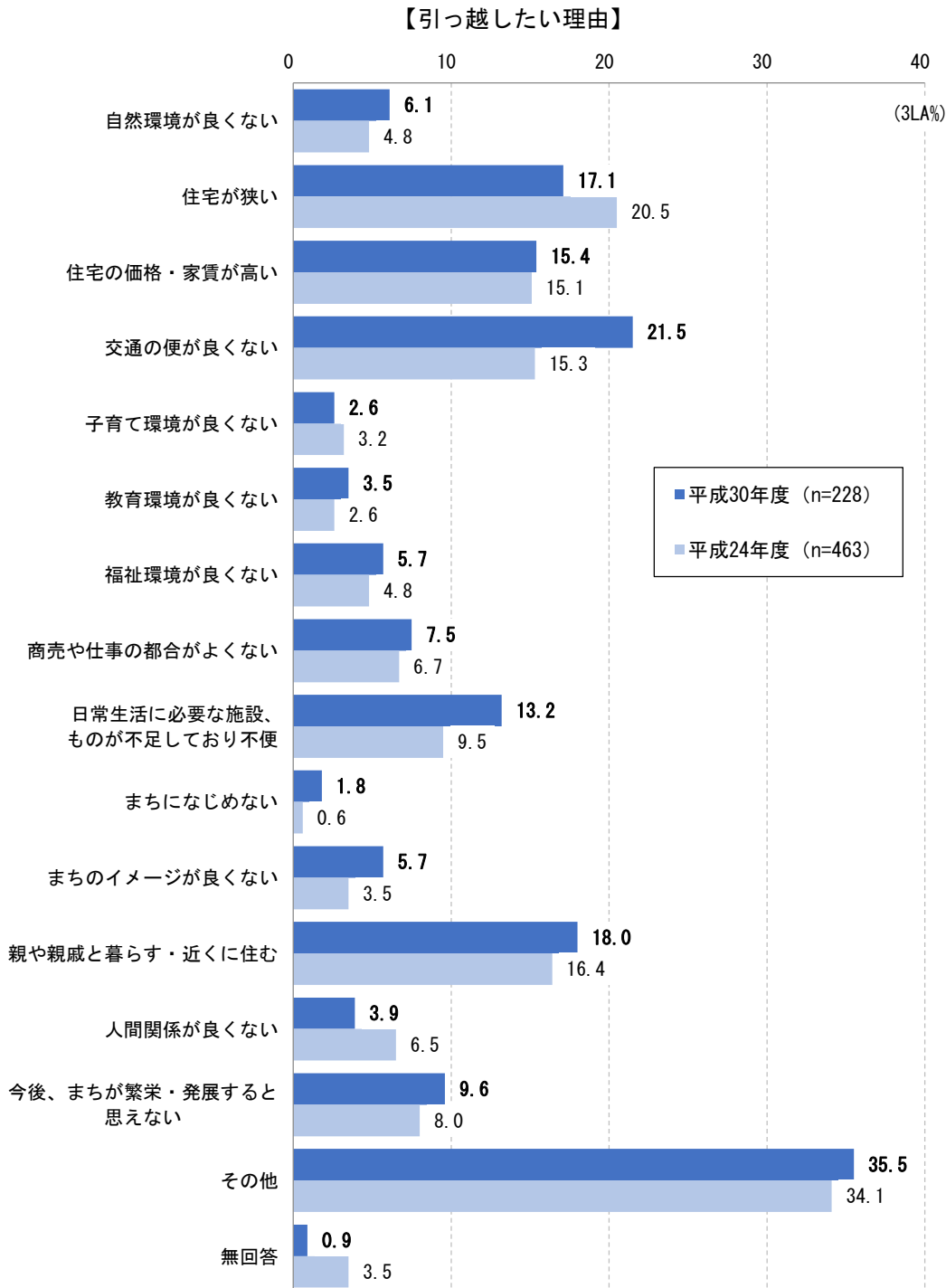
年齢別にみると、いずれの年齢層も「住み慣れている」または「交通の便が良い」で最も高くなっており、「住み慣れている」が60歳代で75.8%、「交通の便が良い」が10・20歳代で66.1%と特に高い。また、「親や親戚がいる」が10・20歳代で51.8%と、「子育て環境が良い」が30歳代で23.8%と、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住する地区別にみると、「交通の便が良い」が中心部、周辺部2で6～7割台、「自然環境が良い」が山間部、丘陵部で5～6割台と、それぞれ高くなっている。

(4) 引っ越したい理由

(問8で「2. 茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」、「3. いずれは市外に引っ越すかもしれない」、「4. すぐにも市外に引っ越したい」とお答えになった方にお聞きます。)

問10 その理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。



今後、現在住んでいる場所から引っ越すかもしれない、または引っ越したいと回答した人の理由としては、「交通の便が良くない」が21.5%と最も高く、次いで「親と親戚と暮らす・近くに住む」が18.0%、「住宅が狭い」が17.1%となっている。また、「その他」の具体的内容としては、「結婚・就職・転勤に伴う転居の可能性があるため」といった意見が多くみられた。前回調査と比較すると、「交通の便が良くない」が6.2ポイント増えている。

【回答者の属性等別 引っ越したい理由】

(上段：人、下段：%)

	調査数	自然環境が良くない	住宅が狭い	住宅の価格・家賃が高い	交通の便が良くない	子育て環境が良くない	教育環境が良くない	福祉環境が良くない	商売や仕事の都合がよくない	ものが不足しており不便	日常生活に必要な施設、まちになじめない	まちなイメージが良くない	親や親戚と暮らす・近くに住む	人間関係が良くない	今後、まちが繁栄・発展すると思えない	その他	無回答	
市全体	228	14	39	35	49	6	8	13	17	30	4	13	41	9	22	81	2	
	100.0	6.1	17.1	15.4	21.5	2.6	3.5	5.7	7.5	13.2	1.8	5.7	18.0	3.9	9.6	35.5	0.9	
【性別】	男性	92	5	15	10	21	0	4	10	9	12	1	10	17	5	15	34	1
		100.0	5.4	16.3	10.9	22.8	0.0	4.3	10.9	9.8	13.0	1.1	10.9	18.5	5.4	16.3	37.0	1.1
	女性	134	9	24	25	28	6	4	3	8	18	3	3	23	4	6	46	1
		100.0	6.7	17.9	18.7	20.9	4.5	3.0	2.2	6.0	13.4	2.2	2.2	17.2	3.0	4.5	34.3	0.7
【年齢】	18～29歳	41	2	2	7	8	1	0	2	6	4	0	2	3	2	5	21	0
		100.0	4.9	4.9	17.1	19.5	2.4	0.0	4.9	14.6	9.8	0.0	4.9	7.3	4.9	12.2	51.2	0.0
	30～39歳	43	4	11	10	6	2	1	2	4	6	1	1	8	4	6	10	1
		100.0	9.3	25.6	23.3	14.0	4.7	2.3	4.7	9.3	14.0	2.3	2.3	18.6	9.3	14.0	23.3	2.3
	40～49歳	54	1	13	4	11	2	4	2	6	6	0	3	12	1	2	16	0
		100.0	1.9	24.1	7.4	20.4	3.7	7.4	3.7	11.1	11.1	0.0	5.6	22.2	1.9	3.7	29.6	0.0
50～59歳	36	4	5	4	8	0	0	0	0	6	3	1	8	1	1	14	1	
	100.0	11.1	13.9	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	2.8	22.2	2.8	2.8	38.9	2.8	
60～69歳	36	1	6	8	14	0	1	4	1	5	0	3	6	0	3	13	0	
	100.0	2.8	16.7	22.2	38.9	0.0	2.8	11.1	2.8	13.9	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3	36.1	0.0	
70歳以上	16	1	2	2	2	0	1	3	0	3	0	2	3	1	4	6	0	
	100.0	6.3	12.5	12.5	12.5	0.0	6.3	18.8	0.0	18.8	0.0	12.5	18.8	6.3	25.0	37.5	0.0	
【居住年数】	10年未満	4	0	0	3	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	10～19年	63	5	9	9	12	3	3	3	7	7	0	2	15	3	8	22	1
	100.0	7.9	14.3	14.3	19.0	4.8	4.8	4.8	11.1	11.1	0.0	3.2	23.8	4.8	12.7	34.9	1.6	
20年以上	159	9	30	21	35	3	5	9	9	21	3	11	25	6	13	59	1	
	100.0	5.7	18.9	13.2	22.0	1.9	3.1	5.7	5.7	13.2	1.9	6.9	15.7	3.8	8.2	37.1	0.6	
【居住する地区】	山地部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	丘陵部	33	0	3	1	19	0	1	2	3	8	0	2	4	2	5	8	1
		100.0	0.0	9.1	3.0	57.6	0.0	3.0	6.1	9.1	24.2	0.0	6.1	12.1	6.1	15.2	24.2	3.0
	周辺部1	36	1	5	5	10	0	0	2	3	9	2	2	6	4	5	12	0
		100.0	2.8	13.9	13.9	27.8	0.0	0.0	5.6	8.3	25.0	5.6	5.6	16.7	11.1	13.9	33.3	0.0
中心部	105	11	23	20	9	4	6	5	9	7	1	7	19	3	8	41	1	
	100.0	10.5	21.9	19.0	8.6	3.8	5.7	4.8	8.6	6.7	1.0	6.7	18.1	2.9	7.6	39.0	1.0	
周辺部2	52	2	7	7	10	2	1	4	2	6	1	2	12	0	4	20	0	
	100.0	3.8	13.5	13.5	19.2	3.8	1.9	7.7	3.8	11.5	1.9	3.8	23.1	0.0	7.7	38.5	0.0	
わからない	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

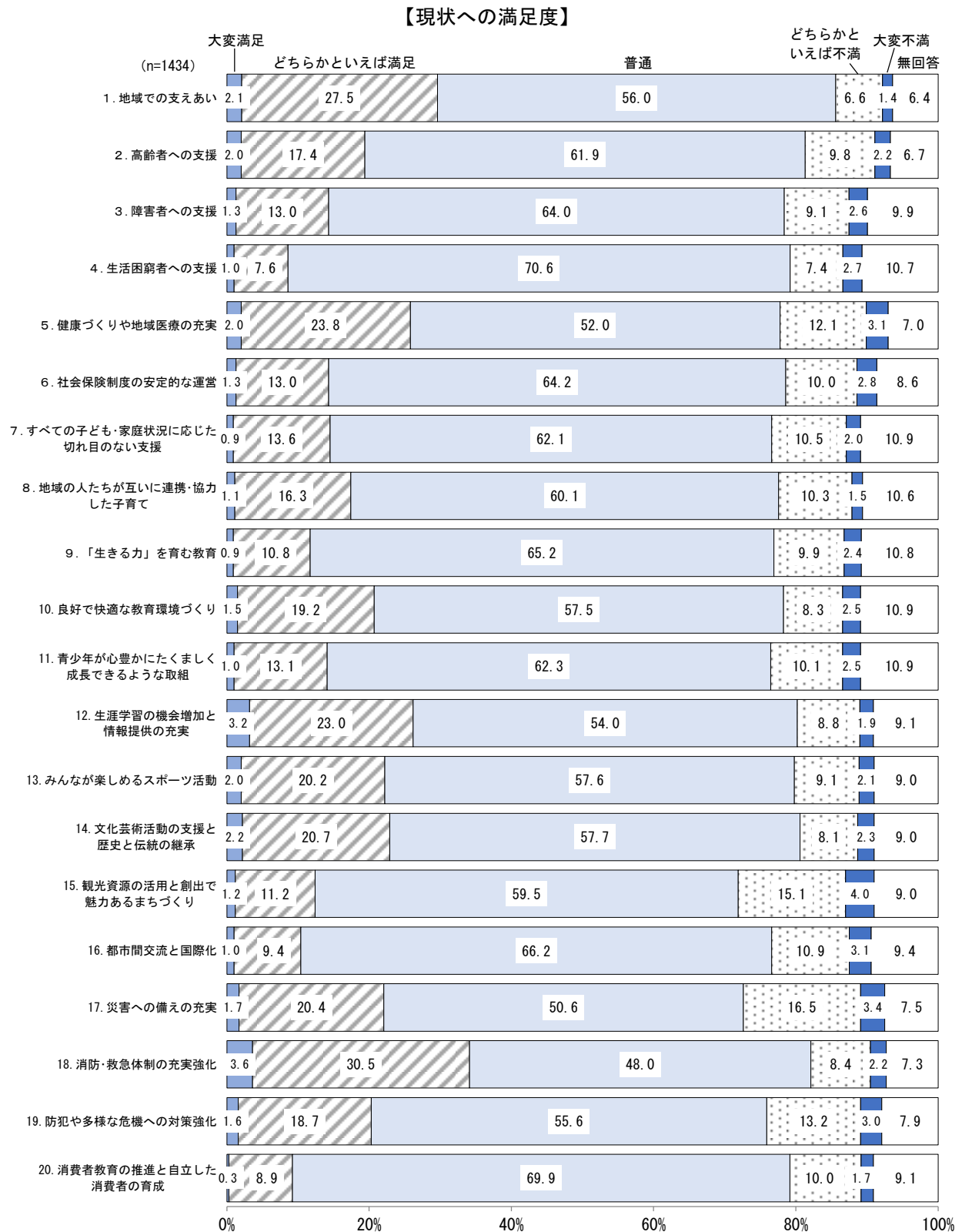
年齢別にみると、「交通の便が良くない」が60歳代で38.9%、「住宅が狭い」が30歳代で25.6%、40歳代で24.1%と、それぞれ高くなっている。

居住する地区別にみると、「交通の便が良くない」が丘陵部で57.6%、「日常生活に必要な施設、ものが不足しており不便」が周辺部1で25.0%、丘陵部で24.2%と、それぞれ高くなっている。

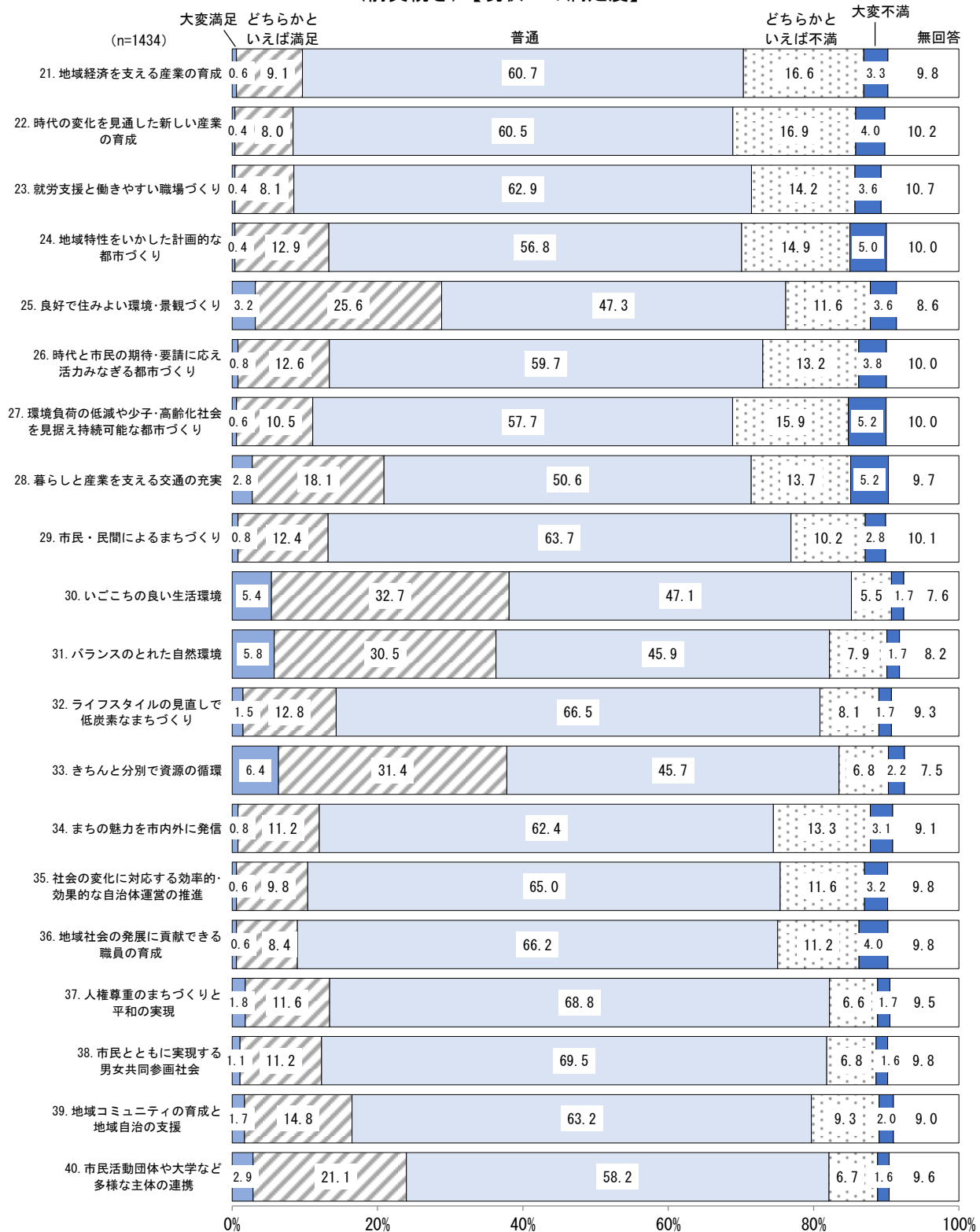
3 茨木市の現状への満足度と今後の充実への期待度について

(1) 現状への満足度

問 11 茨木市が推進する各分野の施策について、現状への満足度と、今後の充実への期待度をお聞きします。満足度と期待度をそれぞれ5段階（2、1、0、-1、-2）で評価し、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



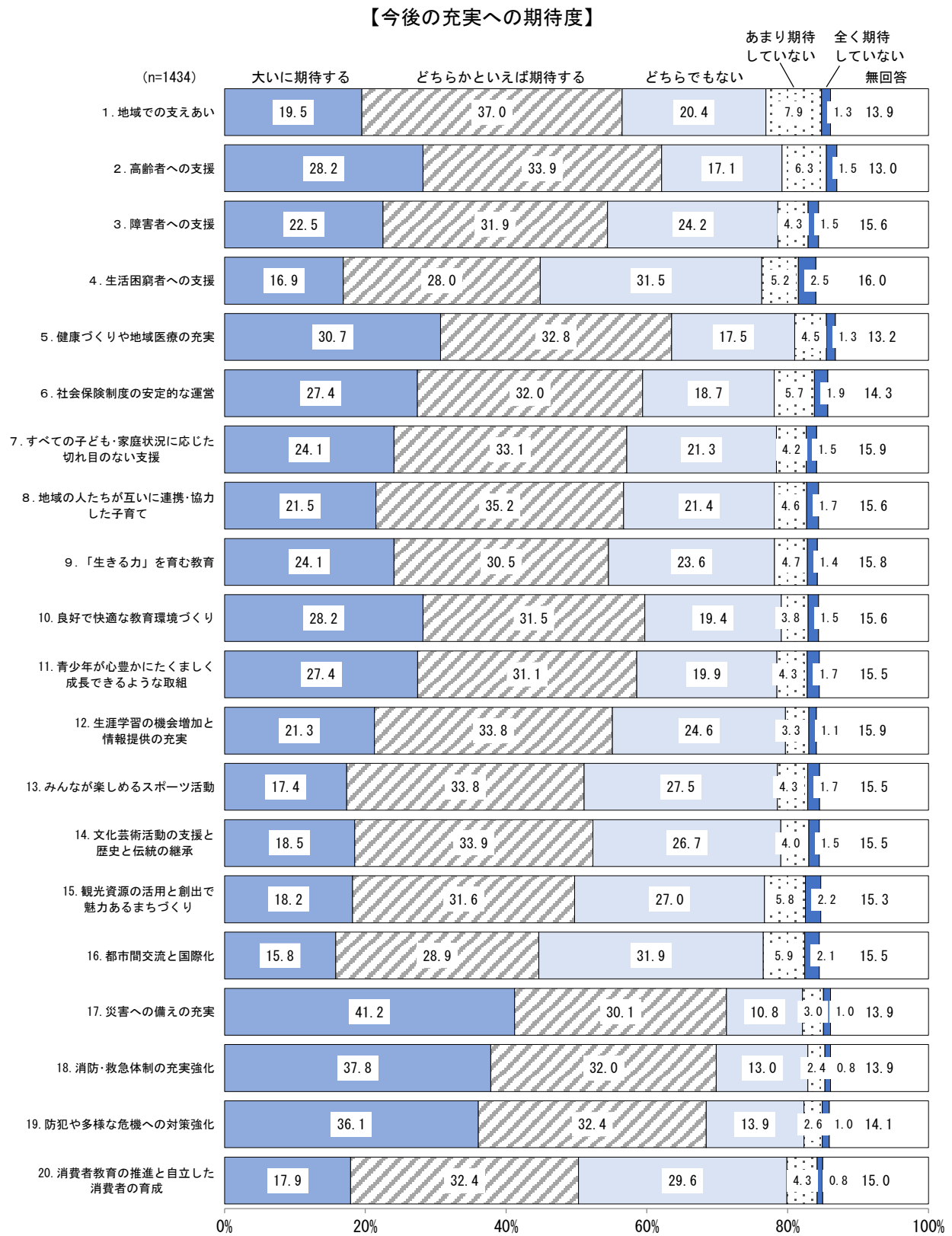
(前頁続き)【現状への満足度】



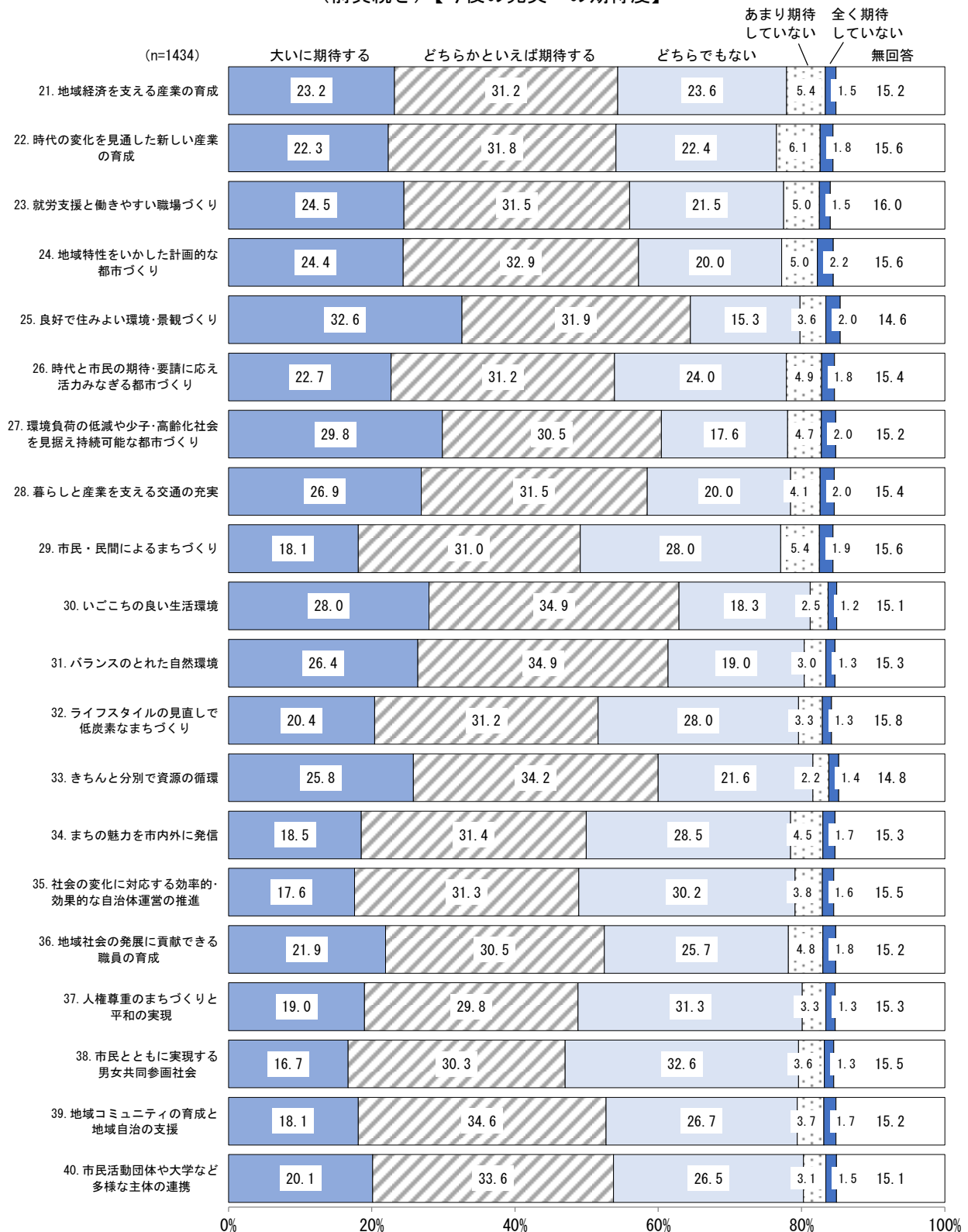
茨木市が推進する各分野の施策についての現状の満足度として、“満足”という割合（「大変満足」「どちらかといえば満足」の計）でみると、『30. いごこちの良い生活環境』で 38.1%と最も高く、次いで『33. きちんと分別で資源の循環』で 37.8%、『31. バランスのとれた自然環境』で 36.3%となっている。

一方、“不満”という割合（「どちらかといえば不満」「不満」）でみると、『27. 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり』で 21.1%と最も高く、次いで『22. 時代の変化を見通した新しい産業の育成』で 20.9%となっている。

(2) 今後の充実への期待度



(前頁続き)【今後の充実への期待度】



茨木市が推進する各分野の施策についての今後の充実への期待度として、“期待する”という割合（「大いに期待する」「どちらかといえば期待する」の計）で見ると、『17. 災害への備えの充実』で 71.3%と最も高く、次いで『18. 消防・救急体制の充実強化』で 69.8%、『19. 防犯や多様な危機への対策強化』で 68.5%となっている。

一方、“期待していない”という割合（「あまり期待していない」「全く期待していない」）で見ると、『1. 地域での支えあい』で 9.2%と最も高くなっている。

(3) 現状への満足度と今後の充実への期待度のスコア分析

ここでは、現状への満足度と今後の充実への期待度について、それぞれを点数化して項目ごとの回答の平均スコアを算出し、分析を行っている。

回答の平均スコア算出にあたり、満足度と期待度について、それぞれ以下のとおり点数を与えた。

【満足度と期待度に与えた点数】

現状への満足度	今後の充実への期待度	点数
大変満足	大いに期待する	2
どちらかといえば満足	どちらかといえば期待する	1
普通	どちらでもない	0
どちらかといえば不満	あまり期待していない	-1
大変不満	全く期待していない	-2

まず、項目ごとの満足度、期待度についての回答者全員の回答に上記の点数を与え、回答の平均スコアを算出し、それぞれについて、点数が高いものから順位付けした。

満足度の回答平均スコアを順位付けした結果は、以下のとおりである。

【満足度の回答平均スコアの順位】

順位	項目	順位	項目
1	30. いごちの良い生活環境	21	7. すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援
2	33. きちんと分別で資源の循環	22	17. 災害への備えの充実
3	31. バランスのとれた自然環境	23	6. 社会保険制度の安定的な運営
4	18. 消防・救急体制の充実強化	24	11. 青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組
5	1. 地域での支えあい	25	28. 暮らしと産業を支える交通の充実
6	40. 市民活動団体や大学など多様な主体の連携	26	29. 市民・民間によるまちづくり
7	12. 生涯学習の機会増加と情報提供の充実	27	9. 「生きる力」を育む教育
8	25. 良好で住みよい環境・景観づくり	28	4. 生活困窮者への支援
9	14. 文化芸術活動の支援と歴史と伝統の継承	29	20. 消費者教育の推進と自立した消費者の育成
10	13. みんなが楽しめるスポーツ活動	30	16. 都市間交流と国際化
11	5. 健康づくりや地域医療の充実	31	26. 時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくり
12	10. 良好で快適な教育環境づくり	32	34. まちの魅力を市内外に発信
13	2. 高齢者への支援	33	35. 社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営の推進
14	37. 人権尊重のまちづくりと平和の実現	34	15. 観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくり
15	8. 地域の人たちが互いに連携・協力した子育て	35	36. 地域社会の発展に貢献できる職員の育成
16	39. 地域コミュニティの育成と地域自治の支援	36	24. 地域特性をいかした計画的な都市づくり
17	32. ライフスタイルの見直しで低炭素なまちづくり	37	23. 就労支援と働きやすい職場づくり
18	38. 市民とともに実現する男女共同参画社会	38	21. 地域経済を支える産業の育成
19	19. 防犯や多様な危機への対策強化	39	27. 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり
20	3. 障害者への支援	40	22. 時代の変化を見通した新しい産業の育成

また、期待度の平均スコアを順位付けした結果は、以下のとおりである。

【期待度の回答平均スコアの順位】

順位	項目	順位	項目
1	17. 災害への備えの充実	21	3. 障害者への支援
2	18. 消防・救急体制の充実強化	22	21. 地域経済を支える産業の育成
3	19. 防犯や多様な危機への対策強化	23	26. 時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくり
4	25. 良好で住みよい環境・景観づくり	24	40. 市民活動団体や大学など多様な主体の連携
5	30. いごちのよい生活環境	25	22. 時代の変化を見通した新しい産業の育成
6	5. 健康づくりや地域医療の充実	26	32. ライフスタイルの見直しで低炭素なまちづくり
7	31. バランスのとれた自然環境	27	36. 地域社会の発展に貢献できる職員の育成
8	10. 良好で快適な教育環境づくり	28	1. 地域での支えあい
9	27. 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり	29	14. 文化芸術活動の支援と歴史と伝統の継承
10	33. きちんと分別で資源の循環	30	39. 地域コミュニティの育成と地域自治の支援
11	2. 高齢者への支援	31	37. 人権尊重のまちづくりと平和の実現
12	11. 青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組	32	20. 消費者教育の推進と自立した消費者の育成
13	28. 暮らしと産業を支える交通の充実	33	13. みんなが楽しめるスポーツ活動
14	6. 社会保険制度の安定的な運営	34	34. まちの魅力を市内外に発信
15	7. すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援	35	35. 社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営の推進
16	23. 就労支援と働きやすい職場づくり	36	29. 市民・民間によるまちづくり
17	24. 地域特性をいかした計画的な都市づくり	37	38. 市民とともに実現する男女共同参画社会
18	9. 「生きる力」を育む教育	38	15. 観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくり
19	12. 生涯学習の機会増加と情報提供の充実	39	4. 生活困窮者への支援
20	8. 地域の人たちが互いに連携・協力した子育て	40	16. 都市間交流と国際化

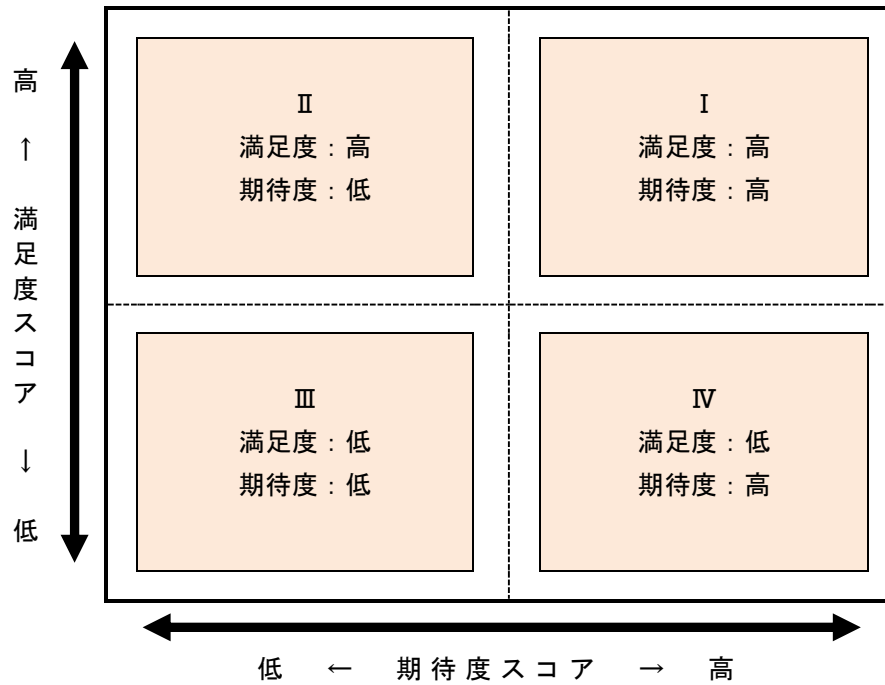
さらに、項目ごとに、各項目の平均スコアと、1～40の全ての項目のスコアの平均値を、満足度、期待度についてそれぞれ計算し、期待度と満足度との差を、値の大きいものから順位付けした。

【“期待度－満足度”の順位付け】

順位	項目	順位	項目
1	17. 災害への備えの充実	21	15. 観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくり
2	19. 防犯や多様な危機への対策強化	22	34. まちの魅力を市内外に発信
3	27. 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり	23	35. 社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営の推進
4	23. 就労支援と働きやすい職場づくり	24	8. 地域の人たちが互いに連携・協力した子育て
5	24. 地域特性をいかした計画的な都市づくり	25	20. 消費者教育の推進と自立した消費者の育成
6	22. 時代の変化を見通した新しい産業の育成	26	32. ライフスタイルの見直しで低炭素なまちづくり
7	21. 地域経済を支える産業の育成	27	29. 市民・民間によるまちづくり
8	18. 消防・救急体制の充実強化	28	39. 地域コミュニティの育成と地域自治の支援
9	11. 青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組	29	37. 人権尊重のまちづくりと平和の実現
10	28. 暮らしと産業を支える交通の充実	30	16. 都市間交流と国際化
11	25. 良好で住みよい環境・景観づくり	31	12. 生涯学習の機会増加と情報提供の充実
12	6. 社会保険制度の安定的な運営	32	4. 生活困窮者への支援
13	5. 健康づくりや地域医療の充実	33	38. 市民とともに実現する男女共同参画社会
14	36. 地域社会の発展に貢献できる職員の育成	34	30. いごちのよい生活環境
15	26. 時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくり	35	31. バランスのとれた自然環境
16	9. 「生きる力」を育む教育	36	14. 文化芸術活動の支援と歴史と伝統の継承
17	7. すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援	37	40. 市民活動団体や大学など多様な主体の連携
18	10. 良好で快適な教育環境づくり	38	13. みんなが楽しめるスポーツ活動
19	2. 高齢者への支援	39	33. きちんと分別で資源の循環
20	3. 障害者への支援	40	1. 地域での支えあい

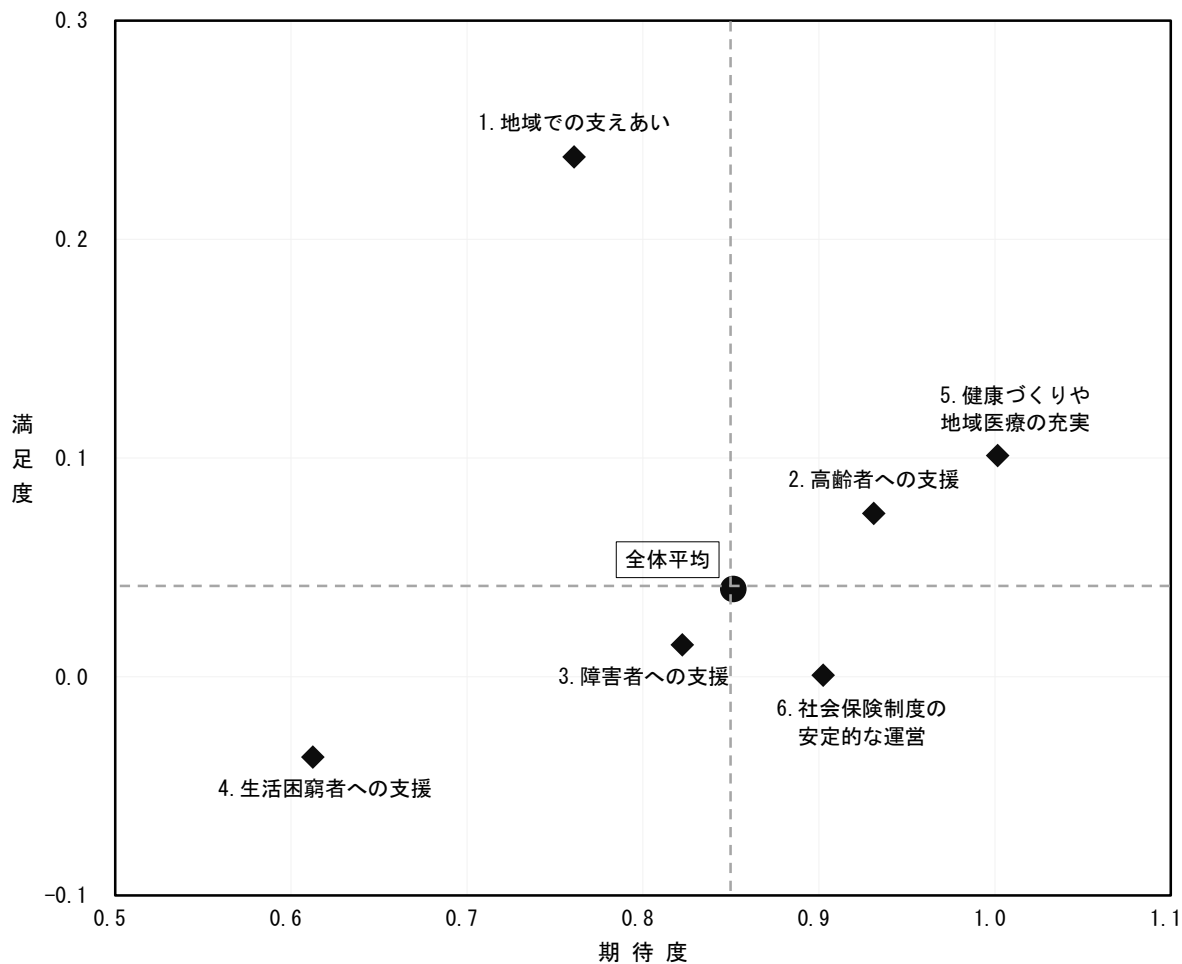
また、項目ごとに、満足度と期待度の平均スコアのバランスが視覚的にわかるよう、図を作成し、項目別のクロス分析を行った。

【項目別クロス分析図】



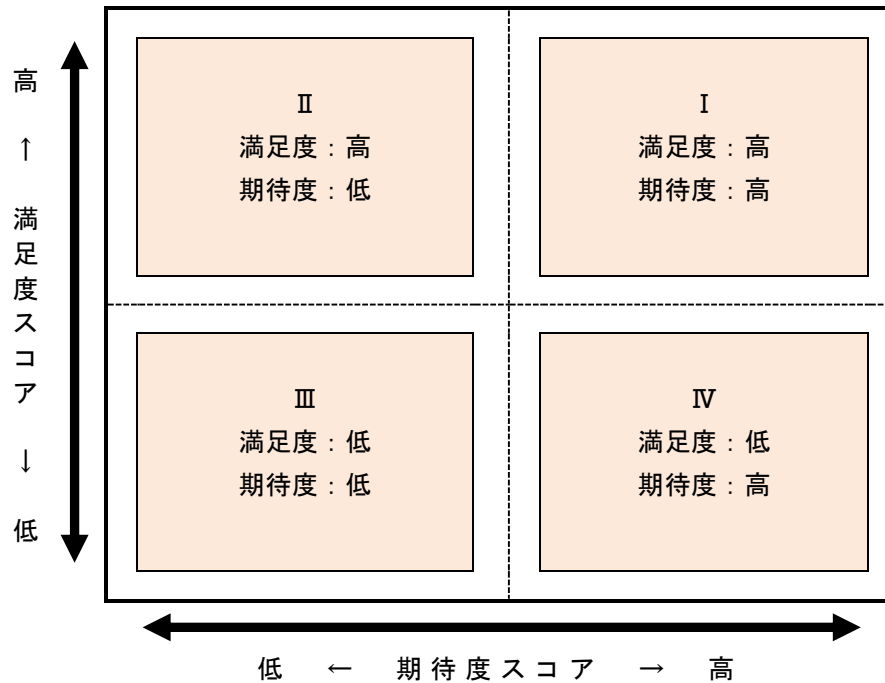
下記の図は、『ともに支えあい、健やかに暮らせるまち』を例に、実際の項目別クロス分析図を示したものであり、「1. 地域での支えあい」から「40. 市民活動団体や大学など多様な主体の連携」までの 40 項目の平均値を中央に置き、各項目が平均と比較してどのような位置にあるかを示したものである。

【項目別クロス分析図の例】
 (『ともに支えあい、健やかに暮らせるまち』の6項目の比較)



さらに、各項目について、属性別の満足度と期待度の平均スコアを算出したうえでクロス分析図を作成し、属性別のクロス分析を行った。

【属性別クロス分析図】

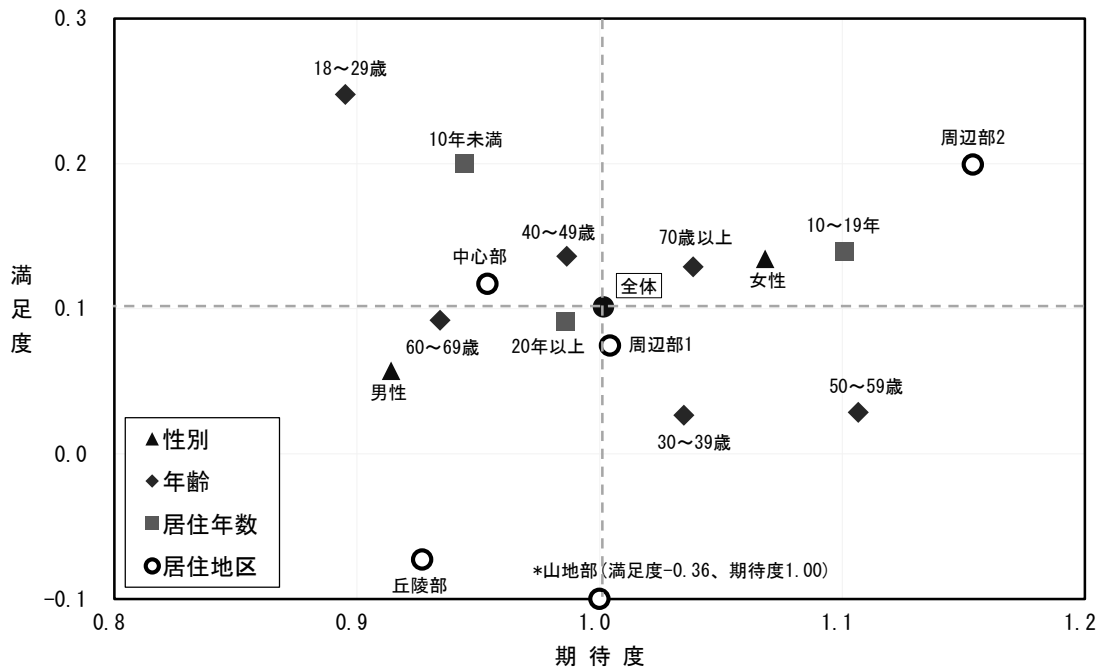


次頁の図は、「5. 健康づくりや地域医療の充実」のスコアについて、市全体の平均値を中央に置き、性別、年齢、居住年数、居住地区別に、位置を比較したものである。

(*)項目ごとの属性別クロス分析図は、今後の期待度が40項目の全体平均(0.85)を上回るもののみを掲載している。
(以下同様)

【属性別クロス分析図の例】

(「5. 健康づくりや地域医療の充実」の属性別平均スコアの比較)



(*) 「山間部 (n=14)」や「居住年数 10年未満 (n=21)」については、回答者が少なく、値がクロス分析図の範囲を大きく外れることがあるため、実際の位置とは異なる場合がある。(以下同様)

なお、回答が少ない地域については、回答者の年齢の分布にも影響を受けることを留意する必要がある。例えば、山間部では 60 歳以上、居住年数 10 年未満では 30 歳代に、それぞれ回答者が偏っていることを考慮して、結果をみる必要がある。

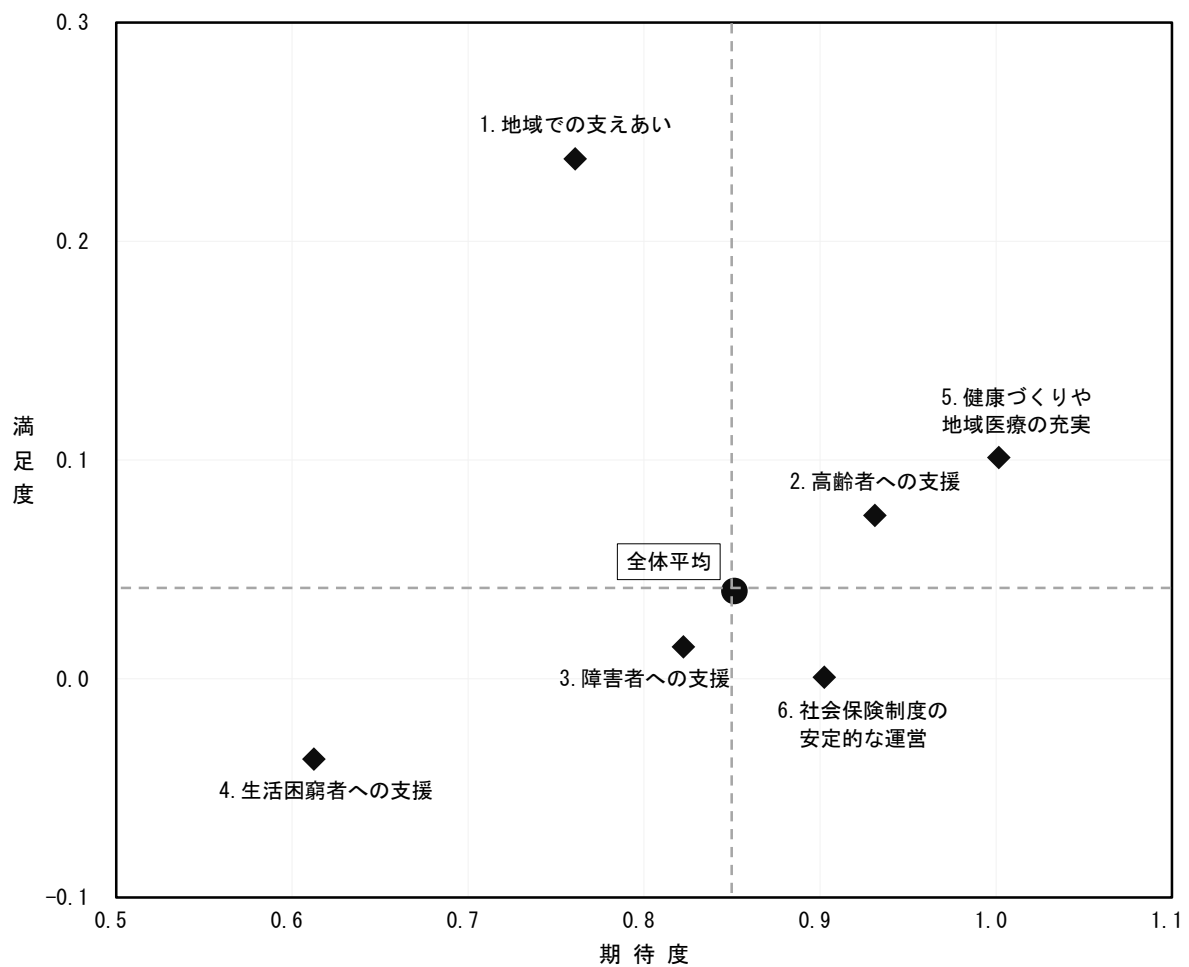
【(参考) 居住年数及び地域別の年代分布】

(上段：人、下段：%)

		調査数	1 8 5 1 9 歳	2 5 2 9 歳	3 5 3 9 歳	4 5 4 9 歳	5 5 5 9 歳	6 5 6 9 歳	7 0 歳 以上	無 回 答
【居住年数】	10年未満	21	0	0	15	3	2	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	71.4	14.3	9.5	4.8	0.0	0.0
	10~19年	222	16	29	78	88	6	2	2	1
	100.0	7.2	13.1	35.1	39.6	2.7	0.9	0.9	0.5	
	20年以上	1178	0	67	65	150	213	307	365	11
	100.0	0.0	5.7	5.5	12.7	18.1	26.1	31.0	0.9	
【居住する地区】	山地部	14	0	1	0	0	0	5	8	0
		100.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	35.7	57.1	0.0
	丘陵部	164	1	9	30	25	20	42	37	0
		100.0	0.6	5.5	18.3	15.2	12.2	25.6	22.6	0.0
	周辺部1	258	4	14	24	44	42	61	67	2
		100.0	1.6	5.4	9.3	17.1	16.3	23.6	26.0	0.8
中心部	665	7	44	77	121	107	134	166	9	
	100.0	1.1	6.6	11.6	18.2	16.1	20.2	25.0	1.4	
周辺部2	313	4	28	26	50	52	67	85	1	
	100.0	1.3	8.9	8.3	16.0	16.6	21.4	27.2	0.3	

① ともに支えあい、健やかに暮らせるまち

【ともに支えあい、健やかに暮らせるまち（項目別）】

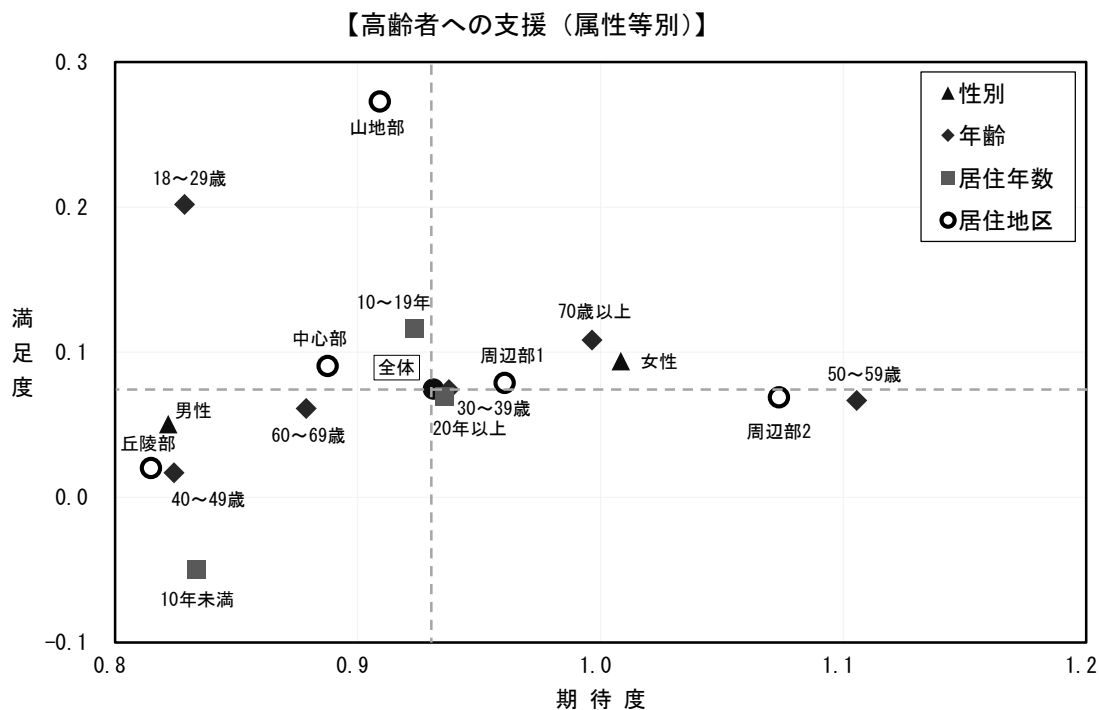


『ともに支えあい、健やかに暮らせるまち』に含まれる6項目についてみると、満足度も期待度も高い項目は、「2. 高齢者への支援」、「5. 健康づくりや地域医療の充実」である。

また、満足度が低く、期待度が高い項目としては、「6. 社会保険制度の安定的な運営」がある。

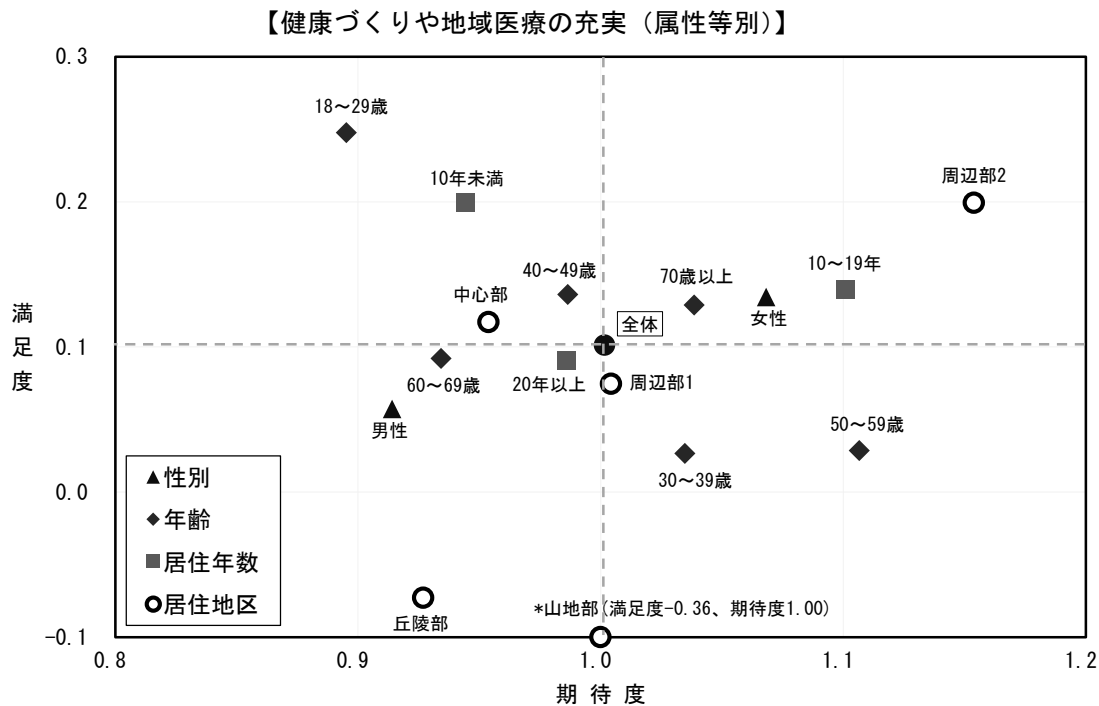
(*ここでは、各項目の関係を相対的に比較するため、原点(0.0)を中心にして示すのではなく、全ての項目のスコアの平均値を中心としてスコアを表示した図を作成している。(以下同様)

ア. 高齢者への支援



『高齢者への支援』については、全体的な満足度は高く、“50 歳代”や“周辺部2”では期待度も高くなっている。

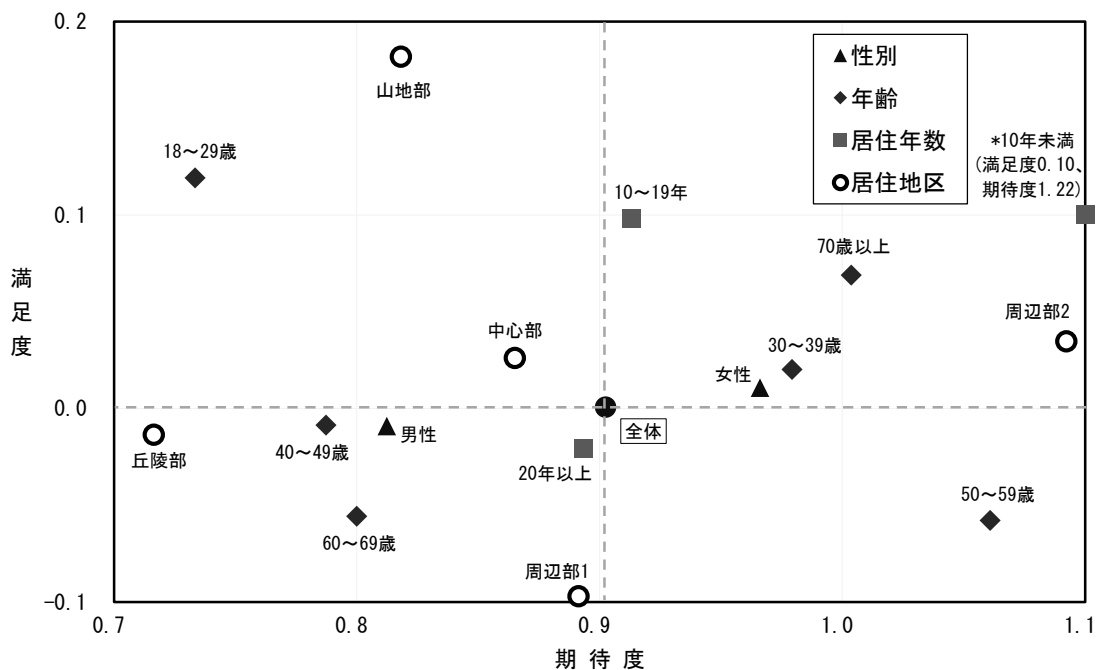
イ. 健康づくりや地域医療の充実



『健康づくりや地域医療の充実』については、全体的な満足度は高く、“50 歳代”や“居住年数10~19年”、“周辺部2”では期待度も高くなっている。

ウ. 社会保険制度の安定的な運営

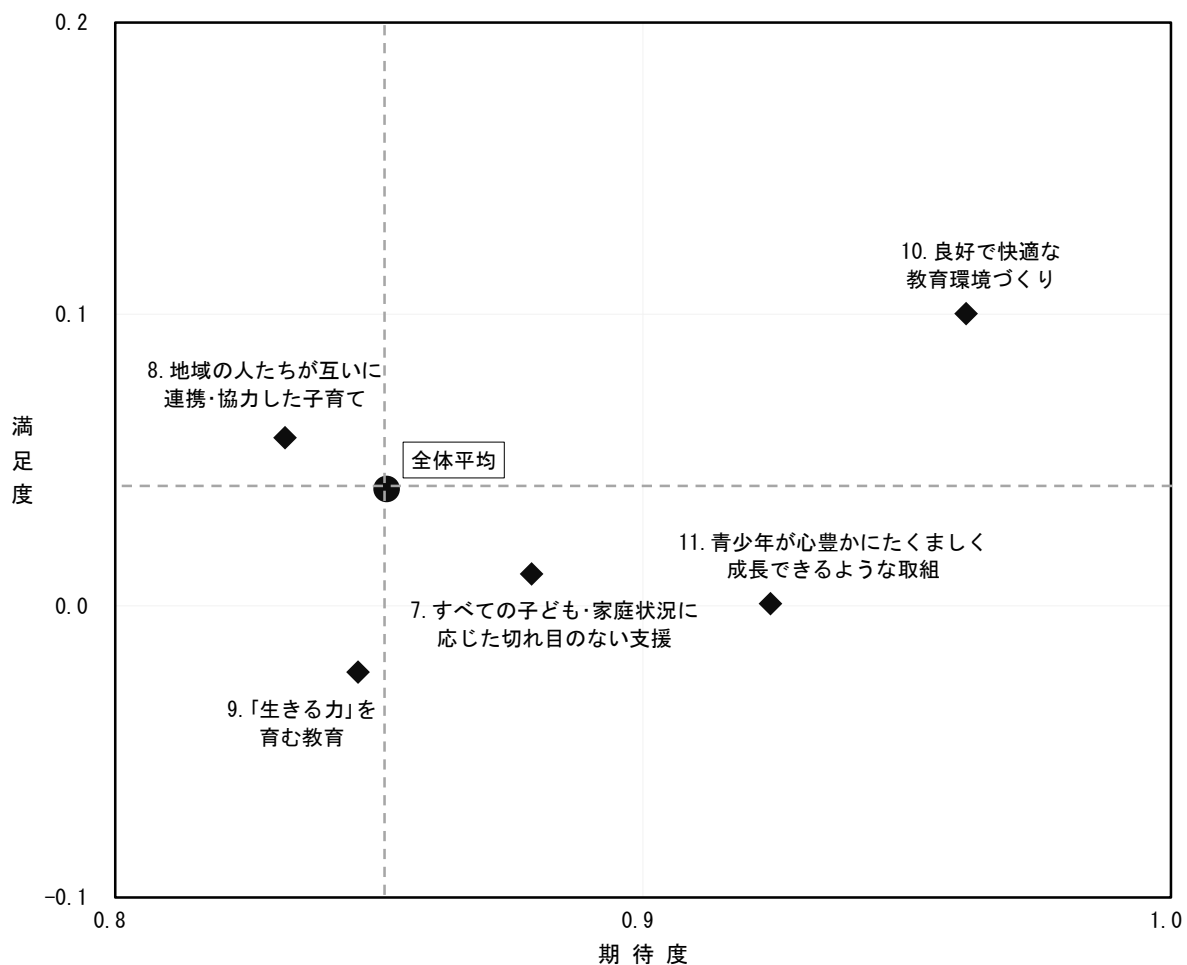
【社会保険制度の安定的な運営（属性等別）】



『社会保険制度の安定的な運営』については、“70歳以上”や“周辺部2”では満足度も期待度も高くなっており、“50歳代”では満足度はやや低いものの期待度は高くなっている。

② 次代の社会とともに支えあい、健やかに暮らせるまち

【次代の社会とともに支えあい、健やかに暮らせるまち（項目別）】

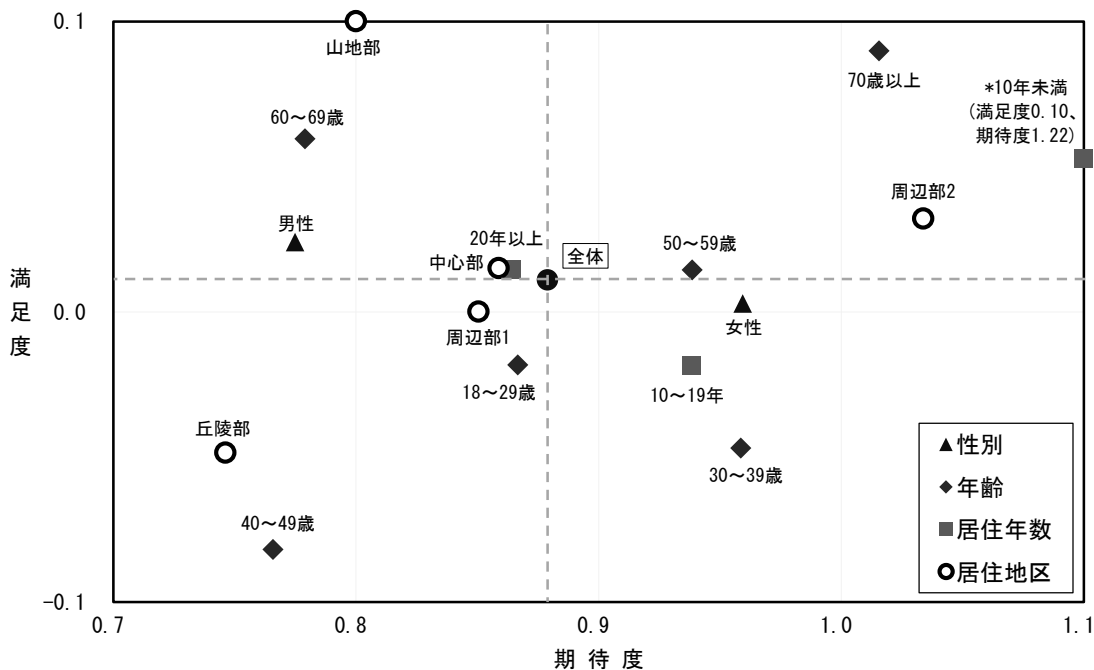


『次代の社会とともに支えあい、健やかに暮らせるまち』に含まれる5項目についてみると、満足度も期待度も高い項目は、「10. 良好で快適な教育環境づくり」である。

また、満足度が低く、期待度が高い項目としては、「7. すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援」、「11. 青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組」がある。

ア. すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援

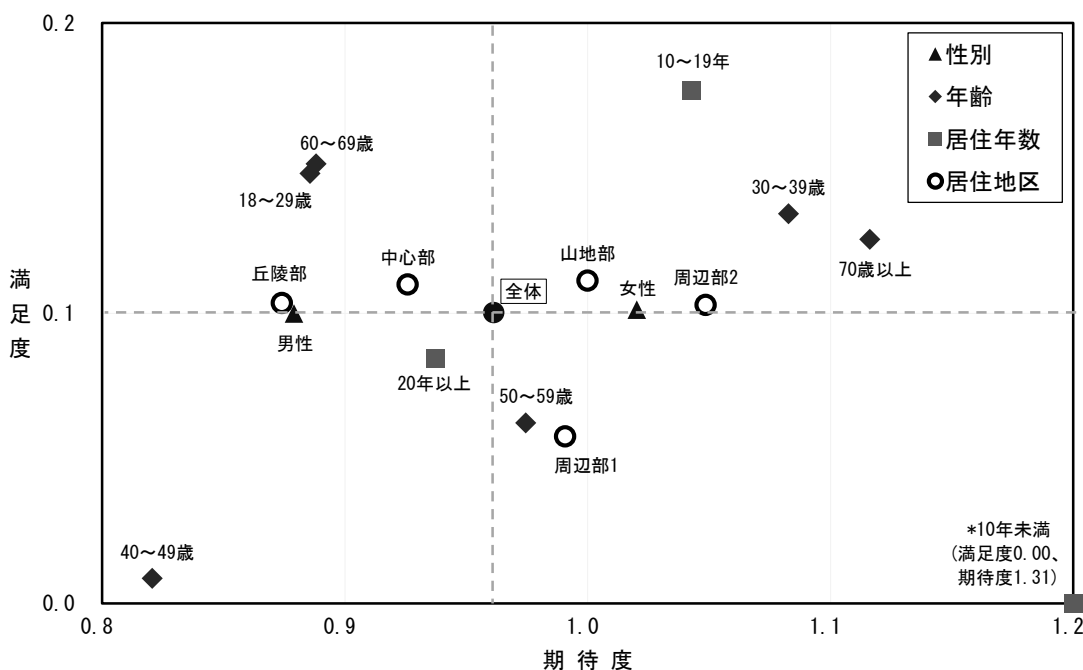
【すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援（属性等別）】



『すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援』については、“70歳以上”や“周辺部2”で満足度も期待度も高くなっている。

イ. 良好で快適な教育環境づくり

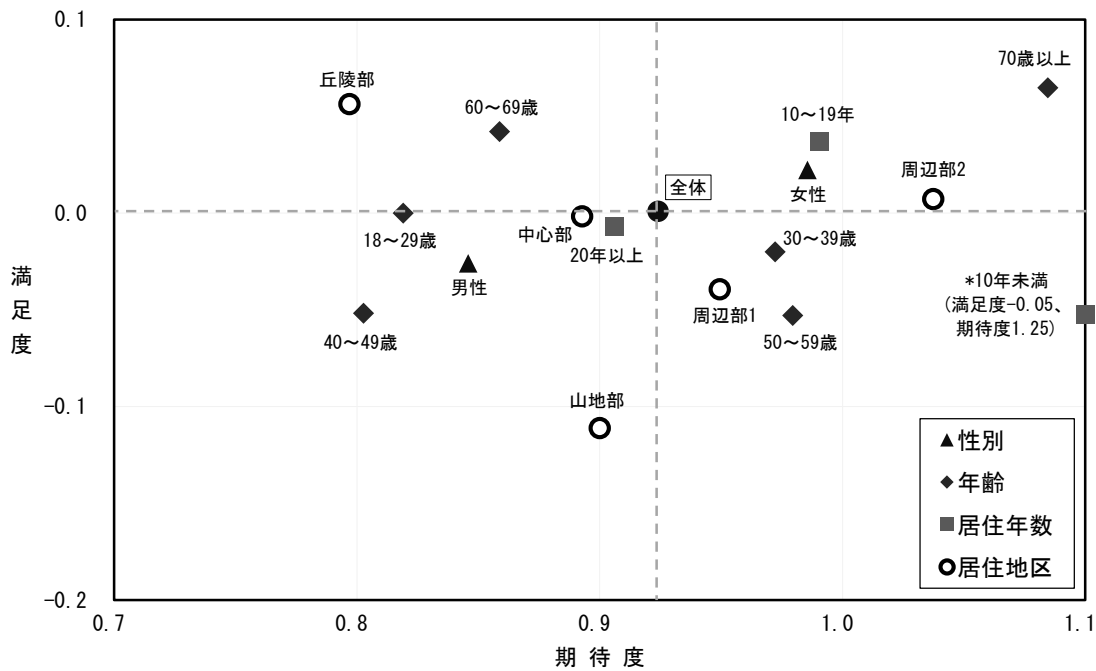
【良好で快適な教育環境づくり（属性等別）】



『良好で快適な教育環境づくり』については、全体的な満足度は高く、“女性”や“30歳代及び70歳以上”、“周辺部2”では期待度も高くなっている。

ウ. 青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組

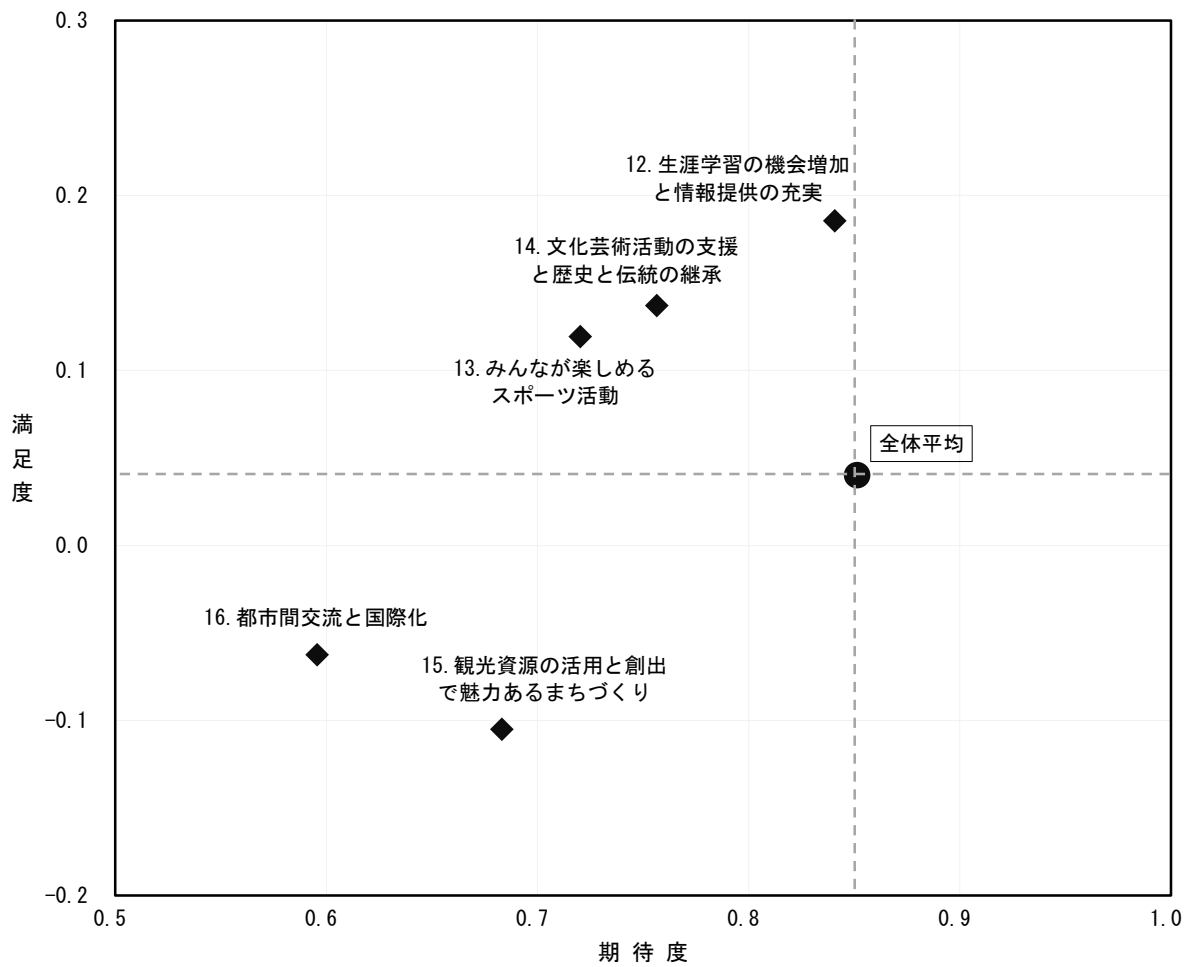
【青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組（属性等別）】



『青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組』については、“70歳以上”で満足度も期待度も高くなっており、“周辺部2”でも期待度は高い。

③ みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち

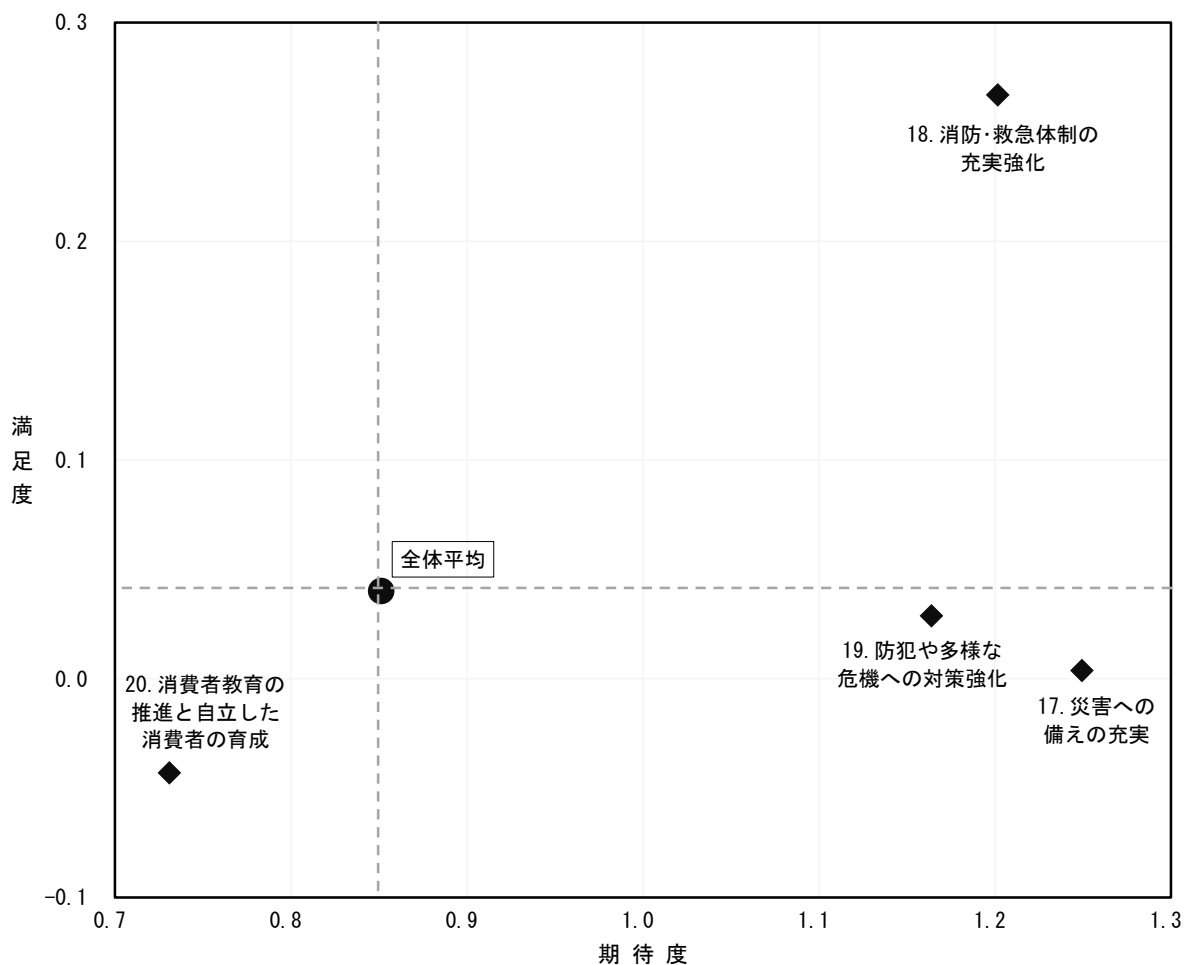
【みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち（項目別）】



『みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち』に含まれる5項目についてみると、いずれの項目も期待度が低くなっている。

④ 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち

【市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち（項目別）】

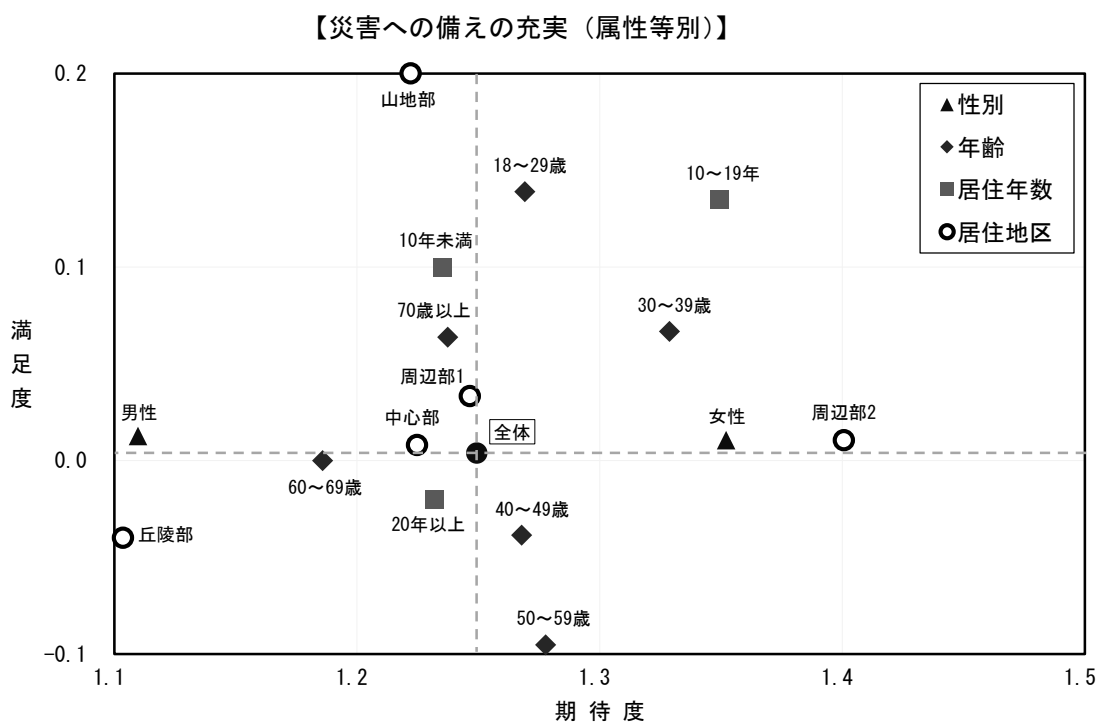


『市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち』に含まれる4項目についてみると、「20. 消費者教育の推進と自立した消費者の育成」を除き、いずれも期待度が高くなっている。

満足度も期待度も高い項目としては、「18. 消防・救急体制の充実強化」である。

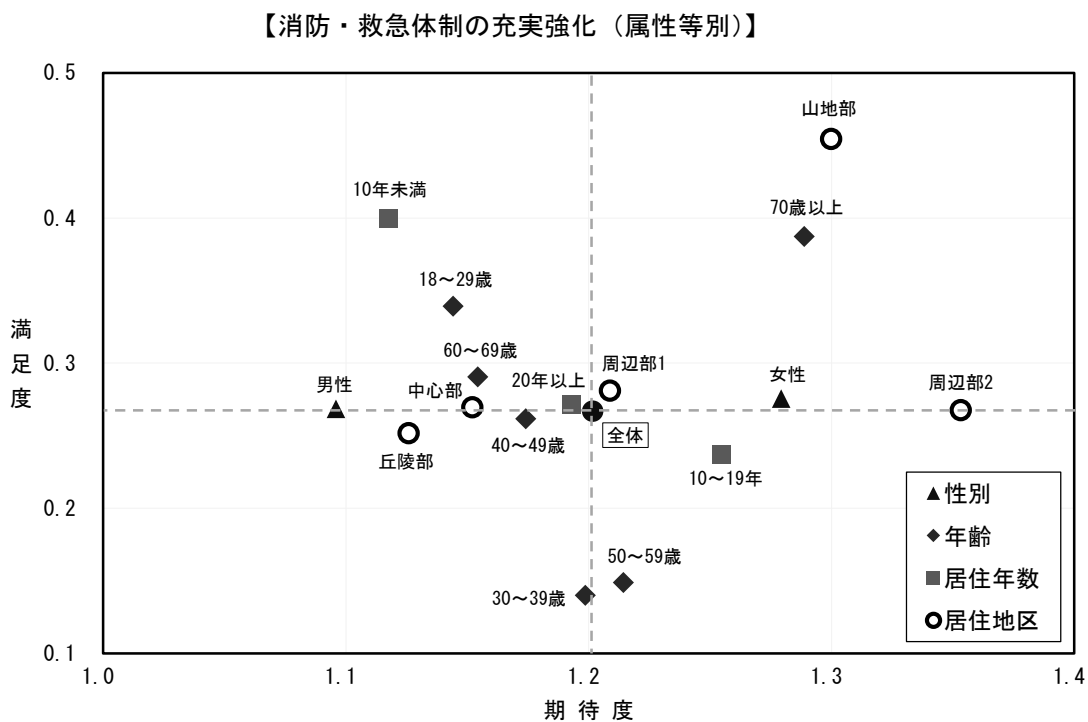
また、満足度が低く、期待度が高い項目としては、「17. 災害への備えの充実」、「19. 防犯や多様な危機への対策強化」がある。

ア. 災害への備えの充実



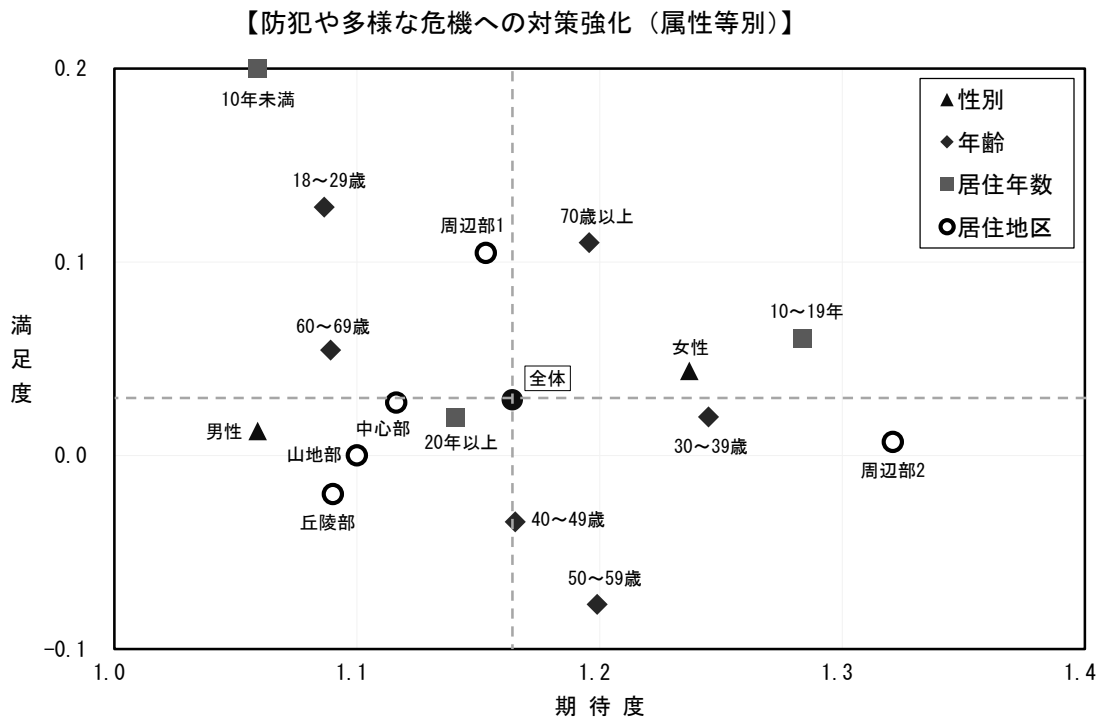
『災害への備えの充実』については、全体的に期待度は高くなっており、“女性”や“30歳代”、“居住年数10～19年”、“周辺部2”では特に高い。

イ. 消防・救急体制の充実強化



『消防・救急体制の充実強化』については、全体的に満足度も期待度も高くなっており、“女性”や“70歳以上”、“居住年数10～19年”、“周辺部2”では特に期待度が高い。

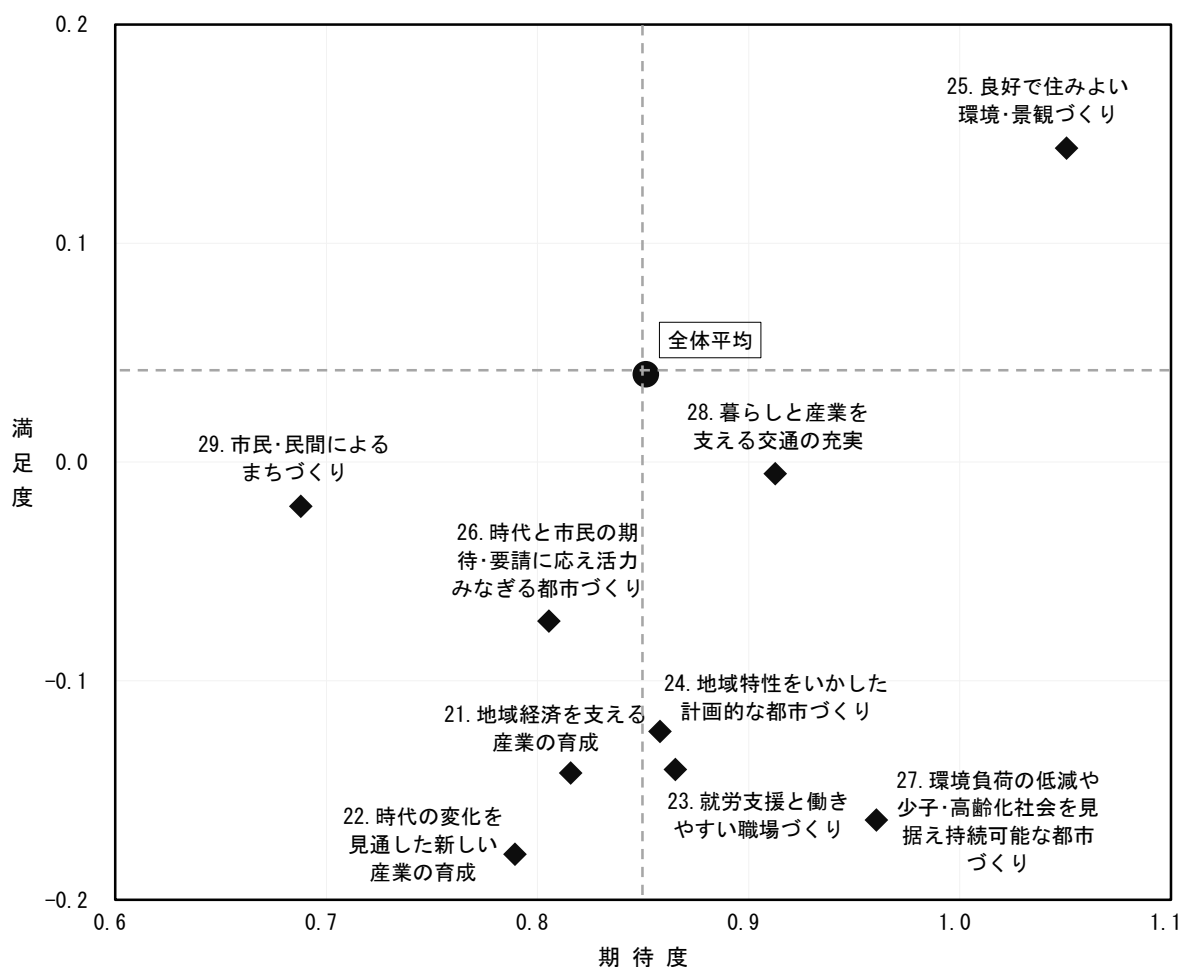
ウ. 防犯や多様な危機への対策強化



『防犯や多様な危機への対策強化』については、全体的に期待度は高くなっており、“女性”や“30歳代”、“居住年数10～19年”、“周辺部2”では特に高い。

⑤ 都市活力がみなぎる便利で快適なまち

【都市活力がみなぎる便利で快適なまち（項目別）】

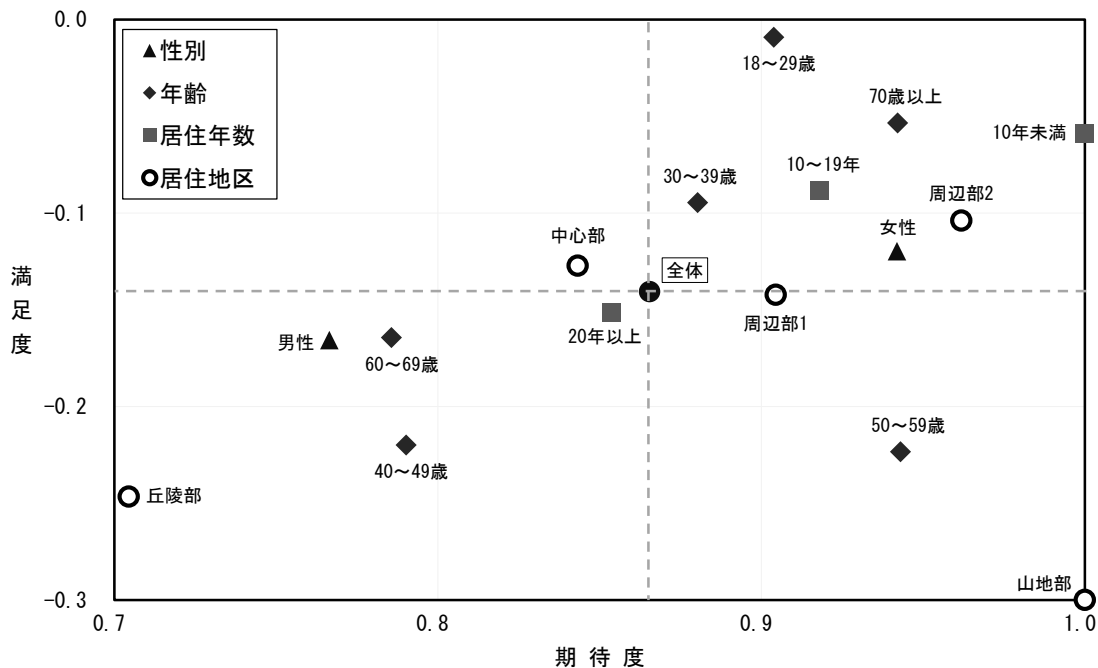


『都市活力がみなぎる便利で快適なまち』に含まれる9項目についてみると、満足度も期待度も高い項目は、「25. 良好で住みよい環境・景観づくり」である。

また、満足度が低く、期待度が高い項目としては、「23. 就労支援と働きやすい職場づくり」、「24. 地域特性をいかした計画的な都市づくり」、「27. 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり」、「28. 暮らしと産業を支える交通の充実」がある。

ア. 就労支援と働きやすい職場づくり

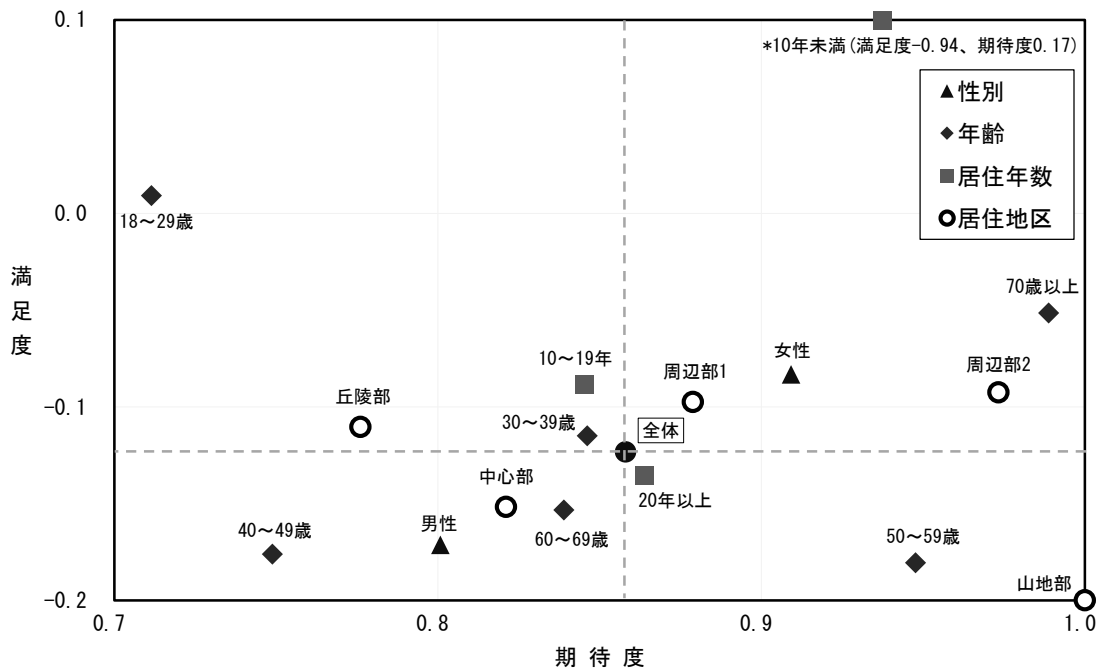
【就労支援と働きやすい職場づくり（属性等別）】



『就労支援と働きやすい職場づくり』については、全体的に満足度は低くなっている。

イ. 地域特性をいかした計画的な都市づくり

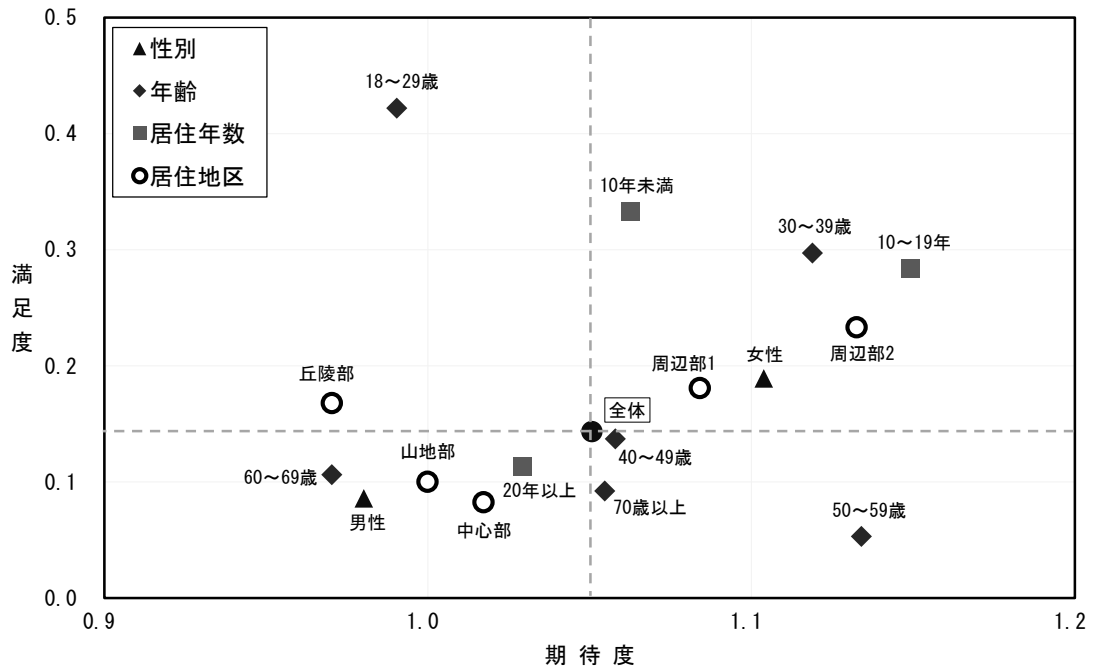
【地域特性をいかした計画的な都市づくり（属性等別）】



『地域特性をいかした計画的な都市づくり』については、全体的に満足度は低くなっている。期待度としては、“70歳以上”や“周辺部2”でやや高い。

ウ. 良好で住みよい環境・景観づくり

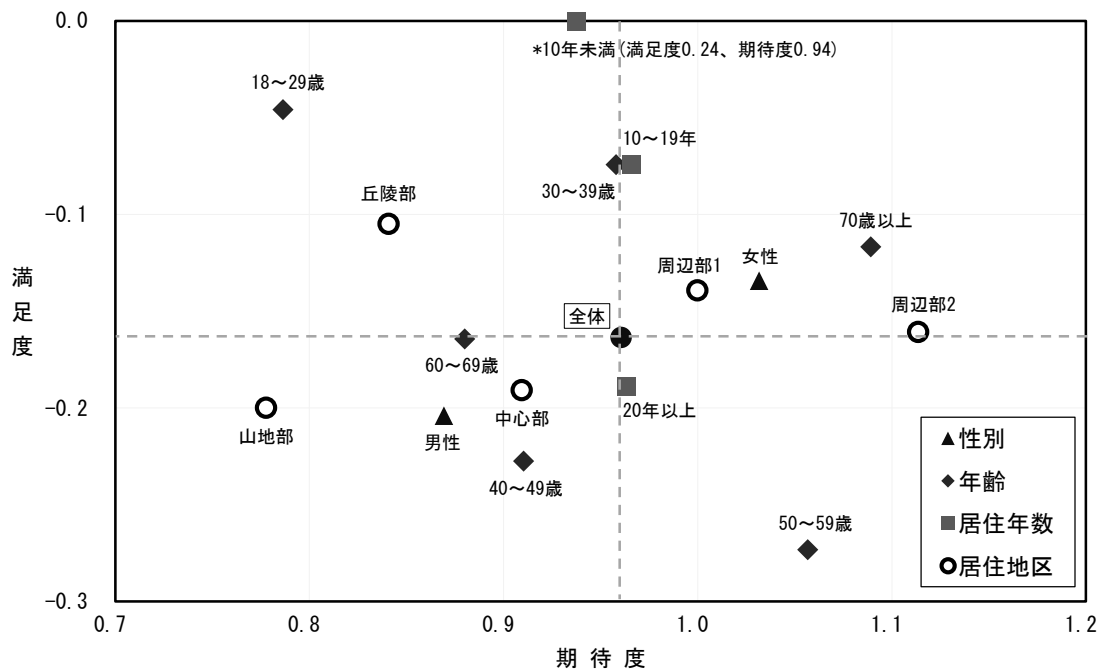
【良好で住みよい環境・景観づくり（属性等別）】



『良好で住みよい環境・景観づくり』については、全体的に満足度は高く、“女性”や“30歳代及び50歳代”、“居住年数10～19年”、“周辺部2”では期待度も高くなっている。

エ. 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり

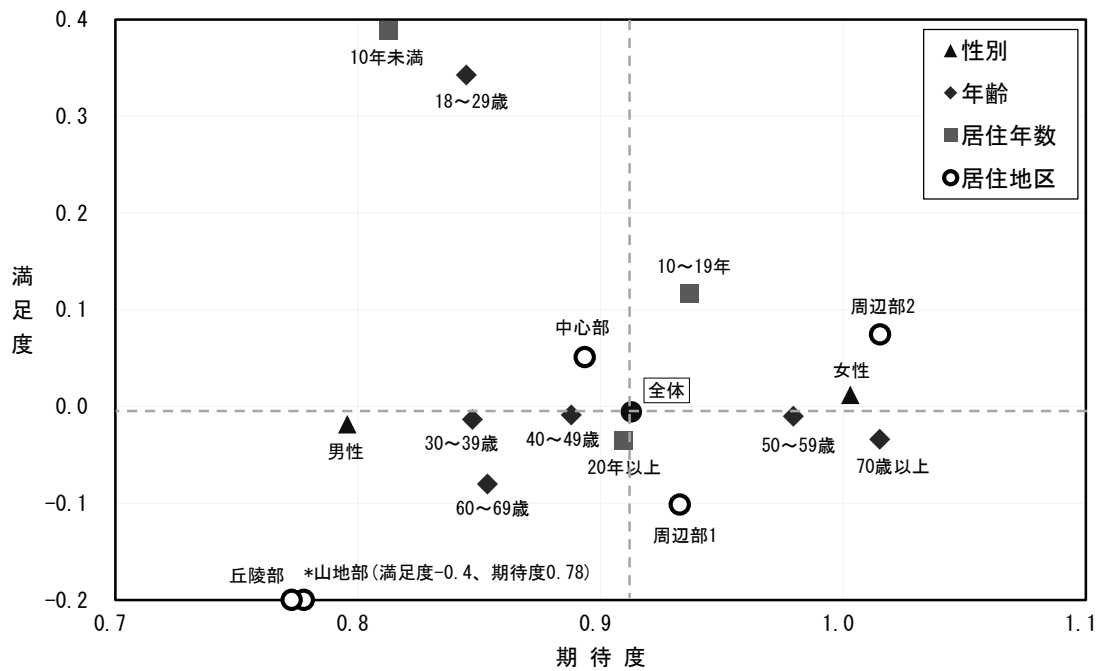
【環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり（属性等別）】



『環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり』については、満足度は低くなっている。期待度としては、“女性”や“50歳代及び70歳以上”、“周辺部2”で高い。

オ. 暮らしと産業を支える交通の充実

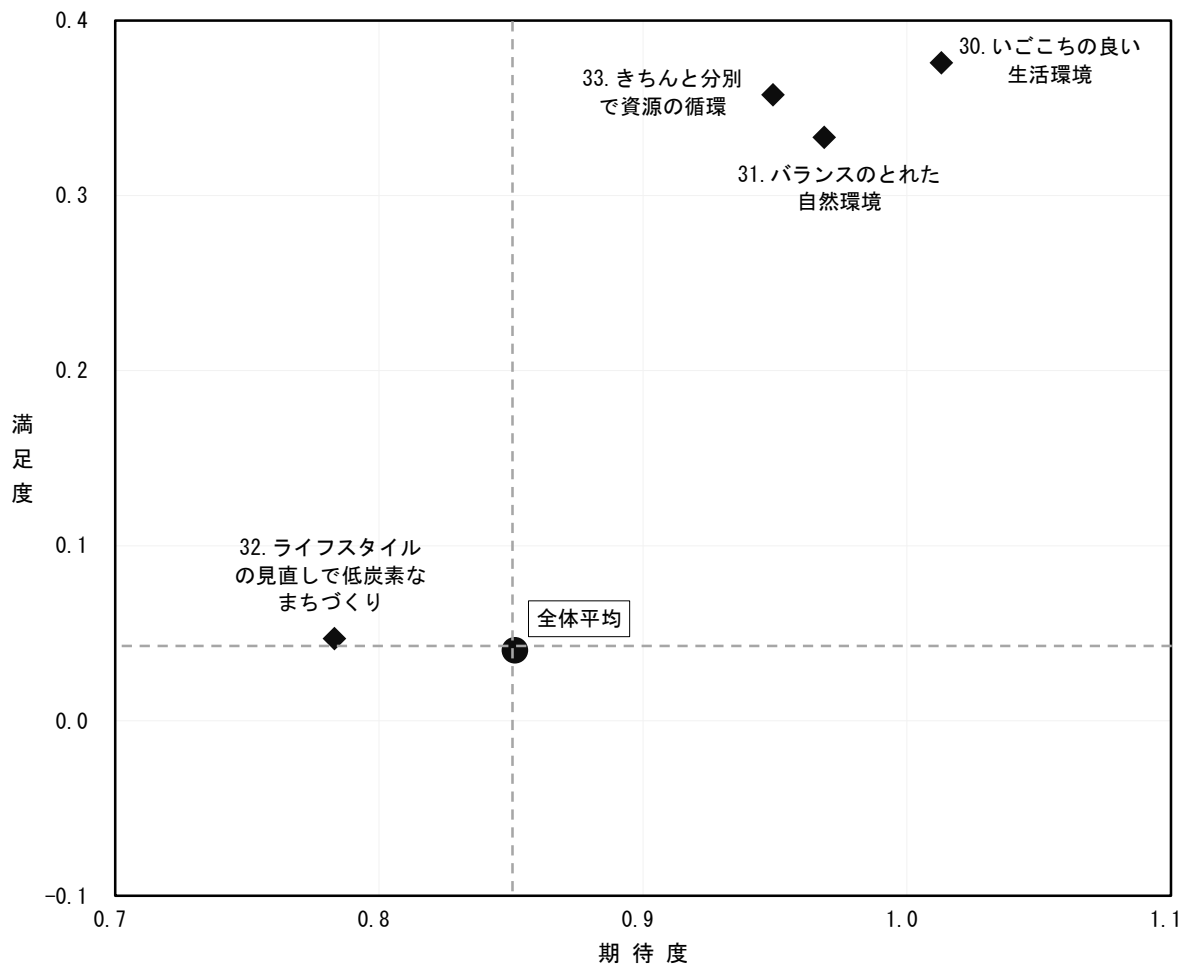
【暮らしと産業を支える交通の充実（属性等別）】



『暮らしと産業を支える交通の充実』については、“女性”や“50歳代及び70歳以上”、“周辺部2”で期待度が高くなっている。

⑥ 心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち

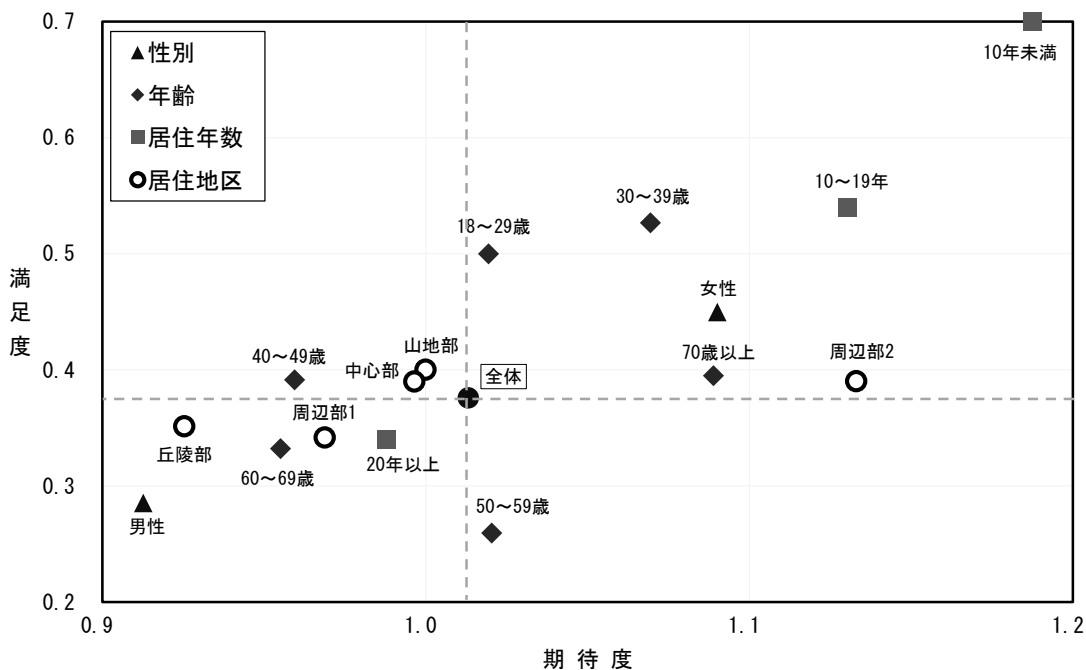
【心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち（項目別）】



『心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち』に含まれる4項目についてみると、「32. ライフスタイルの見直しで低炭素なまちづくり」を除いて、いずれの項目も満足度も期待度も高くなっている。

ア. いごちの良い生活環境

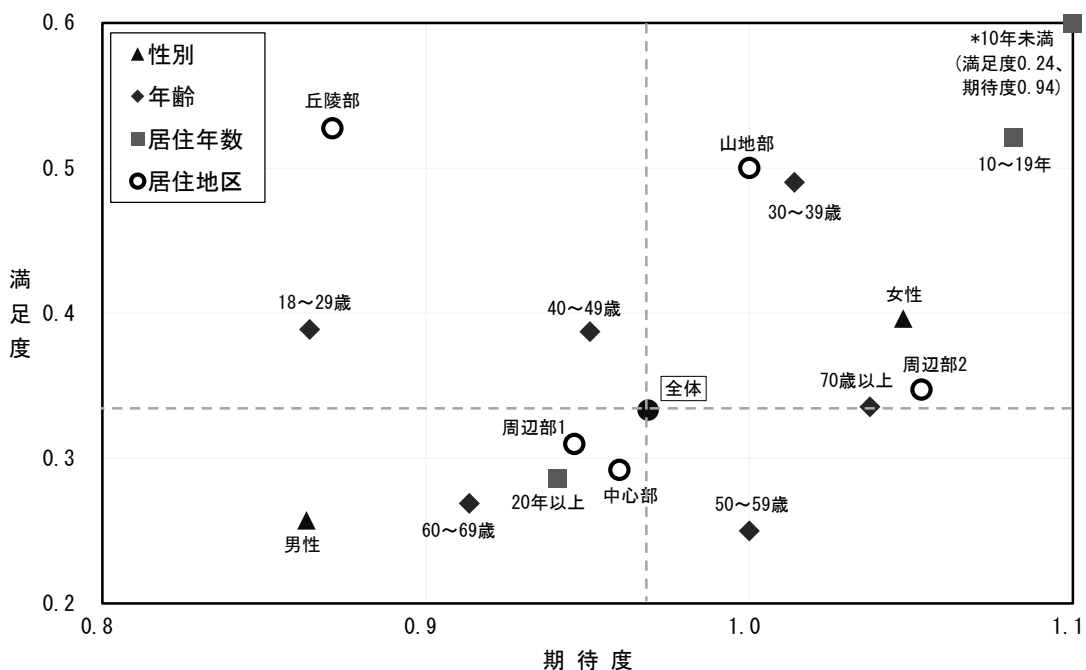
【いごちの良い生活環境（属性等別）】



『いごちの良い生活環境』については、全体的に満足度も期待度も高くなっており、“女性”や“30歳代及び70歳以上”、“居住年数10～19年”、“周辺部2”では特に期待度が高い。

イ. バランスのとれた自然環境

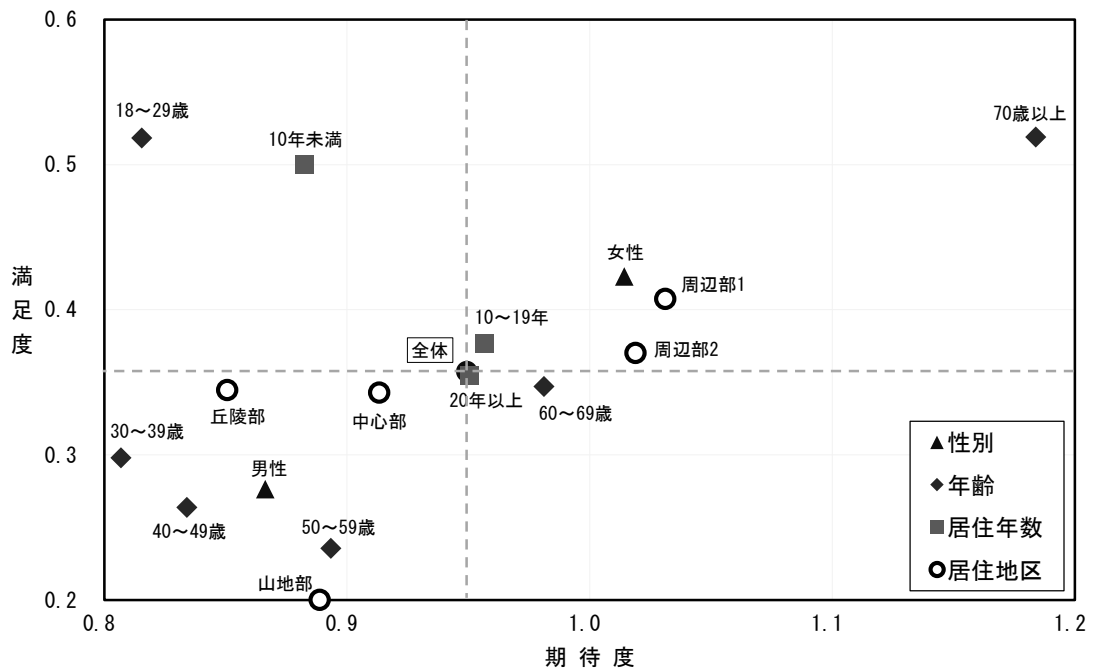
【バランスのとれた自然環境（属性等別）】



『バランスのとれた自然環境』については、全体的に満足度は高く、“女性”や“30歳代及び50歳代、70歳以上”、“居住年数10～19年”、“周辺部2”では期待度も高くなっている。

ウ. きちんと分別で資源の循環

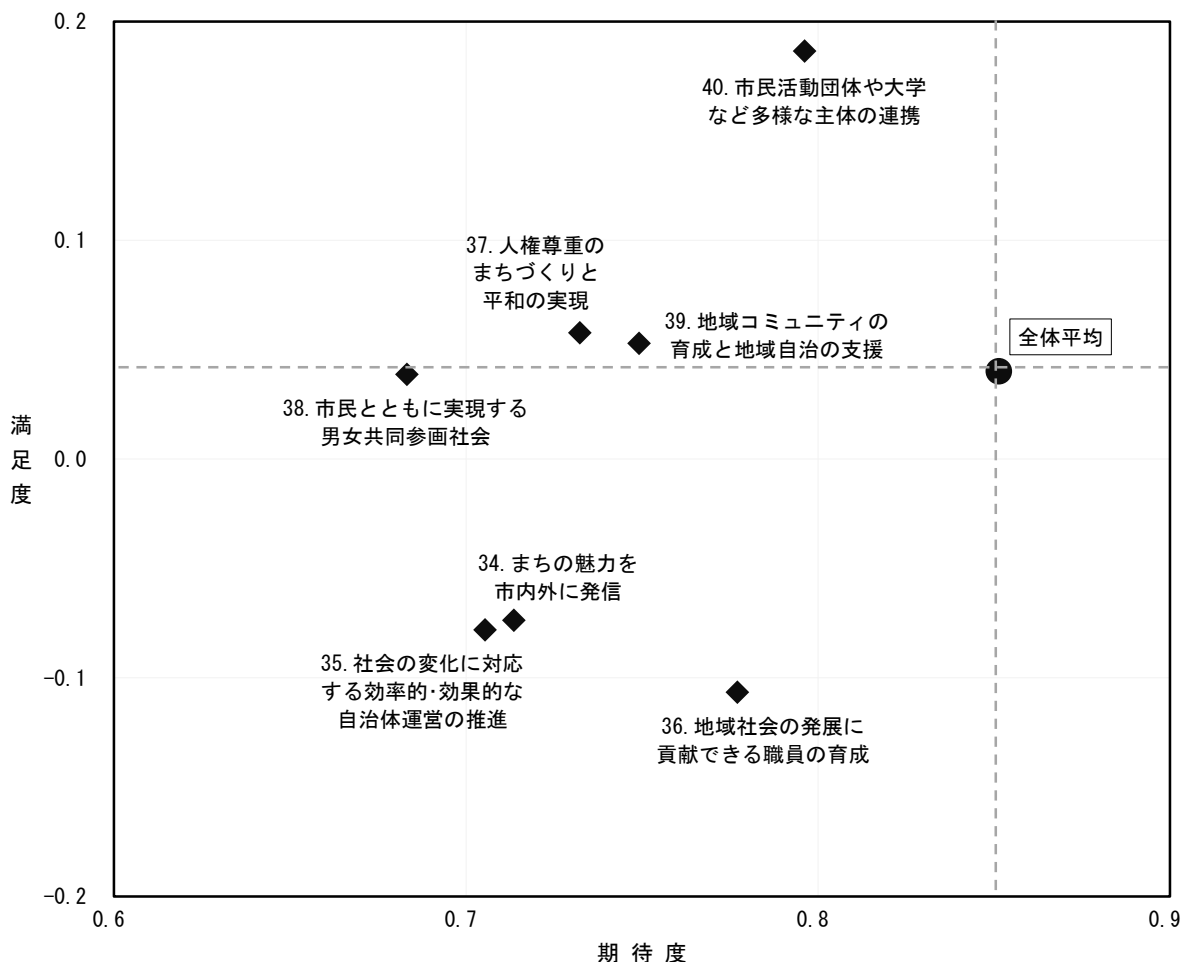
【きちんと分別で資源の循環（属性等別）】



『きちんと分別で資源の循環』については、全体的に満足度は高く、“女性”や“60歳以上”、“周辺部1及び周辺部2”では期待度も高くなっている。

⑦ まちづくりを進めるための基盤

【まちづくりを進めるための基盤（項目別）】



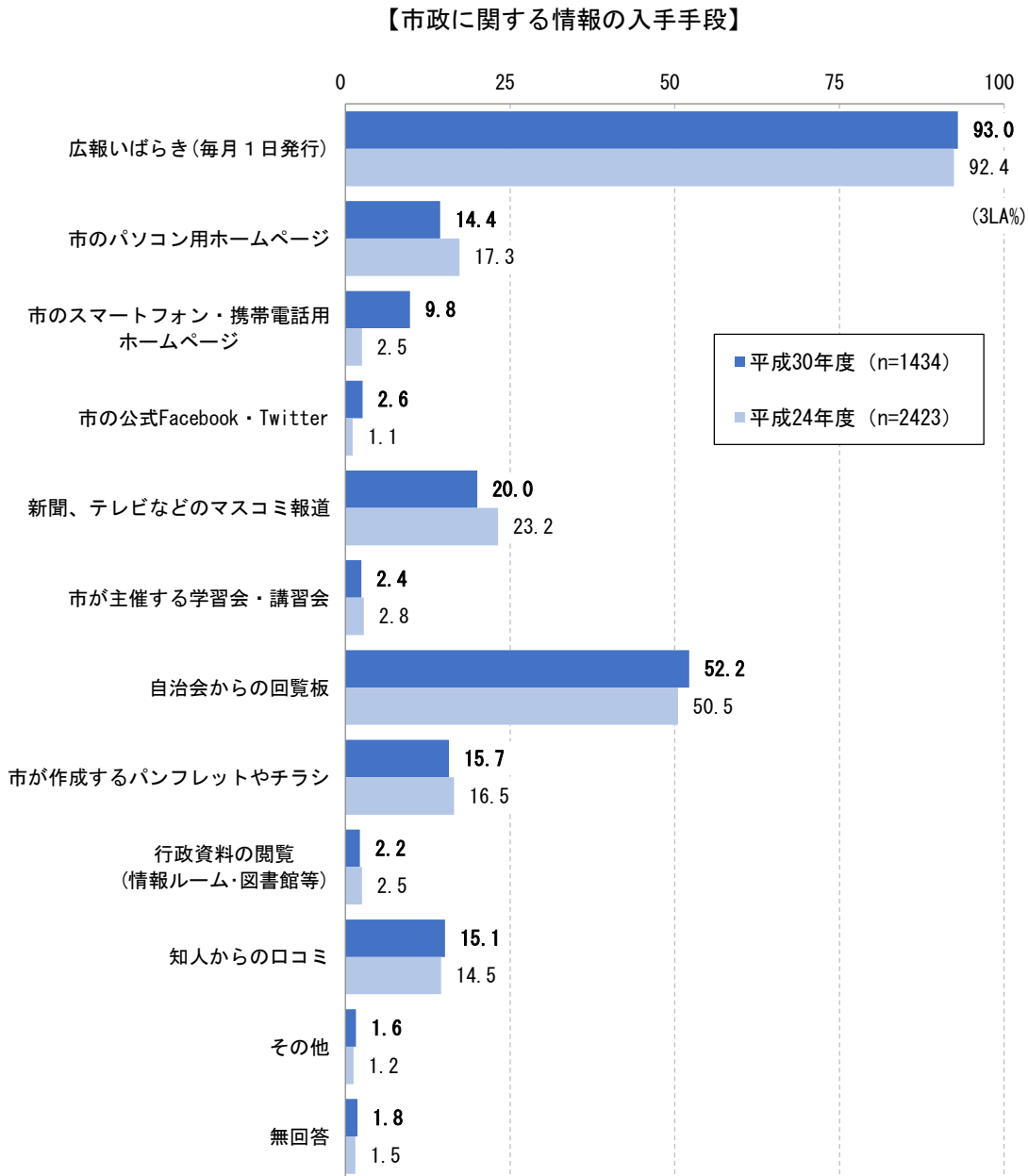
『まちづくりを進めるための基盤』に含まれる7項目についてみると、いずれの項目も期待度が低くなっている。

満足度が高く、期待度がやや低い項目としては、「40. 市民活動団体や大学など多様な主体の連携」がある。

4 市政に関する情報の入手方法について

(1) 市政に関する情報の入手手段

問 12 あなたは、市政に関する情報を何から知ることが多いですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



市政に関する情報の入手手段としては、「広報いばらき(毎月1日発行)」が93.0%と最も高く、次いで「自治会からの回覧板」が52.2%、「新聞、テレビなどのマスコミ報道」が20.0%となっている。

前回調査と比較すると、上位項目にさほど大きな差はみられないものの、「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」が7.3ポイント増えている。

【回答者の属性等別 市政に関する情報の入手手段】

(上段：人、下段：%)

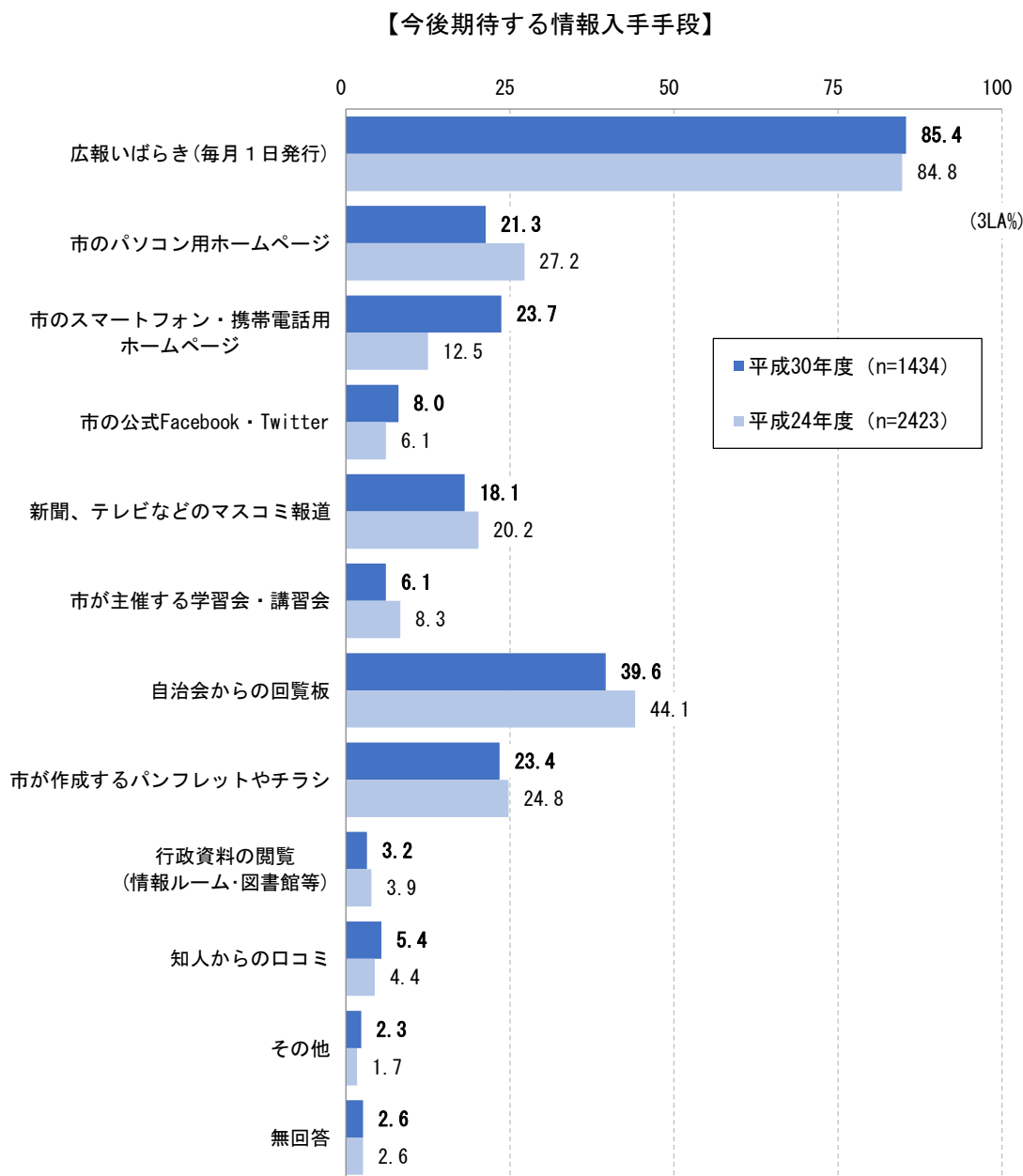
	調査数	広報いばらき (発行)	市のパソコン用ホームページ	市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ	市の公式 Twitter	新聞、テレビなどのマ スコミ報道	市が主催する学習会・ 講習会	自治会からの回覧板	市が作成するパンフ レットやチラシ	行政資料の閲覧(情報 ルーム・図書館等)	知人からの口コミ	その他	無回答
市全体	1434	1333	207	140	37	287	34	748	225	32	217	23	26
	100.0	93.0	14.4	9.8	2.6	20.0	2.4	52.2	15.7	2.2	15.1	1.6	1.8
【性別】													
男性	597	544	115	50	18	129	10	292	84	10	83	20	14
	100.0	91.1	19.3	8.4	3.0	21.6	1.7	48.9	14.1	1.7	13.9	3.4	2.3
女性	816	771	88	87	19	153	24	450	138	22	129	3	9
	100.0	94.5	10.8	10.7	2.3	18.8	2.9	55.1	16.9	2.7	15.8	0.4	1.1
【年齢】													
18～29歳	112	84	15	22	3	22	0	26	10	4	20	2	0
	100.0	75.0	13.4	19.6	2.7	19.6	0.0	23.2	8.9	3.6	17.9	1.8	0.0
30～39歳	158	144	27	39	11	13	2	49	19	3	11	2	3
	100.0	91.1	17.1	24.7	7.0	8.2	1.3	31.0	12.0	1.9	7.0	1.3	1.9
40～49歳	241	231	42	35	13	31	2	107	33	6	40	5	0
	100.0	95.9	17.4	14.5	5.4	12.9	0.8	44.4	13.7	2.5	16.6	2.1	0.0
50～59歳	222	210	45	23	6	38	5	111	32	8	36	5	3
	100.0	94.6	20.3	10.4	2.7	17.1	2.3	50.0	14.4	3.6	16.2	2.3	1.4
60～69歳	312	302	55	12	1	68	8	183	55	4	47	4	6
	100.0	96.8	17.6	3.8	0.3	21.8	2.6	58.7	17.6	1.3	15.1	1.3	1.9
70歳以上	367	343	18	6	3	112	17	265	74	7	59	5	11
	100.0	93.5	4.9	1.6	0.8	30.5	4.6	72.2	20.2	1.9	16.1	1.4	3.0
【居住年数】													
10年未満	21	19	2	4	1	0	0	9	5	1	1	0	1
	100.0	90.5	9.5	19.0	4.8	0.0	0.0	42.9	23.8	4.8	4.8	0.0	4.8
10～19年	222	201	38	38	9	27	2	76	26	6	28	5	1
	100.0	90.5	17.1	17.1	4.1	12.2	0.9	34.2	11.7	2.7	12.6	2.3	0.5
20年以上	1178	1104	165	98	27	258	32	658	192	25	184	17	21
	100.0	93.7	14.0	8.3	2.3	21.9	2.7	55.9	16.3	2.1	15.6	1.4	1.8
【居住する地区】													
山地部	14	13	0	0	1	4	0	11	2	0	0	0	1
	100.0	92.9	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0	78.6	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
丘陵部	164	156	26	16	6	28	3	83	28	3	18	2	4
	100.0	95.1	15.9	9.8	3.7	17.1	1.8	50.6	17.1	1.8	11.0	1.2	2.4
周辺部1	258	240	34	22	4	53	8	166	40	2	40	6	2
	100.0	93.0	13.2	8.5	1.6	20.5	3.1	64.3	15.5	0.8	15.5	2.3	0.8
中心部	665	619	103	64	20	135	16	322	105	22	104	9	12
	100.0	93.1	15.5	9.6	3.0	20.3	2.4	48.4	15.8	3.3	15.6	1.4	1.8
周辺部2	313	290	42	38	6	65	6	158	47	5	51	6	3
	100.0	92.7	13.4	12.1	1.9	20.8	1.9	50.5	15.0	1.6	16.3	1.9	1.0
わからない	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年齢別にみると、「広報いばらき（毎月1日発行）」が30歳以上で9割台に対し、10・20歳代では7割台となっている。また、「自治会からの回覧板」が70歳以上で72.2%、「新聞、テレビなどのマスコミ報道」が70歳以上で30.5%、「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」が30歳代で24.7%、10・20歳代で19.6%と、それぞれ高くなっている。

居住する地区別にみると、「自治会からの回覧板」が山地部で78.6%、周辺部1で64.3%と高くなっている。

(2) 今後期待する情報入手手段

問 13 あなたは、市政に関する情報入手の手段として、今後どのような方法を期待しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



今後期待する情報の入手手段としては、「広報いばらき(毎月1日発行)」が85.4%と最も高く、次いで「自治会からの回覧板」が39.6%、「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」が23.7%、「市が作成するパンフレットやチラシ」が23.4%となっている。

前回調査と比較すると、「自治会からの回覧板」が4.5ポイント、「市のパソコン用ホームページ」が5.9ポイント、それぞれ減っているのに対し、「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」は11.2ポイント増えている。

【回答者の属性等別 今後期待する情報入手手段】

(上段：人、下段：%)

	調査数	広報いばらき (発行) (毎月1日)	市のパソコン用ホームページ	市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ	市の公式 Facebook・Twitter	新聞、テレビなどのマスコミ報道	市が主催する学習会・講習会	自治会からの回覧板	市が作成するパンフレットやチラシ	行政資料の閲覧(情報ルーム・図書館等)	知人からの口コミ	その他	無回答
市全体	1434 100.0	1225 85.4	306 21.3	340 23.7	115 8.0	259 18.1	87 6.1	568 39.6	335 23.4	46 3.2	77 5.4	33 2.3	38 2.6
【性別】													
男性	597 100.0	504 84.4	168 28.1	129 21.6	52 8.7	120 20.1	26 4.4	233 39.0	134 22.4	14 2.3	26 4.4	18 3.0	15 2.5
女性	816 100.0	705 86.4	135 16.5	203 24.9	61 7.5	137 16.8	61 7.5	329 40.3	196 24.0	31 3.8	49 6.0	15 1.8	20 2.5
【年齢】													
18～29歳	112 100.0	61 54.5	24 21.4	47 42.0	32 28.6	22 19.6	0 0.0	17 15.2	18 16.1	3 2.7	8 7.1	3 2.7	2 1.8
30～39歳	158 100.0	126 79.7	43 27.2	61 38.6	19 12.0	19 12.0	5 3.2	25 15.8	27 17.1	4 2.5	1 0.6	4 2.5	6 3.8
40～49歳	241 100.0	206 85.5	58 24.1	78 32.4	33 13.7	38 15.8	13 5.4	63 26.1	46 19.1	7 2.9	18 7.5	8 3.3	2 0.8
50～59歳	222 100.0	196 88.3	65 29.3	65 29.3	18 8.1	29 13.1	15 6.8	81 36.5	45 20.3	10 4.5	16 7.2	7 3.2	2 0.9
60～69歳	312 100.0	286 91.7	83 26.6	60 19.2	4 1.3	44 14.1	23 7.4	153 49.0	80 25.6	10 3.2	13 4.2	7 2.2	7 2.2
70歳以上	367 100.0	334 91.0	31 8.4	20 5.4	7 1.9	105 28.6	31 8.4	223 60.8	113 30.8	11 3.0	20 5.4	4 1.1	16 4.4
【居住年数】													
10年未満	21 100.0	18 85.7	4 19.0	7 33.3	0 0.0	0 0.0	3 14.3	2 9.5	5 23.8	4 19.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0
10～19年	222 100.0	178 80.2	57 25.7	70 31.5	32 14.4	40 18.0	8 3.6	52 23.4	43 19.4	1 0.5	8 3.6	6 2.7	3 1.4
20年以上	1178 100.0	1021 86.7	244 20.7	259 22.0	81 6.9	219 18.6	75 6.4	510 43.3	283 24.0	41 3.5	68 5.8	25 2.1	32 2.7
【居住する地区】													
山地部	14 100.0	11 78.6	0 0.0	3 21.4	1 7.1	3 21.4	0 0.0	9 64.3	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3
丘陵部	164 100.0	140 85.4	38 23.2	29 17.7	16 9.8	18 11.0	8 4.9	63 38.4	45 27.4	3 1.8	11 6.7	2 1.2	4 2.4
周辺部1	258 100.0	224 86.8	59 22.9	61 23.6	13 5.0	50 19.4	24 9.3	134 51.9	51 19.8	8 3.1	8 3.1	5 1.9	3 1.2
中心部	665 100.0	566 85.1	150 22.6	166 25.0	58 8.7	117 17.6	37 5.6	231 34.7	160 24.1	25 3.8	35 5.3	15 2.3	22 3.3
周辺部2	313 100.0	269 85.9	57 18.2	77 24.6	25 8.0	69 22.0	17 5.4	124 39.6	69 22.0	10 3.2	22 7.0	11 3.5	4 1.3
わからない	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

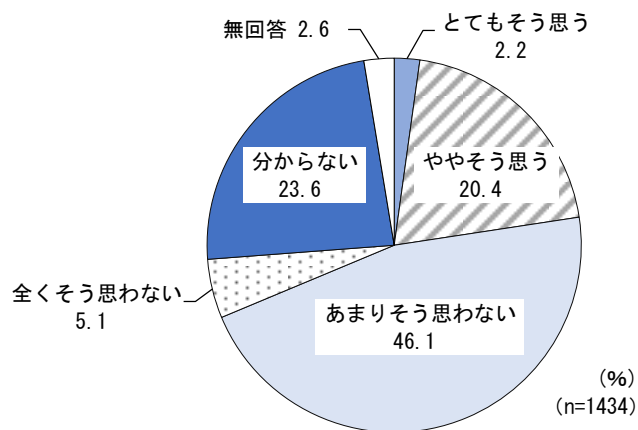
年齢別にみると、「広報いばらき（毎月1日発行）」が50歳以上で9割前後に対し、10・20歳代では5割台にとどまっている。また、70歳以上で「自治会からの回覧板」が60.8%、「新聞、テレビなどのマスコミ報道」が28.6%、10・20歳代で「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」が42.0%、「市の公式 Facebook・Twitter」が28.6%と、それぞれ高くなっている。

居住する地区別にみると、概ねいずれの地区も「広報いばらき（毎月1日発行）」が8割台となっている。また、「自治会からの回覧板」が山地部で64.3%、周辺部1で51.9%と高い。

(3) 茨木市の発信力

問 14 茨木市は、市の良いところを市内外に向けて積極的に発信していると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

【茨木市の発信力】



茨木市が市内外に向けて積極的に情報を発信しているかについて、“そう思う”という割合（「ともそう思う」「ややそう思う」の計）が22.6%に対し、“そう思わない”という割合（「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の計）は51.2%を占めている。

【回答者の属性等別 茨木市の発信力】

(上段：人、下段：%)

		調査数	とても そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	分 か ら な い	無 回 答
市全体		1434 100.0	31 2.2	292 20.4	661 46.1	73 5.1	339 23.6	38 2.6
【性別】	男性	597 100.0	12 2.0	121 20.3	286 47.9	38 6.4	127 21.3	13 2.2
	女性	816 100.0	18 2.2	169 20.7	368 45.1	33 4.0	206 25.2	22 2.7
【年齢】	18～29歳	112 100.0	1 0.9	31 27.7	48 42.9	6 5.4	26 23.2	0 0.0
	30～39歳	158 100.0	5 3.2	34 21.5	68 43.0	9 5.7	37 23.4	5 3.2
	40～49歳	241 100.0	7 2.9	44 18.3	134 55.6	14 5.8	42 17.4	0 0.0
	50～59歳	222 100.0	4 1.8	51 23.0	111 50.0	7 3.2	47 21.2	2 0.9
	60～69歳	312 100.0	7 2.2	48 15.4	147 47.1	20 6.4	83 26.6	7 2.2
	70歳以上	367 100.0	7 1.9	81 22.1	145 39.5	14 3.8	100 27.2	20 5.4
	【居住年数】	10年未満	21 100.0	0 0.0	8 38.1	6 28.6	0 0.0	6 28.6
	10～19年	222 100.0	6 2.7	51 23.0	111 50.0	9 4.1	44 19.8	1 0.5
	20年以上	1178 100.0	25 2.1	231 19.6	540 45.8	63 5.3	286 24.3	33 2.8
【居住する地区】	山地部	14 100.0	0 0.0	5 35.7	3 21.4	0 0.0	5 35.7	1 7.1
	丘陵部	164 100.0	3 1.8	35 21.3	80 48.8	11 6.7	30 18.3	5 3.0
	周辺部1	258 100.0	10 3.9	46 17.8	117 45.3	12 4.7	66 25.6	7 2.7
	中心部	665 100.0	12 1.8	142 21.4	305 45.9	41 6.2	150 22.6	15 2.3
	周辺部2	313 100.0	6 1.9	63 20.1	149 47.6	8 2.6	81 25.9	6 1.9
	わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0

年齢別にみると、“そう思う”という割合が10・20歳代で28.6%、“そう思わない”という割合が40歳代で61.4%と、それぞれ最も高くなっている。

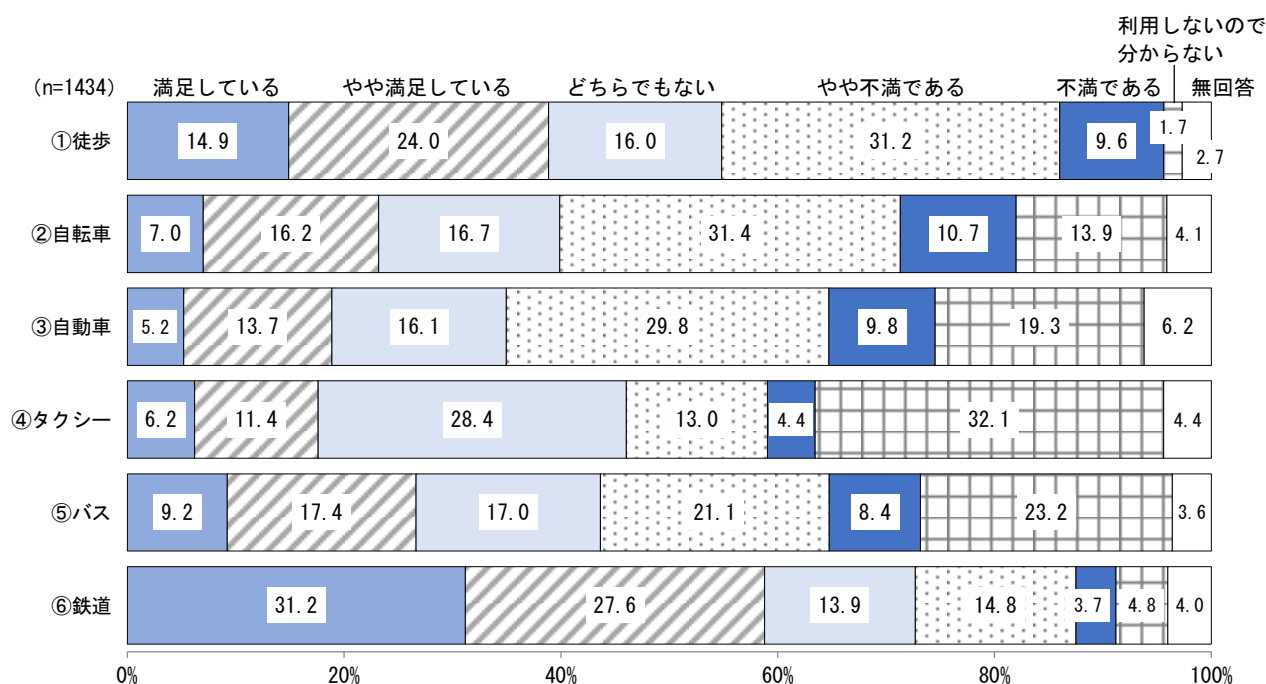
居住する地区別にみると、概ねいずれの地区も“そう思わない”という割合が過半数を占めており、丘陵部で55.5%と最も高い。

5 茨木市内での移動について

(1) 交通手段の利用環境に対する満足度

問 15 各交通手段の利用環境について、満足していますか。(1つだけに○をつけてください)
また、「やや不満である」、「不満である」を選択した方は、不満の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

【交通手段の利用環境に対する満足度】



各交通手段の利用環境に対する満足度として、“満足”という割合（「満足している」「やや満足している」の計）が『⑥鉄道』で58.8%を占めている。一方、“不満”という割合（「やや不満である」「不満である」の計）が『②自転車』で42.1%、『①徒歩』で40.8%、『③自動車』で39.6%と高くなっている。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に対する満足度（“不満”と回答）】

(上段：人、下段：%)

		調査数	① 徒歩	② 自転車	③ 自動車	④ タクシー	⑤ バス	⑥ 鉄道
市全体		1434 100.0	584 40.7	603 42.1	567 39.5	250 17.4	424 29.6	265 18.5
【性別】	男性	597 100.0	224 37.5	251 42.0	258 43.2	90 15.1	166 27.8	99 16.6
	女性	816 100.0	351 43.0	342 41.9	303 37.1	156 19.1	255 31.3	162 19.9
【年齢】	18～29歳	112 100.0	36 32.1	41 36.6	38 33.9	22 19.6	41 36.6	29 25.9
	30～39歳	158 100.0	68 43.0	62 39.2	81 51.3	23 14.6	57 36.1	47 29.7
	40～49歳	241 100.0	104 43.2	117 48.5	117 48.5	35 14.5	67 27.8	42 17.4
	50～59歳	222 100.0	93 41.9	106 47.7	99 44.6	42 18.9	68 30.6	43 19.4
	60～69歳	312 100.0	151 48.4	159 51.0	141 45.2	57 18.3	102 32.7	57 18.3
	70歳以上	367 100.0	119 32.4	107 29.2	83 22.6	68 18.5	87 23.7	44 12.0
	【居住年数】	10年未満	21 100.0	8 38.1	8 38.1	6 28.6	3 14.3	5 23.8
	10～19年	222 100.0	86 38.7	94 42.3	110 49.5	33 14.9	74 33.4	57 25.7
	20年以上	1178 100.0	486 41.3	496 42.1	448 38.0	213 18.1	343 29.1	202 17.1
【居住する地区】	山地部	14 100.0	3 21.4	1 7.1	7 50.0	2 14.3	4 28.6	2 14.3
	丘陵部	164 100.0	63 38.4	43 26.2	72 43.9	20 12.2	97 59.1	55 33.5
	周辺部1	258 100.0	127 49.2	122 47.3	118 45.7	45 17.4	98 38.0	57 22.1
	中心部	665 100.0	273 41.1	311 46.8	252 37.9	122 18.3	133 20.0	87 13.1
	周辺部2	313 100.0	108 34.5	119 38.0	112 35.8	60 19.2	87 27.8	61 19.5
	わからない	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0

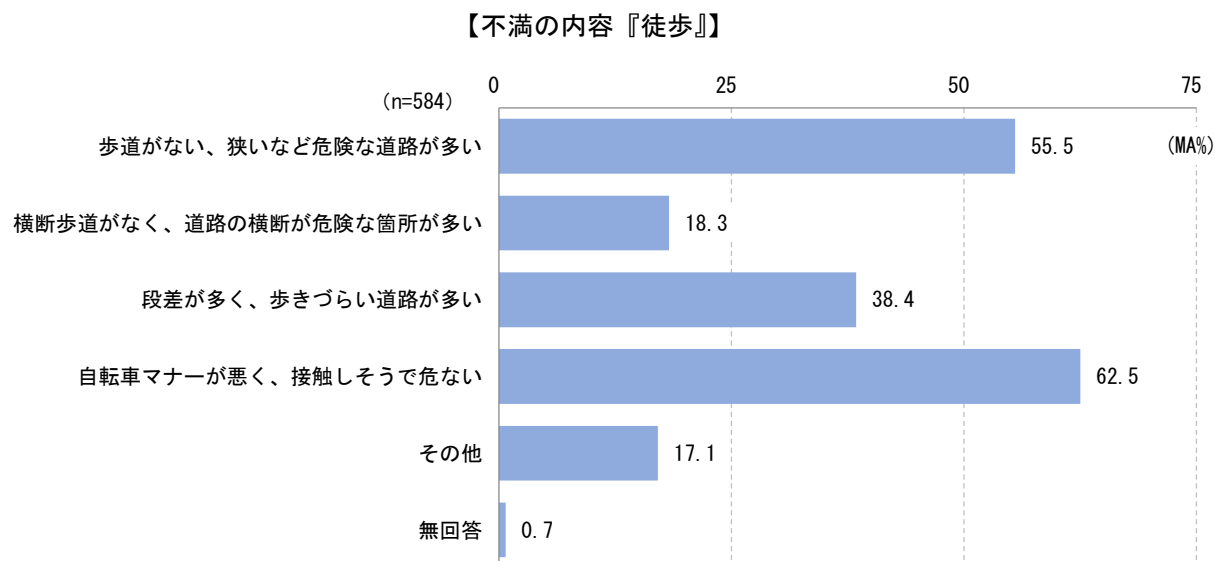
“不満”という割合について、性別にみると、男性では『③自動車』、女性では『①徒歩』でそれぞれ4割台と最も高くなっている。

年齢別にみると、40～60歳代で『②自転車』、30～40歳代で『③自動車』が、それぞれ5割前後と高くなっている。

居住する地区別にみると、丘陵部で『⑤バス』が約6割、周辺部1で『①徒歩』が約5割と高くなっている。

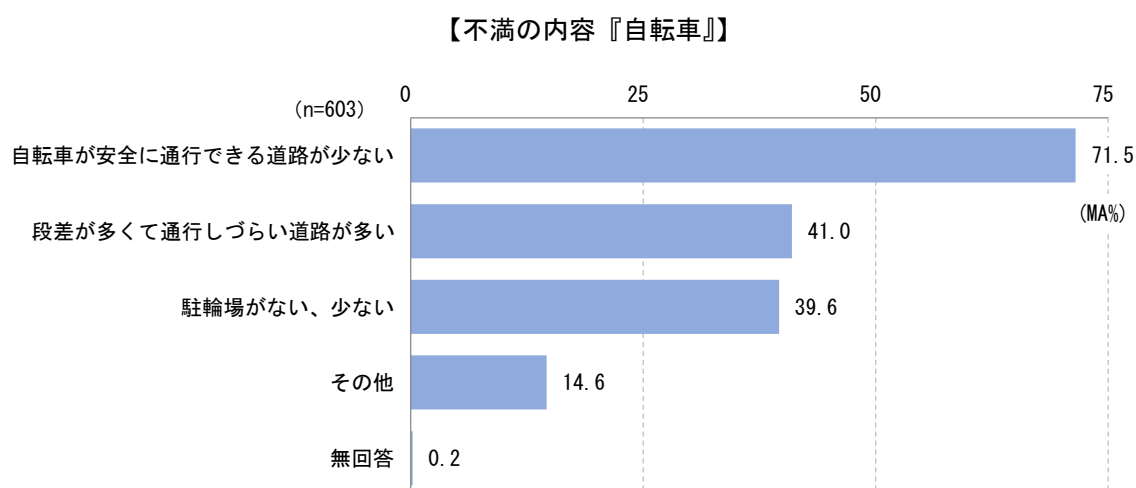
(2) 交通手段の利用環境に不満の内容

① 徒歩



交通手段の利用環境として『徒歩』について不満と回答した人の理由としては、「自転車マナーが悪く、接触しそうで危ない」が62.5%と最も高く、次いで「歩道がない、狭いなど危険な道路が多い」が55.5%となっている。

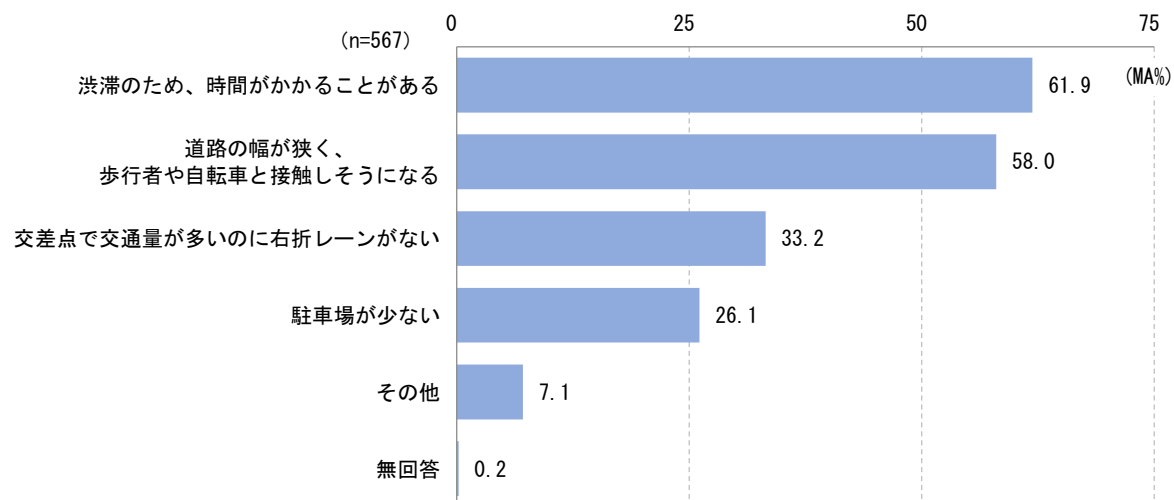
② 自転車



交通手段の利用環境として『自転車』について不満と回答した人の理由としては、「自転車が安全に通行できる道路が少ない」が71.5%と最も高くなっている。

③自動車

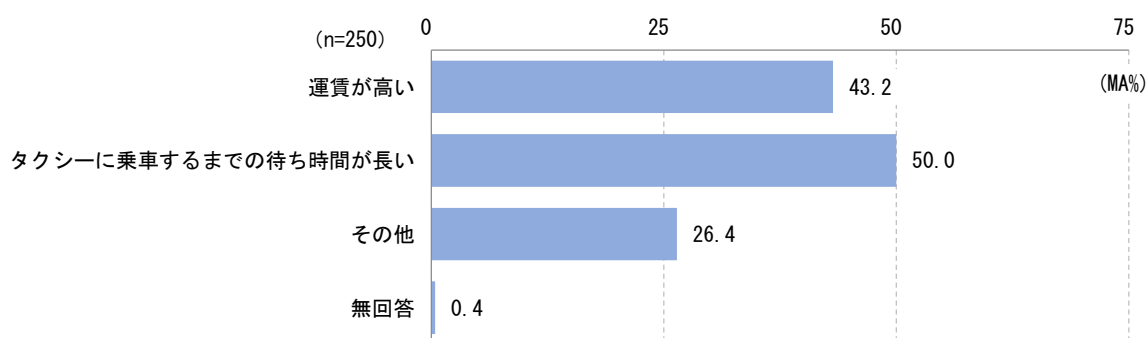
【不満の内容『自動車』】



交通手段の利用環境として『自動車』について不満と回答した人の理由としては、「渋滞のため、時間がかかることがある」が61.9%と最も高く、次いで「道路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しそうになる」が58.0%となっている。

④タクシー

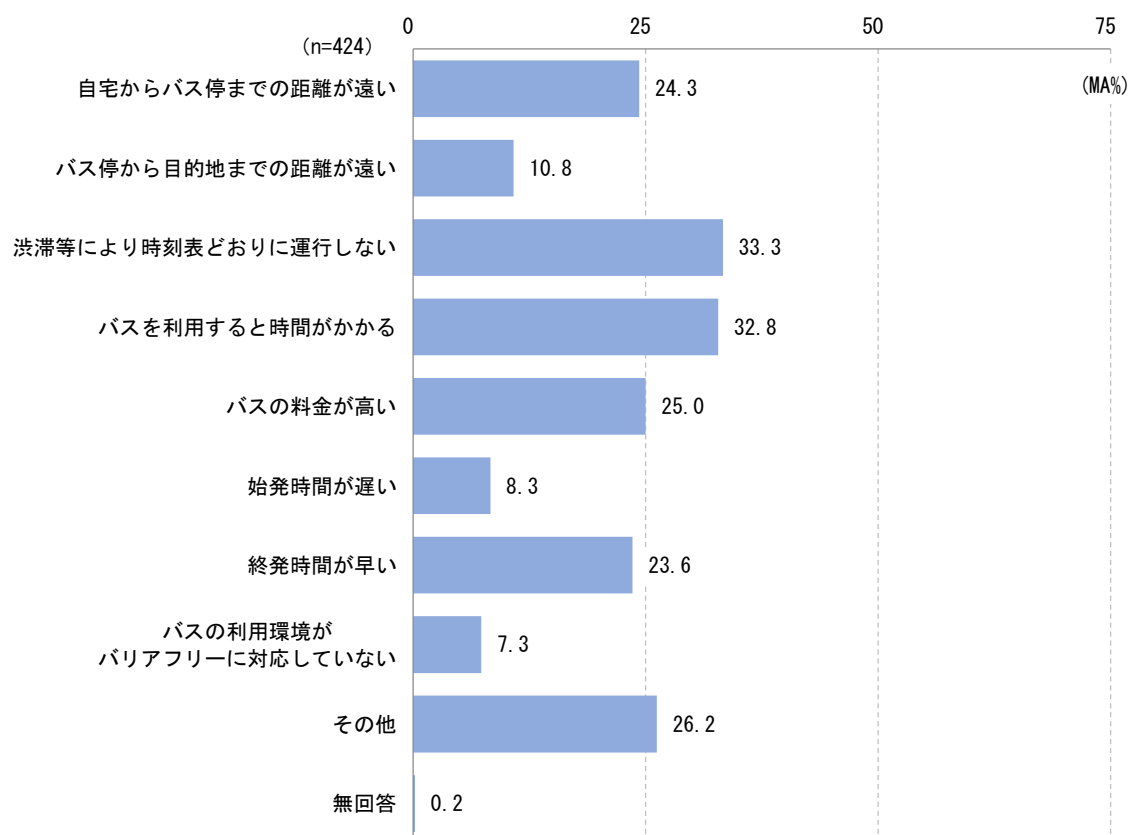
【不満の内容『タクシー』】



交通手段の利用環境として『タクシー』について不満と回答した人の理由としては、「タクシーに乗車するまでの待ち時間が長い」が50.0%と最も高くなっている。

⑤バス

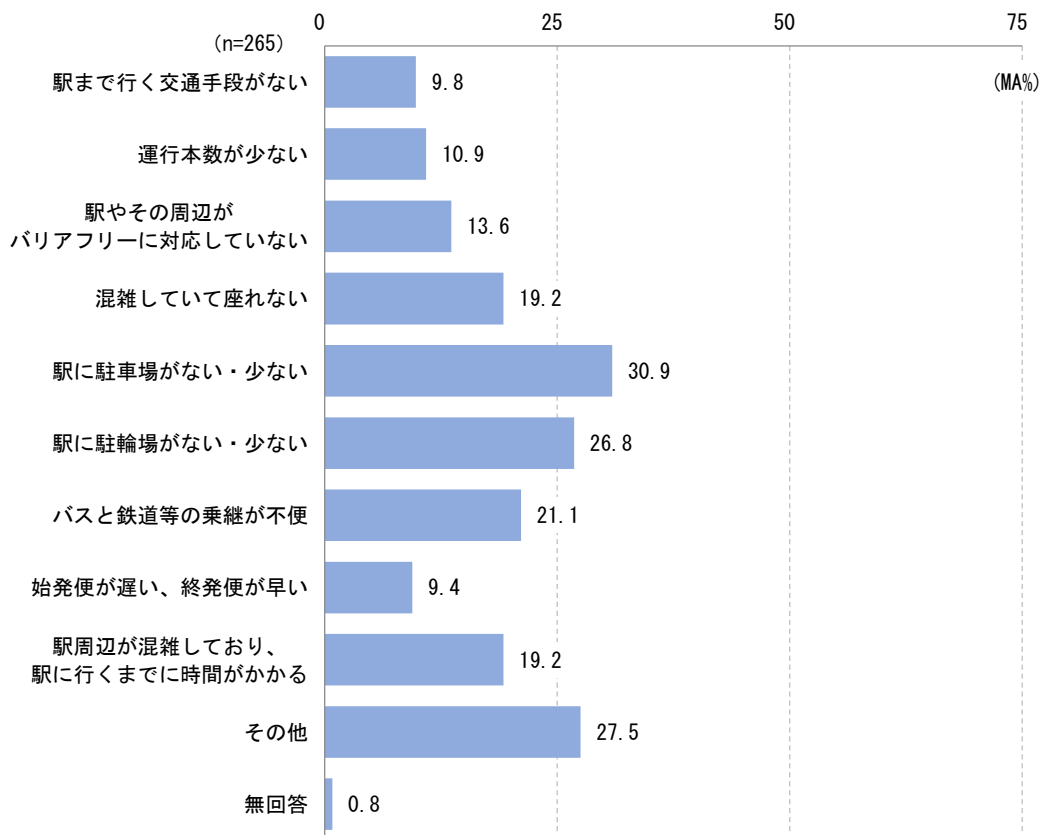
【不満の内容『バス』】



交通手段の利用環境として『バス』について不満と回答した人の理由としては、「渋滞等により時刻表どおりに運行しない」が33.3%、「バスを利用すると時間がかかる」が32.8%と高くなっている。

⑥鉄道

【不満の内容『鉄道』】



交通手段の利用環境として『鉄道』について不満と回答した人の理由としては、「駅に駐車場がない・少ない」が30.9%と最も高く、次いで「駅に駐輪場がない・少ない」が26.8%、「バスと鉄道等の乗継が不便」が21.1%となっている。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に不満の内容『①徒歩』】

(上段：人、下段：%)

	調査数	危険な道路が多い、狭いなど	歩道がない、狭いなど	多い横断歩道が多い、危険な箇所が多い	横断歩道が多い、歩道が狭い	段差が多く、歩きづら	接触しそうで危険	自転車マナーが悪く、	その他	無回答
市全体	584 100.0	324 55.5	107 18.3	224 38.4	365 62.5	100 17.1	4 0.7			
【性別】	男性	224 100.0	123 54.9	39 17.4	84 37.5	146 65.2	42 18.8	0 0.0		
	女性	351 100.0	194 55.3	66 18.8	135 38.5	213 60.7	54 15.4	4 1.1		
【年齢】	18～29歳	36 100.0	23 63.9	12 33.3	7 19.4	22 61.1	7 19.4	0 0.0		
	30～39歳	68 100.0	39 57.4	15 22.1	22 32.4	34 50.0	12 17.6	0 0.0		
	40～49歳	104 100.0	68 65.4	21 20.2	45 43.3	66 63.5	17 16.3	1 1.0		
	50～59歳	93 100.0	65 69.9	19 20.4	34 36.6	52 55.9	17 18.3	0 0.0		
	60～69歳	151 100.0	77 51.0	20 13.2	66 43.7	102 67.5	23 15.2	0 0.0		
	70歳以上	119 100.0	43 36.1	17 14.3	44 37.0	81 68.1	19 16.0	2 1.7		
	【居住年数】	10年未満	8 100.0	6 75.0	2 25.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	
	10～19年	86 100.0	55 64.0	18 20.9	27 31.4	45 52.3	14 16.3	0 0.0		
	20年以上	486 100.0	259 53.3	86 17.7	191 39.3	315 64.8	85 17.5	4 0.8		
【居住する地区】	山地部	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0		
	丘陵部	63 100.0	28 44.4	19 30.2	24 38.1	33 52.4	11 17.5	0 0.0		
	周辺部1	127 100.0	68 53.5	18 14.2	48 37.8	78 61.4	18 14.2	1 0.8		
	中心部	273 100.0	159 58.2	52 19.0	115 42.1	180 65.9	47 17.2	3 1.1		
	周辺部2	108 100.0	61 56.5	17 15.7	35 32.4	67 62.0	21 19.4	0 0.0		
	わからない	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0		

『徒歩』に関する不満の内容について、年齢別にみると、10～50歳代では「歩道がない、狭いなど危険な道路が多い」が5～6割台、60歳以上では「自転車マナーが悪く、接触しそうで危険」が6割台と、それぞれ最も高くなっている。

居住する地区別にみると、概ねいずれの地区も「自転車マナーが悪く、接触しそうで危険」が最も高く、特に中心部で65.9%と高い。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に不満の内容『②自転車』】

(上段：人、下段：%)

	調査数	自転車 が安全に 通行で きる道 路が少 ない	段 差が 多く て通 行し づ ら	駐 輪 場 が な い、 少 な い	そ の 他	無 回 答
市全体	603 100.0	431 71.5	247 41.0	239 39.6	88 14.6	1 0.2
【性別】						
男性	251 100.0	187 74.5	95 37.8	87 34.7	36 14.3	0 0.0
女性	342 100.0	236 69.0	146 42.7	148 43.3	50 14.6	1 0.3
【年齢】						
18～29歳	41 100.0	27 65.9	13 31.7	20 48.8	8 19.5	0 0.0
30～39歳	62 100.0	42 67.7	20 32.3	31 50.0	11 17.7	0 0.0
40～49歳	117 100.0	83 70.9	52 44.4	47 40.2	19 16.2	1 0.9
50～59歳	106 100.0	81 76.4	46 43.4	40 37.7	18 17.0	0 0.0
60～69歳	159 100.0	121 76.1	67 42.1	51 32.1	20 12.6	0 0.0
70歳以上	107 100.0	68 63.6	42 39.3	46 43.0	10 9.3	0 0.0
【居住年数】						
10年未満	8 100.0	6 75.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0
10～19年	94 100.0	67 71.3	46 48.9	43 45.7	12 12.8	1 1.1
20年以上	496 100.0	354 71.4	197 39.7	190 38.3	76 15.3	0 0.0
【居住する地区】						
山地部	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
丘陵部	43 100.0	30 69.8	14 32.6	20 46.5	6 14.0	0 0.0
周辺部1	122 100.0	91 74.6	59 48.4	44 36.1	17 13.9	0 0.0
中心部	311 100.0	218 70.1	122 39.2	135 43.4	47 15.1	0 0.0
周辺部2	119 100.0	85 71.4	49 41.2	38 31.9	18 15.1	1 0.8
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

『自転車』に関する不満の内容について、年齢別にみると、いずれの年齢層も「自転車が安全に通行できる道路が少ない」が最も高く、特に50歳代で76.4%、60歳代で76.1%と高い。

居住する地区別にみると、いずれの地区も「自転車が安全に通行できる道路が少ない」が最も高く、特に周辺部1で74.6%と高い。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に不満の内容『③自動車』】

(上段：人、下段：%)

	調査数	渋滞のため、時間がかかる	道路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しやすくなる	交差点で折れ交差の量が多い	駐車場が少ない	その他	無回答
市全体	567 100.0	351 61.9	329 58.0	188 33.2	148 26.1	40 7.1	1 0.2
【性別】							
男性	258 100.0	167 64.7	135 52.3	97 37.6	65 25.2	20 7.8	0 0.0
女性	303 100.0	180 59.4	189 62.4	88 29.0	82 27.1	19 6.3	1 0.3
【年齢】							
18～29歳	38 100.0	20 52.6	18 47.4	13 34.2	8 21.1	5 13.2	0 0.0
30～39歳	81 100.0	59 72.8	38 46.9	29 35.8	23 28.4	6 7.4	0 0.0
40～49歳	117 100.0	78 66.7	66 56.4	49 41.9	27 23.1	8 6.8	0 0.0
50～59歳	99 100.0	66 66.7	67 67.7	29 29.3	19 19.2	5 5.1	0 0.0
60～69歳	141 100.0	79 56.0	87 61.7	43 30.5	40 28.4	10 7.1	0 0.0
70歳以上	83 100.0	45 54.2	46 55.4	21 25.3	30 36.1	4 4.8	1 1.2
【居住年数】							
10年未満	6 100.0	5 83.3	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
10～19年	110 100.0	82 74.5	56 50.9	42 38.2	25 22.7	7 6.4	0 0.0
20年以上	448 100.0	263 58.7	269 60.0	144 32.1	121 27.0	33 7.4	1 0.2
【居住する地区】							
山地部	7 100.0	5 71.4	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3
丘陵部	72 100.0	56 77.8	31 43.1	27 37.5	25 34.7	7 9.7	0 0.0
周辺部1	118 100.0	68 57.6	65 55.1	44 37.3	35 29.7	11 9.3	0 0.0
中心部	252 100.0	154 61.1	160 63.5	83 32.9	52 20.6	17 6.7	0 0.0
周辺部2	112 100.0	65 58.0	67 59.8	33 29.5	32 28.6	5 4.5	0 0.0
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

『自動車』に関する不満の内容について、年齢別にみると、10～40歳代では「渋滞のため、時間がかかることがある」が5～7割台と最も高く、特に30歳代で72.8%と高い。一方、50歳以上では「道路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しやすくなる」が5～6割台と、最も高くなっている。

居住する地区別にみると、丘陵部、山地部、周辺部1では「渋滞のため、時間がかかることがある」が5～7割台、中心部、周辺部2では「路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しやすくなる」が5～6割台と、それぞれ最も高くなっている。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に不満の内容『④タクシー』】

(上段：人、下段：%)

		調査数	運賃が高い	でタクシーの待ち時間に乗車するまで長い	その他	無回答
市全体		250	108	125	66	1
		100.0	43.2	50.0	26.4	0.4
【性別】	男性	90	45	46	16	1
		100.0	50.0	51.1	17.8	1.1
	女性	156	62	76	48	0
		100.0	39.7	48.7	30.8	0.0
【年齢】	18～29歳	22	10	7	5	1
		100.0	45.5	31.8	22.7	4.5
	30～39歳	23	9	14	5	0
		100.0	39.1	60.9	21.7	0.0
	40～49歳	35	12	23	8	0
		100.0	34.3	65.7	22.9	0.0
	50～59歳	42	22	28	8	0
	100.0	52.4	66.7	19.0	0.0	
	60～69歳	57	26	23	17	0
		100.0	45.6	40.4	29.8	0.0
	70歳以上	68	28	27	22	0
		100.0	41.2	39.7	32.4	0.0
【居住年数】	10年未満	3	1	2	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	10～19年	33	13	18	6	0
	100.0	39.4	54.5	18.2	0.0	
	20年以上	213	94	104	60	1
		100.0	44.1	48.8	28.2	0.5
【居住する地区】	山地部	2	2	1	0	0
		100.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	丘陵部	20	13	9	1	0
		100.0	65.0	45.0	5.0	0.0
	周辺部1	45	21	20	13	0
		100.0	46.7	44.4	28.9	0.0
	中心部	122	51	57	35	1
	100.0	41.8	46.7	28.7	0.8	
	周辺部2	60	21	37	17	0
		100.0	35.0	61.7	28.3	0.0
	わからない	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

『タクシー』に関する不満の内容について、年齢別にみると、30～50歳代では「タクシーに乗車するまでの待ち時間が長い」、そのほかの年齢層では「運賃が高い」が、それぞれ最も高くなっている。

居住する地区別にみると、「タクシーに乗車するまでの待ち時間が長い」が周辺部2で61.7%と、他の地区に比べて高くなっている。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に不満の内容『⑤バス』】

(上段：人、下段：%)

	調査数	自宅からバス停までの距離が遠い	バスの距離が遠い目的まで	渋滞等に運行しな時刻表ど	バスを利用すると時間がかかる	バスの料金が安い	始発時間が遅い	終発時間が早い	バス利用環境が対応してない	その他	無回答
市全体	424	103	46	141	139	106	35	100	31	111	1
	100.0	24.3	10.8	33.3	32.8	25.0	8.3	23.6	7.3	26.2	0.2
【性別】											
男性	166	33	19	56	50	44	15	35	17	39	0
	100.0	19.9	11.4	33.7	30.1	26.5	9.0	21.1	10.2	23.5	0.0
女性	255	70	27	84	89	61	20	64	14	71	1
	100.0	27.5	10.6	32.9	34.9	23.9	7.8	25.1	5.5	27.8	0.4
【年齢】											
18～29歳	41	5	4	16	13	8	5	16	1	10	0
	100.0	12.2	9.8	39.0	31.7	19.5	12.2	39.0	2.4	24.4	0.0
30～39歳	57	7	3	15	17	8	5	20	2	25	1
	100.0	12.3	5.3	26.3	29.8	14.0	8.8	35.1	3.5	43.9	1.8
40～49歳	67	17	9	24	26	13	7	22	4	18	0
	100.0	25.4	13.4	35.8	38.8	19.4	10.4	32.8	6.0	26.9	0.0
50～59歳	68	16	9	26	28	10	6	17	10	16	0
	100.0	23.5	13.2	38.2	41.2	14.7	8.8	25.0	14.7	23.5	0.0
60～69歳	102	25	10	34	35	35	6	17	6	26	0
	100.0	24.5	9.8	33.3	34.3	34.3	5.9	16.7	5.9	25.5	0.0
70歳以上	87	33	11	25	20	31	6	7	8	16	0
	100.0	37.9	12.6	28.7	23.0	35.6	6.9	8.0	9.2	18.4	0.0
【居住年数】											
10年未満	5	0	1	3	1	1	0	2	0	1	0
	100.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
10～19年	74	10	5	20	25	10	8	21	1	28	0
	100.0	13.5	6.8	27.0	33.8	13.5	10.8	28.4	1.4	37.8	0.0
20年以上	343	92	40	118	113	94	27	77	30	82	1
	100.0	26.8	11.7	34.4	32.9	27.4	7.9	22.4	8.7	23.9	0.3
【居住する地区】											
山地部	4	1	1	1	2	4	1	2	0	2	0
	100.0	25.0	25.0	25.0	50.0	100.0	25.0	50.0	0.0	50.0	0.0
丘陵部	97	10	12	34	40	46	11	30	3	29	0
	100.0	10.3	12.4	35.1	41.2	47.4	11.3	30.9	3.1	29.9	0.0
周辺部1	98	27	6	37	31	14	13	32	5	26	0
	100.0	27.6	6.1	37.8	31.6	14.3	13.3	32.7	5.1	26.5	0.0
中心部	133	29	14	49	45	29	6	19	18	30	1
	100.0	21.8	10.5	36.8	33.8	21.8	4.5	14.3	13.5	22.6	0.8
周辺部2	87	35	13	18	20	11	4	16	5	23	0
	100.0	40.2	14.9	20.7	23.0	12.6	4.6	18.4	5.7	26.4	0.0
わからない	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

『バス』に関する不満の内容について、年齢別にみると、「バスを利用すると時間がかかる」が40～50歳代、「自宅からバス停までの距離が遠い」70歳以上、「終発時間が早い」が10～40歳代で、それぞれ3～4割台と高くなっている。

居住する地区別にみると、丘陵部では「バスの料金が安い」、周辺部1、中心部では「渋滞等により時刻表どおりに運行しない」、周辺部2では「自宅からバス停までの距離が遠い」が、それぞれ最も高くなっている。

【回答者の属性等別 交通手段の利用環境に不満の内容『⑥鉄道』】

(上段：人、下段：%)

	調査数	駅まで行く交通手段がない	運行本数が少ない	駅やその周辺がバリエーションに対応していない	混雑して座れない	駅に駐車場がない・少ない	駅に駐輪場がない・少ない	バスと鉄道等の乗継が不便	始発便が遅い、終発便が早い	間がかかると感じる	駅周辺が混雑して行くまでにお時間がかかる	その他	無回答
市全体	265 100.0	26 9.8	29 10.9	36 13.6	51 19.2	82 30.9	71 26.8	56 21.1	25 9.4	51 19.2	73 27.5	2 0.8	
【性別】	男性	99 100.0	10 10.1	17 17.2	12 12.1	26 26.3	32 32.3	25 25.3	24 24.2	10 10.1	24 24.2	28 28.3	2 2.0
	女性	162 100.0	16 9.9	12 7.4	23 14.2	24 14.8	50 30.9	46 28.4	31 19.1	15 9.3	27 16.7	41 25.3	0 0.0
【年齢】	18～29歳	29 100.0	2 6.9	6 20.7	3 10.3	10 34.5	9 31.0	7 24.1	3 10.3	7 24.1	4 13.8	4 13.8	0 0.0
	30～39歳	47 100.0	2 4.3	10 21.3	5 10.6	8 17.0	8 17.0	15 31.9	13 27.7	9 19.1	7 14.9	19 40.4	0 0.0
	40～49歳	42 100.0	6 14.3	2 4.8	4 9.5	10 23.8	10 23.8	13 31.0	11 26.2	3 7.1	8 19.0	11 26.2	0 0.0
	50～59歳	43 100.0	6 14.0	5 11.6	9 20.9	11 25.6	8 18.6	18 41.9	10 23.3	4 9.3	8 18.6	13 30.2	0 0.0
	60～69歳	57 100.0	4 7.0	3 5.3	7 12.3	4 7.0	27 47.4	10 17.5	7 12.3	1 1.8	16 28.1	12 21.1	1 1.8
	70歳以上	44 100.0	6 13.6	3 6.8	7 15.9	8 18.2	20 45.5	8 18.2	12 27.3	1 2.3	8 18.2	11 25.0	1 2.3
	【居住年数】	10年未満	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
10～19年	57 100.0	4 7.0	13 22.8	7 12.3	10 17.5	9 15.8	14 24.6	12 21.1	9 15.8	6 10.5	19 33.3	0 0.0	
20年以上	202 100.0	22 10.9	16 7.9	29 14.4	39 19.3	73 36.1	56 27.7	43 21.3	16 7.9	44 21.8	51 25.2	2 1.0	
【居住する地区】	山地部	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	丘陵部	55 100.0	5 9.1	12 21.8	3 5.5	5 9.1	16 29.1	4 7.3	17 30.9	8 14.5	17 30.9	14 25.5	0 0.0
	周辺部1	57 100.0	5 8.8	8 14.0	2 3.5	8 14.0	26 45.6	18 31.6	12 21.1	6 10.5	13 22.8	9 15.8	1 1.8
	中心部	87 100.0	7 8.0	6 6.9	18 20.7	25 28.7	25 28.7	33 37.9	13 14.9	6 6.9	11 12.6	30 34.5	0 0.0
	周辺部2	61 100.0	8 13.1	2 3.3	13 21.3	12 19.7	14 23.0	16 26.2	13 21.3	5 8.2	9 14.8	19 31.1	1 1.6
	わからない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

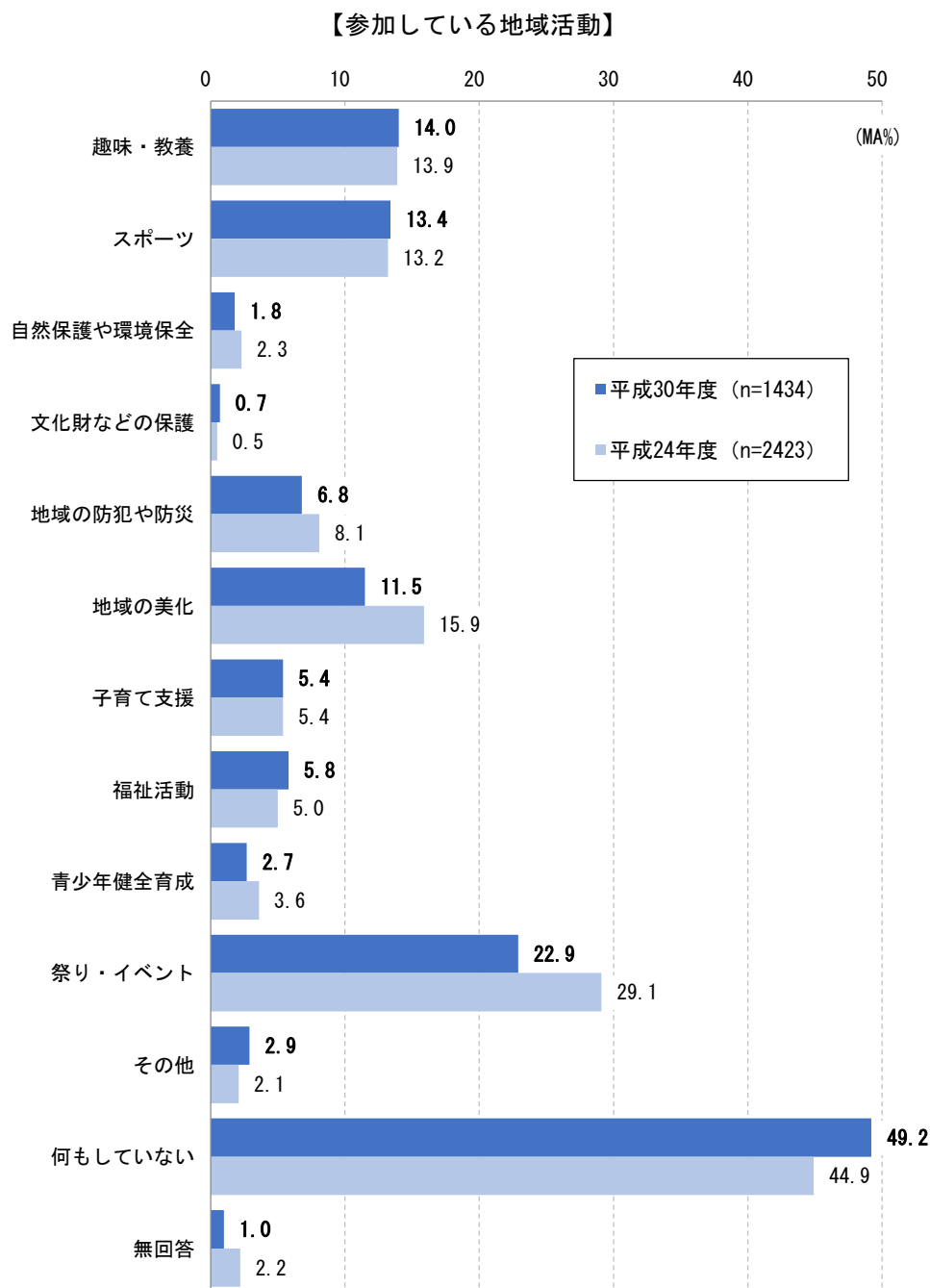
『鉄道』に関する不満の内容について、年齢別にみると、30～50歳代では「駅に駐輪場がない・少ない」が3～4割台、60歳以上では「駅に駐車場がない・少ない」が4割台と、それぞれ最も高くなっている。

居住する地区別にみると、「駅に駐車場がない・少ない」が周辺部1で45.6%、「駅に駐輪場がない・少ない」が中心部で37.9%、「駅周辺が混雑しており、駅に行くまでに時間がかかる」が丘陵部で30.9%と、それぞれ高くなっている。

6 地域活動への参加状況について

(1) 参加している地域活動

問 16 あなたは、地域でどのような活動に参加されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



地域で参加している活動として、「何もしていない」が49.2%を占める。いずれかの活動に参加している割合では、「祭り・イベント」が22.9%と高く、「趣味・教養」が14.0%、「スポーツ」が13.4%、「地域の美化」が11.5%と続いている。

【属性等別 参加している地域活動】

(上段：人、下段：%)

	調査数	趣味・教養	スポーツ	自然保護や環境保全	文化財などの保護	地域の防犯や防災	地域の美化	子育て支援	福祉活動	青少年健全育成	祭り・イベント	その他	何もしていない	無回答	
市全体	1434 100.0	201 14.0	192 13.4	26 1.8	10 0.7	97 6.8	165 11.5	77 5.4	83 5.8	39 2.7	329 22.9	42 2.9	705 49.2	15 1.0	
【性別】	男性	597 100.0	55 9.2	81 13.6	16 2.7	7 1.2	55 9.2	68 11.4	23 3.9	26 4.4	18 3.0	128 21.4	21 3.5	322 53.9	7 1.2
	女性	816 100.0	145 17.8	108 13.2	10 1.2	3 0.4	41 5.0	95 11.6	54 6.6	55 6.7	21 2.6	196 24.0	21 2.6	372 45.6	7 0.9
【年齢】	18～29歳	112 100.0	8 7.1	8 7.1	0 0.0	0 0.0	1 0.9	5 4.5	2 1.8	1 0.9	1 0.9	21 18.8	0 0.0	79 70.5	1 0.9
	30～39歳	158 100.0	13 8.2	13 8.2	4 2.5	1 0.6	6 3.8	11 7.0	29 18.4	7 4.4	5 3.2	55 34.8	5 3.2	73 46.2	1 0.6
	40～49歳	241 100.0	13 5.4	26 10.8	4 1.7	1 0.4	16 6.6	25 10.4	24 10.0	9 3.7	11 4.6	72 29.9	3 1.2	126 52.3	0 0.0
	50～59歳	222 100.0	16 7.2	25 11.3	0 0.0	1 0.5	17 7.7	30 13.5	6 2.7	9 4.1	9 4.1	54 24.3	10 4.5	111 50.0	1 0.5
	60～69歳	312 100.0	64 20.5	56 17.9	10 3.2	3 1.0	23 7.4	40 12.8	7 2.2	24 7.7	5 1.6	52 16.7	7 2.2	159 51.0	1 0.3
	70歳以上	367 100.0	86 23.4	61 16.6	8 2.2	4 1.1	33 9.0	52 14.2	9 2.5	32 8.7	8 2.2	69 18.8	17 4.6	145 39.5	10 2.7
	【居住年数】	10年未満	21 100.0	1 4.8	2 9.5	2 9.5	0 0.0	4 19.0	3 14.3	5 23.8	1 4.8	2 9.5	13 61.9	1 4.8	5 23.8
	10～19年	222 100.0	15 6.8	19 8.6	2 0.9	0 0.0	8 3.6	21 9.5	25 11.3	6 2.7	11 5.0	64 28.8	4 1.8	115 51.8	1 0.5
	20年以上	1178 100.0	184 15.6	168 14.3	22 1.9	10 0.8	84 7.1	139 11.8	47 4.0	76 6.5	26 2.2	249 21.1	37 3.1	577 49.0	14 1.2
【居住する地区】	山地部	14 100.0	3 21.4	2 14.3	3 21.4	0 0.0	2 14.3	3 21.4	0 0.0	3 21.4	0 0.0	3 21.4	0 0.0	5 35.7	1 7.1
	丘陵部	164 100.0	25 15.2	18 11.0	2 1.2	0 0.0	10 6.1	23 14.0	11 6.7	13 7.9	0 0.0	41 25.0	4 2.4	81 49.4	1 0.6
	周辺部1	258 100.0	41 15.9	34 13.2	6 2.3	3 1.2	28 10.9	34 13.2	16 6.2	15 5.8	7 2.7	64 24.8	9 3.5	114 44.2	1 0.4
	中心部	665 100.0	87 13.1	88 13.2	11 1.7	3 0.5	38 5.7	74 11.1	36 5.4	36 5.4	21 3.2	149 22.4	18 2.7	329 49.5	9 1.4
	周辺部2	313 100.0	44 14.1	47 15.0	4 1.3	4 1.3	18 5.8	28 8.9	14 4.5	16 5.1	11 3.5	67 21.4	11 3.5	164 52.4	3 1.0
	わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

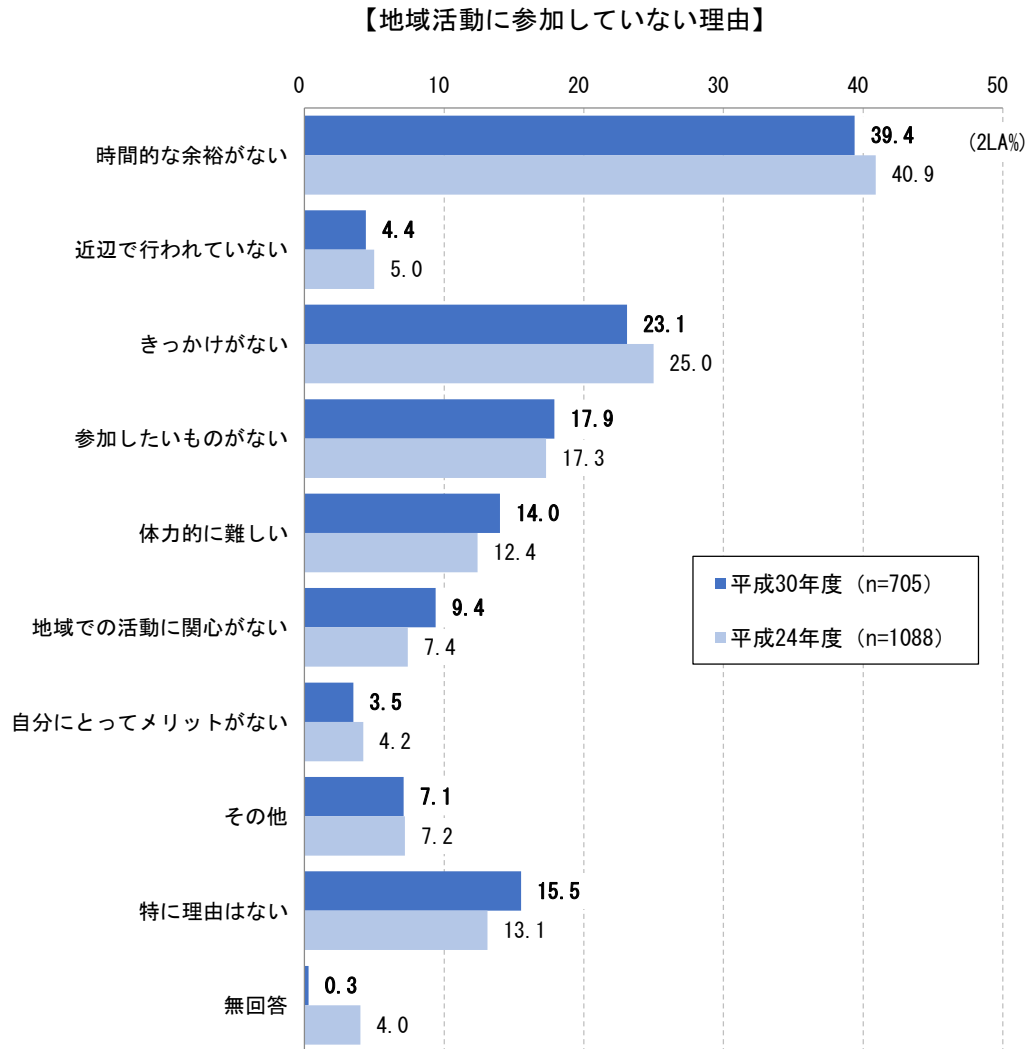
性別にみると、「何もしていない」が女性で45.6%に対し、男性では53.9%と高くなっている。また、「趣味・教養」が男性で9.2%に対し、女性では17.8%と高い。

年齢別にみると、「何もしていない」が10・20歳代で約7割(70.5%)を占めている。いずれかの活動に参加している割合では、30歳代で「祭り・イベント」が34.8%、「子育て支援」が18.4%、70歳以上で「趣味・教養」が23.4%と、それぞれ高くなっている。

(2) 地域活動に参加していない理由

(問16で「12.何もしていない」とお答えになった方にお聞きします。)

問17 その理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。



地域での活動について何もしていないと回答した人の理由としては、「時間的な余裕がない」が39.4%と最も高く、次いで「きっかけがない」が23.1%、「参加したいものがない」が17.9%となっている。

前回調査と比較しても、さほど大きな差はみられないものの、「体力的に難しい」、「地域での活動に関心がない」が2ポイント程度増えている。

【属性等別 地域活動に参加していない理由】

(上段：人、下段：%)

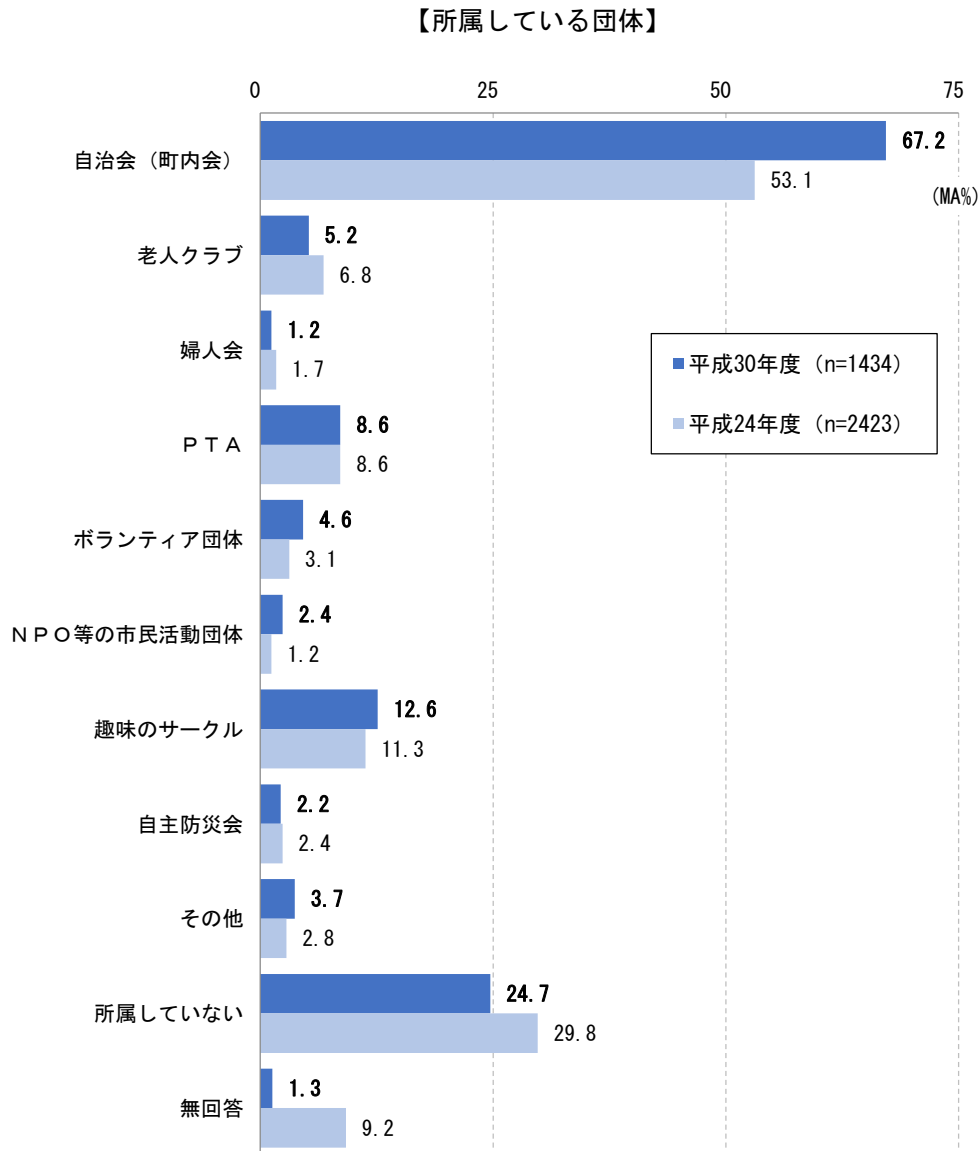
	調査数	時間的な余裕がない	近辺で行われていない	きっかけがない	参加したいものがない	体力的に難しい	ない地域での活動に関心が	自分にとってメリットがない	その他	特に理由はない	無回答
市全体	705 100.0	278 39.4	31 4.4	163 23.1	126 17.9	99 14.0	66 9.4	25 3.5	50 7.1	109 15.5	2 0.3
【性別】											
男性	322 100.0	127 39.4	16 5.0	75 23.3	55 17.1	49 15.2	31 9.6	13 4.0	21 6.5	47 14.6	0 0.0
女性	372 100.0	145 39.0	14 3.8	85 22.8	69 18.5	48 12.9	34 9.1	12 3.2	27 7.3	62 16.7	2 0.5
【年齢】											
18～29歳	79 100.0	42 53.2	3 3.8	27 34.2	17 21.5	2 2.5	9 11.4	6 7.6	3 3.8	6 7.6	0 0.0
30～39歳	73 100.0	47 64.4	6 8.2	19 26.0	10 13.7	2 2.7	13 17.8	5 6.8	7 9.6	4 5.5	0 0.0
40～49歳	126 100.0	68 54.0	4 3.2	28 22.2	23 18.3	8 6.3	6 4.8	5 4.0	9 7.1	20 15.9	0 0.0
50～59歳	111 100.0	50 45.0	0 0.0	27 24.3	21 18.9	9 8.1	15 13.5	7 6.3	9 8.1	15 13.5	1 0.9
60～69歳	159 100.0	50 31.4	12 7.5	37 23.3	35 22.0	21 13.2	15 9.4	1 0.6	9 5.7	30 18.9	0 0.0
70歳以上	145 100.0	16 11.0	5 3.4	21 14.5	18 12.4	55 37.9	7 4.8	1 0.7	11 7.6	33 22.8	1 0.7
【居住年数】											
10年未満	5 100.0	3 60.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10～19年	115 100.0	72 62.6	3 2.6	29 25.2	23 20.0	1 0.9	15 13.0	6 5.2	10 8.7	7 6.1	0 0.0
20年以上	577 100.0	198 34.3	27 4.7	129 22.4	99 17.2	97 16.8	50 8.7	19 3.3	40 6.9	102 17.7	2 0.3
【居住する地区】											
山地部	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
丘陵部	81 100.0	29 35.8	5 6.2	14 17.3	14 17.3	12 14.8	12 14.8	2 2.5	10 12.3	10 12.3	0 0.0
周辺部1	114 100.0	42 36.8	6 5.3	23 20.2	20 17.5	18 15.8	10 8.8	5 4.4	11 9.6	14 12.3	0 0.0
中心部	329 100.0	134 40.7	13 4.0	87 26.4	58 17.6	43 13.1	30 9.1	13 4.0	17 5.2	56 17.0	1 0.3
周辺部2	164 100.0	67 40.9	5 3.0	36 22.0	32 19.5	22 13.4	14 8.5	5 3.0	12 7.3	25 15.2	0 0.0
わからない	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

年齢別にみると、70歳未満ではいずれも「時間的な余裕がない」が最も高く、特に30歳代で64.4%と高くなっている。一方、70歳以上では「体力的に難しい」が37.9%と最も高い。

居住する地区別にみると、概ねいずれの地区も「時間的な余裕がない」が3～4割台と最も高くなっている。

(3) 地域で所属している団体

問 18 あなたは、地域でどのような団体に所属していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



地域で所属している団体としては、「自治会 (町内会)」が 67.2%と最も高く、次いで「趣味のサークル」が 12.6%、「PTA」が 8.6%となっている。一方、「所属していない」は2割台(24.7%)みられる。

前回調査と比較すると、前回と同様に「自治会 (町内会)」が最も高くなっており、14.1ポイント増えている。

【属性等別 所属している団体】

(上段：人、下段：%)

	調査数	自治会 (町内会)	老人 クラブ	婦 人 会	P T A	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体	団 体 N P O 等 の 市 民 活 動	趣 味 の サ ー ク ル	自 主 防 災 会	そ の 他	所 属 し て い な い	無 回 答
市全体	1434 100.0	964 67.2	74 5.2	17 1.2	124 8.6	66 4.6	35 2.4	180 12.6	31 2.2	53 3.7	354 24.7	18 1.3
【性別】												
男性	597 100.0	390 65.3	28 4.7	1 0.2	31 5.2	24 4.0	19 3.2	50 8.4	19 3.2	23 3.9	158 26.5	7 1.2
女性	816 100.0	561 68.8	44 5.4	15 1.8	93 11.4	40 4.9	16 2.0	130 15.9	12 1.5	28 3.4	189 23.2	10 1.2
【年齢】												
18～29歳	112 100.0	33 29.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	5 4.5	0 0.0	1 0.9	73 65.2	1 0.9
30～39歳	158 100.0	82 51.9	0 0.0	0 0.0	42 26.6	7 4.4	5 3.2	8 5.1	2 1.3	4 2.5	57 36.1	1 0.6
40～49歳	241 100.0	147 61.0	0 0.0	0 0.0	70 29.0	5 2.1	5 2.1	12 5.0	4 1.7	11 4.6	66 27.4	2 0.8
50～59歳	222 100.0	157 70.7	1 0.5	2 0.9	7 3.2	6 2.7	7 3.2	13 5.9	3 1.4	11 5.0	53 23.9	1 0.5
60～69歳	312 100.0	248 79.5	9 2.9	5 1.6	2 0.6	18 5.8	11 3.5	65 20.8	8 2.6	14 4.5	52 16.7	0 0.0
70歳以上	367 100.0	283 77.1	63 17.2	9 2.5	2 0.5	30 8.2	6 1.6	77 21.0	14 3.8	10 2.7	47 12.8	11 3.0
【居住年数】												
10年未満	21 100.0	15 71.4	0 0.0	0 0.0	4 19.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	1 4.8	2 9.5	5 23.8	0 0.0
10～19年	222 100.0	115 51.8	0 0.0	0 0.0	62 27.9	7 3.2	2 0.9	14 6.3	1 0.5	5 2.3	85 38.3	3 1.4
20年以上	1178 100.0	825 70.0	73 6.2	17 1.4	58 4.9	59 5.0	32 2.7	164 13.9	29 2.5	44 3.7	261 22.2	15 1.3
【居住する地区】												
山地部	14 100.0	12 85.7	6 42.9	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1
丘陵部	164 100.0	117 71.3	12 7.3	1 0.6	15 9.1	5 3.0	5 3.0	27 16.5	4 2.4	4 2.4	39 23.8	0 0.0
周辺部1	258 100.0	191 74.0	8 3.1	2 0.8	18 7.0	11 4.3	4 1.6	34 13.2	12 4.7	10 3.9	49 19.0	3 1.2
中心部	665 100.0	435 65.4	30 4.5	10 1.5	71 10.7	37 5.6	20 3.0	81 12.2	9 1.4	25 3.8	170 25.6	11 1.7
周辺部2	313 100.0	196 62.6	17 5.4	4 1.3	19 6.1	12 3.8	6 1.9	36 11.5	6 1.9	13 4.2	89 28.4	3 1.0
わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

性別にみると、「趣味のサークル」が男性で8.4%に対し、女性では15.9%、「PTA」が男性で5.2%に対し、女性では11.4%と、それぞれ女性のほうが高くなっている。

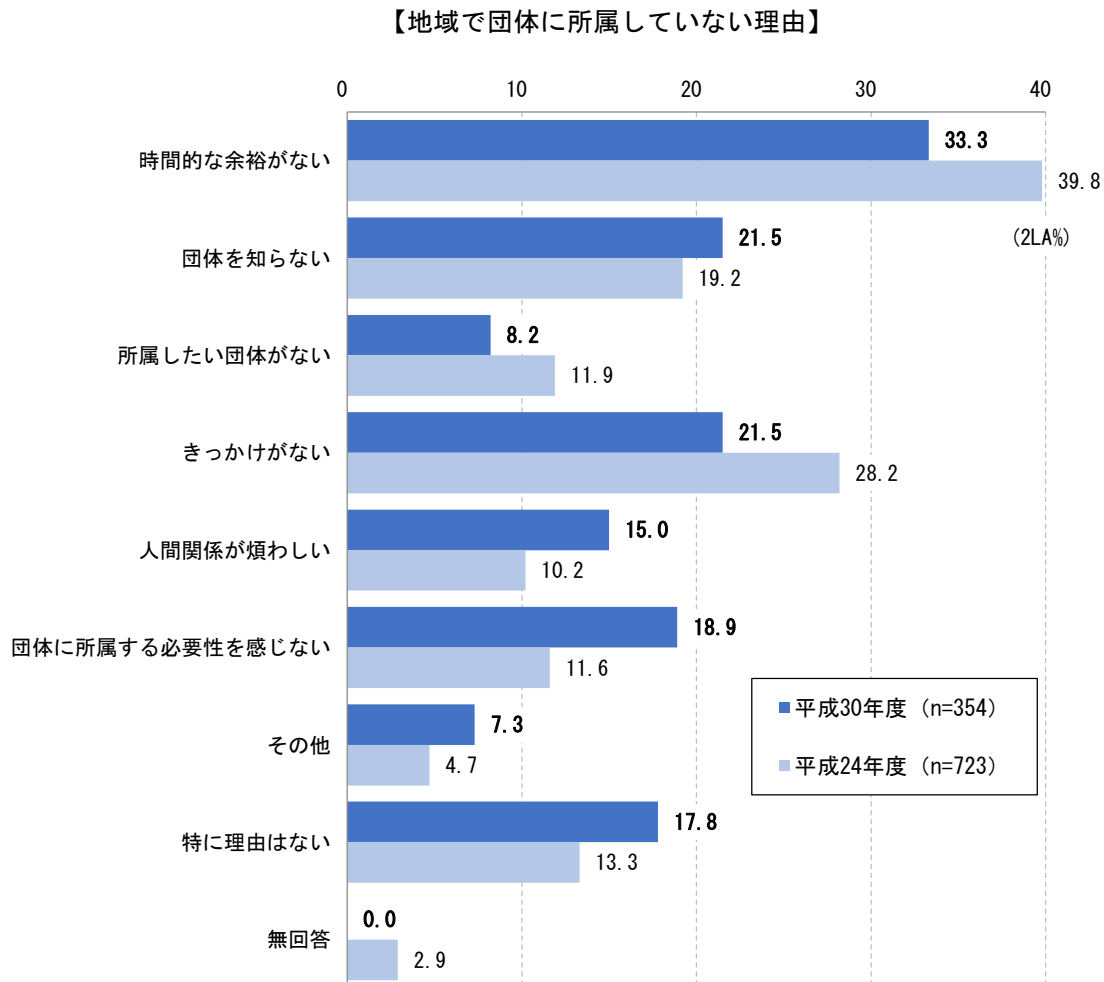
年齢別にみると、60歳以上で「自治会（町内会）」が7割台、「趣味のサークル」が2割台、30～40歳代で「PTA」が2割台と高くなっている。

居住する地区別にみると、いずれの地区も「自治会（町内会）」が6割以上と最も高くなっており、特に周辺部1で74.0%と高い。

(4) 地域で団体に所属していない理由

(問18で「12.何もしていない」とお答えになった方にお聞きします。)

問19 その理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。



地域で団体に所属していないと回答した人の理由としては、「時間的な余裕がない」が33.3%と最も高く、次いで「団体を知らない」、「きっかけがない」がともに21.5%、「団体に所属する必要性を感じない」が18.9%となっている。

前回調査と比較すると、上位項目の「時間的な余裕がない」、「きっかけがない」の割合は7ポイント程度減っているのに対し、「団体に所属する必要性を感じない」、「人間関係が煩わしい」は5～7ポイント程度増えている。

【属性等別 地域で団体に所属していない理由】

(上段：人、下段：%)

	調査数	時間的な余裕がない	団体を知らない	所属したい団体がない	きっかけがない	人間関係が煩わしい	団体に所属する必要性を感じない	その他	特に理由はない
市全体	354	118	76	29	76	53	67	26	63
	100.0	33.3	21.5	8.2	21.5	15.0	18.9	7.3	17.8
【性別】									
男性	158	55	30	14	25	20	31	11	30
	100.0	34.8	19.0	8.9	15.8	12.7	19.6	7.0	19.0
女性	189	59	43	15	49	33	36	14	33
	100.0	31.2	22.8	7.9	25.9	17.5	19.0	7.4	17.5
【年齢】									
18～29歳	73	25	24	10	15	12	19	2	10
	100.0	34.2	32.9	13.7	20.5	16.4	26.0	2.7	13.7
30～39歳	57	27	15	5	13	10	11	3	5
	100.0	47.4	26.3	8.8	22.8	17.5	19.3	5.3	8.8
40～49歳	66	29	15	4	19	9	14	2	6
	100.0	43.9	22.7	6.1	28.8	13.6	21.2	3.0	9.1
50～59歳	53	18	9	3	4	6	11	3	14
	100.0	34.0	17.0	5.7	7.5	11.3	20.8	5.7	26.4
60～69歳	52	14	9	4	15	8	7	4	12
	100.0	26.9	17.3	7.7	28.8	15.4	13.5	7.7	23.1
70歳以上	47	2	2	3	8	8	5	12	15
	100.0	4.3	4.3	6.4	17.0	17.0	10.6	25.5	31.9
【居住年数】									
10年未満	5	4	1	0	1	1	0	0	0
	100.0	80.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
10～19年	85	31	24	8	24	14	23	4	6
	100.0	36.5	28.2	9.4	28.2	16.5	27.1	4.7	7.1
20年以上	261	81	50	21	50	38	44	22	57
	100.0	31.0	19.2	8.0	19.2	14.6	16.9	8.4	21.8
【居住する地区】									
山地部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
丘陵部	39	13	8	4	4	8	11	7	6
	100.0	33.3	20.5	10.3	10.3	20.5	28.2	17.9	15.4
周辺部1	49	10	10	7	11	7	10	7	9
	100.0	20.4	20.4	14.3	22.4	14.3	20.4	14.3	18.4
中心部	170	61	37	11	43	26	30	8	26
	100.0	35.9	21.8	6.5	25.3	15.3	17.6	4.7	15.3
周辺部2	89	31	19	7	15	12	16	4	21
	100.0	34.8	21.3	7.9	16.9	13.5	18.0	4.5	23.6
わからない	2	1	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

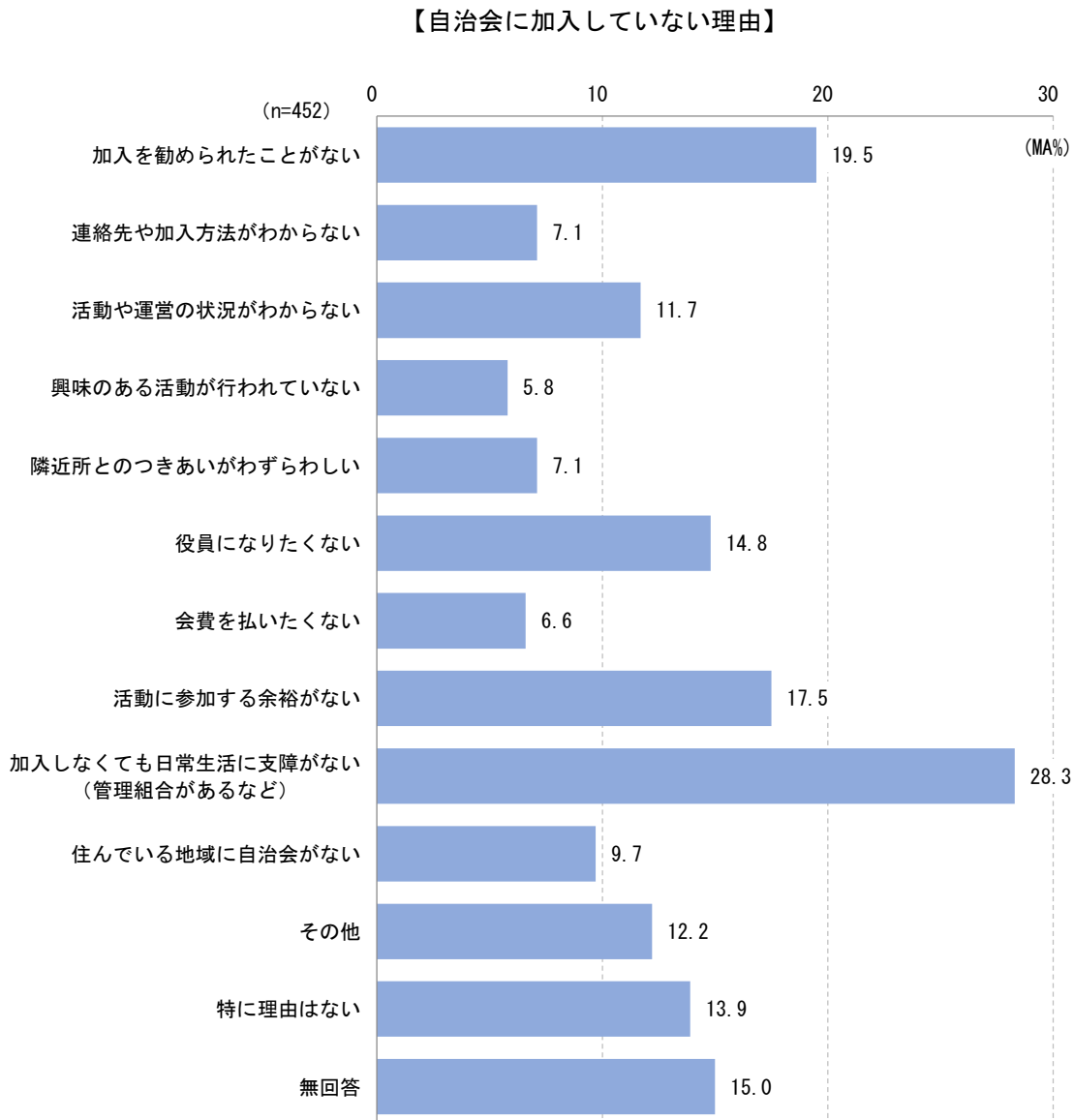
年齢別にみると、「時間的な余裕がない」が30～40歳代で4割台、「団体を知らない」が10・20歳代で3割台と高くなっている。

居住する地区別にみると、周辺部1では「きっかけがない」が2割台、そのほかの地区では「時間的な余裕がない」が3割台と、それぞれ最も高くなっている。

(5) 自治会に加入していない理由

(問 18 で「1. 自治会 (町内会)」に○をつけていない方にお聞きします。)

問 20 自治会に加入していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



自治会に加入していないと回答した人の理由としては、「加入しなくても日常生活に支障がない (管理組合があるなど)」が 28.3%と最も高く、次いで「加入を勧められたことがない」が 19.5%、「活動に参加する余裕がない」が 17.5%、「役員になりたくない」が 14.8%となっている。

【属性等別 自治会に加入していない理由】

(上段：人、下段：%)

	調査数	加入を勧められたことがない	連絡先や加入方法がわからない	活動や運営の状況がわからない	興味のある活動が行われていない	隣近所とのつきあいがわずらわしい	役員になりたくない	会費を払いたくない	活動に参加する余裕がない	加入しなくても日常生活に支障がない(管理組合があるなど)	住んでいない地域に自治会がない	その他	特に理由はない	無回答	
市全体	452 100.0	88 19.5	32 7.1	53 11.7	26 5.8	32 7.1	67 14.8	30 6.6	79 17.5	128 28.3	44 9.7	55 12.2	63 13.9	68 15.0	
【性別】	男性	200 100.0	36 18.0	14 7.0	23 11.5	8 4.0	8 4.0	29 14.5	17 8.5	36 18.0	49 24.5	13 6.5	23 11.5	31 15.5	34 17.0
	女性	245 100.0	51 20.8	17 6.9	27 11.0	17 6.9	24 9.8	38 15.5	13 5.3	43 17.6	78 31.8	31 12.7	31 12.7	32 13.1	32 13.1
【年齢】	18～29歳	78 100.0	18 23.1	5 6.4	7 9.0	8 10.3	3 3.8	8 10.3	6 7.7	14 17.9	16 20.5	3 3.8	11 14.1	23 29.5	8 10.3
	30～39歳	75 100.0	21 28.0	13 17.3	14 18.7	3 4.0	6 8.0	15 20.0	6 8.0	15 20.0	26 34.7	9 12.0	5 6.7	11 14.7	9 12.0
	40～49歳	92 100.0	22 23.9	6 6.5	13 14.1	3 3.3	9 9.8	18 19.6	8 8.7	23 25.0	30 32.6	8 8.7	9 9.8	5 5.4	12 13.0
	50～59歳	64 100.0	16 25.0	4 6.3	6 9.4	3 4.7	5 7.8	8 12.5	4 6.3	13 20.3	22 34.4	8 12.5	9 14.1	5 7.8	10 15.6
	60～69歳	64 100.0	4 6.3	3 4.7	6 9.4	4 6.3	4 6.3	9 14.1	5 7.8	10 15.6	19 29.7	8 12.5	7 10.9	8 12.5	13 20.3
	70歳以上	73 100.0	6 8.2	0 0.0	4 5.5	4 5.5	5 6.8	9 12.3	1 1.4	3 4.1	15 20.5	8 11.0	13 17.8	11 15.1	15 20.5
	10年未満	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10～19年	104 100.0	31 29.8	12 11.5	15 14.4	9 8.7	5 4.8	17 16.3	8 7.7	17 16.3	34 32.7	9 8.7	5 4.8	21 20.2	10 9.6	
20年以上	338 100.0	55 16.3	20 5.9	37 10.9	17 5.0	25 7.4	48 14.2	21 6.2	59 17.5	90 26.6	35 10.4	49 14.5	42 12.4	57 16.9	
【居住する地区】	山地部	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	
	丘陵部	47 100.0	4 8.5	0 0.0	5 10.6	2 4.3	3 6.4	11 23.4	5 10.6	10 21.3	12 25.5	5 10.6	6 12.8	8 17.0	6 12.8
	周辺部1	64 100.0	10 15.6	5 7.8	9 14.1	4 6.3	6 9.4	13 20.3	4 6.3	10 15.6	22 34.4	4 6.3	9 14.1	9 14.1	7 10.9
	中心部	219 100.0	49 22.4	17 7.8	24 11.0	14 6.4	13 5.9	25 11.4	14 6.4	42 19.2	65 29.7	25 11.4	25 11.4	25 11.4	35 16.0
	周辺部2	114 100.0	25 21.9	9 7.9	13 11.4	6 5.3	9 7.9	16 14.0	6 5.3	16 14.0	28 24.6	10 8.8	14 12.3	20 17.5	18 15.8
	わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

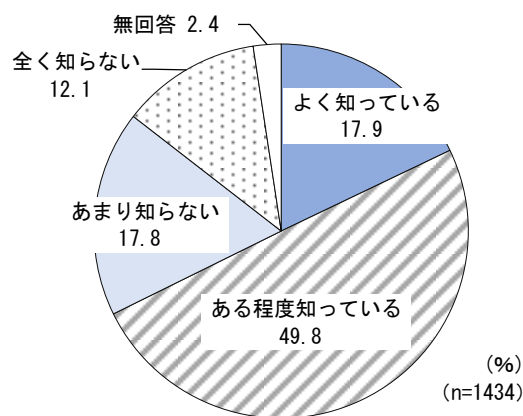
年齢別にみると、30歳以上ではいずれも「加入しなくても日常生活に支障がない(管理組合があるなど)」が最も高く、特に30～50歳代で3割台と高くなっている。

居住する地区別にみると、概ねいずれの地区も「加入しなくても日常生活に支障がない(管理組合があるなど)」が最も高く、特に周辺部1で3割台と高くなっている。

(6) 自治会活動の認知度

問 21 あなたの住んでいる地域の自治会がどのような活動を行っているか知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

【自治会活動の認知度】



居住地域の自治会の活動内容について、「ある程度知っている」が 49.8%と最も高く、次いで「よく知っている」が 17.9%となっており、合わせると、「知っている」という割合が 67.7%を占める。

【属性等別 自治会活動の認知度】

(上段：人、下段：%)

		調査数	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
市全体		1434 100.0	256 17.9	714 49.8	255 17.8	174 12.1	35 2.4
【性別】	男性	597 100.0	128 21.4	274 45.9	105 17.6	78 13.1	12 2.0
	女性	816 100.0	122 15.0	432 52.9	147 18.0	94 11.5	21 2.6
【年齢】	18～29歳	112 100.0	3 2.7	30 26.8	42 37.5	35 31.3	2 1.8
	30～39歳	158 100.0	14 8.9	63 39.9	36 22.8	42 26.6	3 1.9
	40～49歳	241 100.0	27 11.2	117 48.5	50 20.7	44 18.3	3 1.2
	50～59歳	222 100.0	36 16.2	126 56.8	40 18.0	18 8.1	2 0.9
	60～69歳	312 100.0	63 20.2	182 58.3	46 14.7	16 5.1	5 1.6
	70歳以上	367 100.0	108 29.4	189 51.5	38 10.4	15 4.1	17 4.6
	【居住年数】	10年未満	21 100.0	6 28.6	6 28.6	6 28.6	2 9.5
10～19年		222 100.0	20 9.0	95 42.8	49 22.1	53 23.9	5 2.3
20年以上		1178 100.0	226 19.2	609 51.7	197 16.7	118 10.0	28 2.4
【居住する地区】	山地部	14 100.0	4 28.6	9 64.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1
	丘陵部	164 100.0	38 23.2	88 53.7	22 13.4	13 7.9	3 1.8
	周辺部1	258 100.0	57 22.1	140 54.3	39 15.1	19 7.4	3 1.2
	中心部	665 100.0	95 14.3	319 48.0	136 20.5	96 14.4	19 2.9
	周辺部2	313 100.0	56 17.9	151 48.2	57 18.2	42 13.4	7 2.2
	わからない	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

年齢別にみると、“知っている”という割合が、50歳以上で7割以上を占めるのに対し、10・20歳代では約3割にとどまっている。

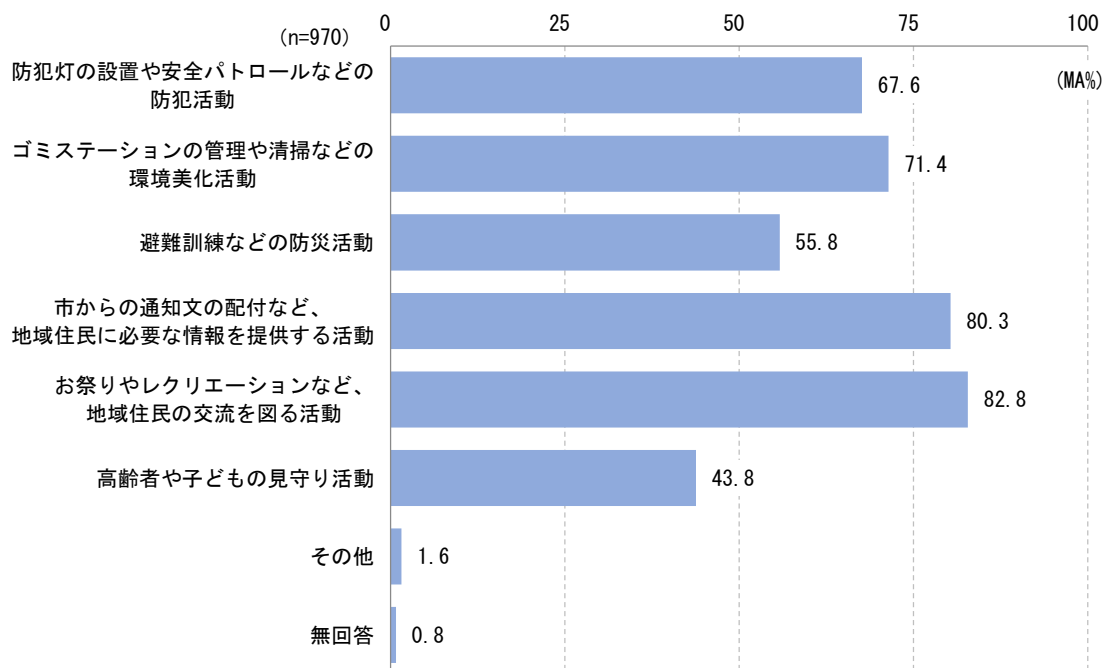
居住する地区別にみると、“知っている”という割合が、いずれの地区も6割以上を占めており、丘陵部、周辺部1では7割台と高くなっている。

(7) 自治会等の活動内容

(問21で「1. よく知っている」または「2. ある程度知っている」とお答えになった方にお聞きします。)

問22 あなたが知っている地域の自治会等の活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【自治会等の活動内容】



地域の自治会等の活動として知っているものとしては、「お祭りやレクリエーションなど、地域住民の交流を図る活動」が 82.8%、「市からの通知文の配付など、地域住民に必要な情報を提供する活動」が 80.3%と高くなっており、「ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動」が 71.4%、「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」が 67.6%と続いている。

【属性等別 自治会等の活動内容】

(上段：人、下段：%)

	調査数	防犯活動 トロッポ ルの設置 のや防犯 活	消防活動 や清掃な どのや環 境の美	ゴミステ ーシヨ ンの管	避難訓練 などの防 災活	市からの通 知文の配 付	お祭りやレ クリエーシ ョンなど、 地域の活 動	高齢者や子 どもの見 守	その他	無回答
市全体	970 100.0	656 67.6	693 71.4	541 55.8	779 80.3	803 82.8	425 43.8	16 1.6	8 0.8	
【性別】										
男性	402 100.0	263 65.4	296 73.6	197 49.0	314 78.1	326 81.1	166 41.3	5 1.2	3 0.7	
女性	554 100.0	384 69.3	387 69.9	338 61.0	456 82.3	465 83.9	255 46.0	10 1.8	5 0.9	
【年齢】										
18～29歳	33 100.0	14 42.4	21 63.6	10 30.3	15 45.5	21 63.6	9 27.3	0 0.0	1 3.0	
30～39歳	77 100.0	50 64.9	54 70.1	47 61.0	54 70.1	65 84.4	38 49.4	0 0.0	0 0.0	
40～49歳	144 100.0	92 63.9	96 66.7	92 63.9	111 77.1	129 89.6	71 49.3	4 2.8	0 0.0	
50～59歳	162 100.0	112 69.1	107 66.0	79 48.8	134 82.7	140 86.4	72 44.4	5 3.1	0 0.0	
60～69歳	245 100.0	181 73.9	182 74.3	138 56.3	208 84.9	216 88.2	114 46.5	4 1.6	2 0.8	
70歳以上	297 100.0	199 67.0	225 75.8	171 57.6	248 83.5	222 74.7	117 39.4	2 0.7	5 1.7	
【居住年数】										
10年未満	12 100.0	9 75.0	10 83.3	10 83.3	11 91.7	12 100.0	7 58.3	0 0.0	0 0.0	
10～19年	115 100.0	71 61.7	73 63.5	76 66.1	77 67.0	98 85.2	59 51.3	0 0.0	1 0.9	
20年以上	835 100.0	571 68.4	604 72.3	450 53.9	685 82.0	686 82.2	355 42.5	15 1.8	7 0.8	
【居住する地区】										
山地部	13 100.0	10 76.9	9 69.2	6 46.2	12 92.3	9 69.2	6 46.2	0 0.0	0 0.0	
丘陵部	126 100.0	90 71.4	107 84.9	67 53.2	99 78.6	112 88.9	74 58.7	2 1.6	1 0.8	
周辺部1	197 100.0	148 75.1	132 67.0	114 57.9	162 82.2	153 77.7	95 48.2	0 0.0	2 1.0	
中心部	414 100.0	263 63.5	291 70.3	218 52.7	330 79.7	348 84.1	170 41.1	12 2.9	2 0.5	
周辺部2	207 100.0	136 65.7	144 69.6	128 61.8	166 80.2	172 83.1	73 35.3	1 0.5	3 1.4	
わからない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	

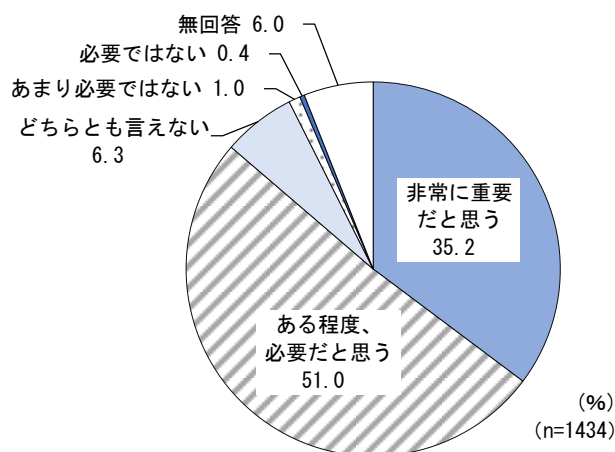
年齢別にみると、30～60歳代ではいずれも「お祭りやレクリエーションなど、地域住民の交流を図る活動」が8割台と最も高くなっている。

居住する地区別にみると、周辺部1、山地部では「市からの通知文の配付など、地域住民に必要な情報を提供する活動」、そのほかの地区では「お祭りやレクリエーションなど、地域住民の交流を図る活動」が、それぞれ最も高くなっている。

(8) 住民主体によるまちづくりの必要性

問 23 各地域では、防災・防犯活動や、高齢者や子どもの見守りなど、概ね小学校区を単位として、同じ地域に住む人たちが主体的に住みやすい地域社会をつくっていかこうとする活動が行われていますが、あなたは、このような住民主体によるまちづくりが必要だと思われませんか。あなたのお考えに近いものに1つだけ○をつけてください。

【住民主体によるまちづくりの必要性】



住民主体によるまちづくりについて、「ある程度、必要だと思ふ」が 51.0%と最も高く、次いで「非常に重要だと思ふ」が 35.2%となっており、合わせると、“必要”という割合が 86.2%を占める。

【属性等別 住民主体によるまちづくりの必要性】

(上段：人、下段：%)

	調査数	非常に重要だと思う	ある程度、必要だと思う	どちらとも言えない	あまり必要ではない	必要ではない	無回答
市全体	1434 100.0	505 35.2	732 51.0	91 6.3	14 1.0	6 0.4	86 6.0
【性別】							
男性	597 100.0	213 35.7	292 48.9	40 6.7	8 1.3	4 0.7	40 6.7
女性	816 100.0	285 34.9	430 52.7	50 6.1	6 0.7	1 0.1	44 5.4
【年齢】							
18～29歳	112 100.0	34 30.4	67 59.8	9 8.0	0 0.0	1 0.9	1 0.9
30～39歳	158 100.0	64 40.5	65 41.1	17 10.8	0 0.0	2 1.3	10 6.3
40～49歳	241 100.0	80 33.2	132 54.8	17 7.1	1 0.4	0 0.0	11 4.6
50～59歳	222 100.0	71 32.0	124 55.9	14 6.3	0 0.0	1 0.5	12 5.4
60～69歳	312 100.0	111 35.6	158 50.6	17 5.4	6 1.9	1 0.3	19 6.1
70歳以上	367 100.0	140 38.1	174 47.4	17 4.6	6 1.6	0 0.0	30 8.2
【居住年数】							
10年未満	21 100.0	10 47.6	8 38.1	2 9.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8
10～19年	222 100.0	83 37.4	109 49.1	17 7.7	1 0.5	2 0.9	10 4.5
20年以上	1178 100.0	408 34.6	608 51.6	71 6.0	13 1.1	4 0.3	74 6.3
【居住する地区】							
山地部	14 100.0	6 42.9	6 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3
丘陵部	164 100.0	58 35.4	80 48.8	10 6.1	5 3.0	1 0.6	10 6.1
周辺部1	258 100.0	87 33.7	142 55.0	12 4.7	0 0.0	2 0.8	15 5.8
中心部	665 100.0	231 34.7	341 51.3	47 7.1	6 0.9	3 0.5	37 5.6
周辺部2	313 100.0	118 37.7	152 48.6	20 6.4	3 1.0	0 0.0	20 6.4
わからない	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

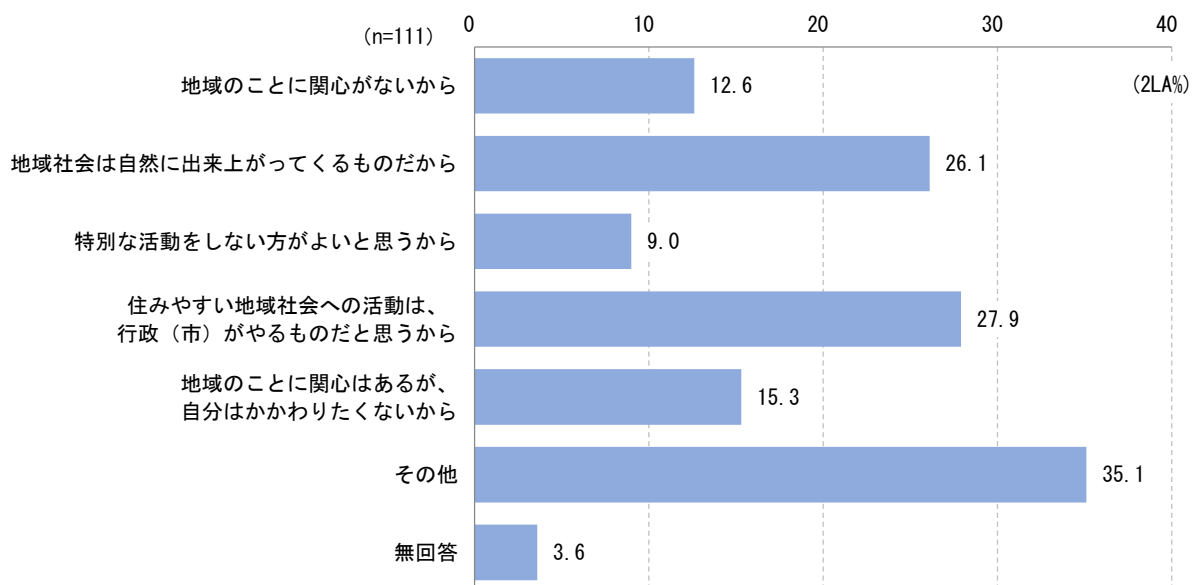
年齢別にみると、いずれの年齢層も“必要“という割合が8割以上を占めており、特に10・20歳代で90.2%と最も高くなっている。

居住する地区別にみると、いずれの地区も“必要“という割合が8割台を占めており、特に周辺部1で88.7%と最も高くなっている。

(9) 住民主体によるまちづくりが必要とは思わない理由

(問23で「3. どちらとも言えない」、「4. あまり必要ではない」、「5. 必要ではない」とお答えになった方にお聞きます。)
 問24 選んだ理由について、あなたのお考えに近いものに2つまで○をつけてください。

【住民主体によるまちづくりが必要とは思わない理由】



住民主体によるまちづくりが必要と回答しなかった人の理由としては、「住みやすい地域社会への活動は、行政（市）がやるものだと思うから」が27.9%、「地域社会は自然に出来上がってくるものだから」が26.1%と高くなっている。また、「その他」の具体的内容としては、「活動に参加する余裕がないから」、「活動に参加できる人が限られてくるから（参加する人・しない人が分かれてしまうから）」、「地域の高齢化が進んでいるから」といった意見が比較的多くみられた。

【属性等別 住民主体によるまちづくりが必要とは思わない理由】

(上段：人、下段：%)

	調査数	地域社会のことに 関心がない	地域社会は自然に 出来上がる	特別な活動をし ない方が	活動は、行政（市） がやるものだと思うから	住みやすい地域社会 への活動は、行政（市） がやるものだと思うから	地域社会のことに 関心はあ	その他	無回答
市全体	111 100.0	14 12.6	29 26.1	10 9.0	31 27.9	17 15.3	39 35.1	4 3.6	
【性別】	男性	52 100.0	8 15.4	16 30.8	6 11.5	12 23.1	5 9.6	17 32.7	3 5.8
	女性	57 100.0	5 8.8	13 22.8	3 5.3	18 31.6	12 21.1	22 38.6	1 1.8
【年齢】	18～29歳	10 100.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0
	30～39歳	19 100.0	2 10.5	7 36.8	2 10.5	8 42.1	4 21.1	7 36.8	0 0.0
	40～49歳	18 100.0	3 16.7	3 16.7	1 5.6	3 16.7	3 16.7	8 44.4	0 0.0
	50～59歳	15 100.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	4 26.7	0 0.0	6 40.0	1 6.7
	60～69歳	24 100.0	3 12.5	8 33.3	1 4.2	6 25.0	4 16.7	8 33.3	0 0.0
	70歳以上	23 100.0	2 8.7	6 26.1	1 4.3	7 30.4	5 21.7	7 30.4	2 8.7
【居住年数】	10年未満	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	10～19年	20 100.0	5 25.0	2 10.0	3 15.0	6 30.0	2 10.0	7 35.0	1 5.0
	20年以上	88 100.0	9 10.2	27 30.7	7 8.0	22 25.0	13 14.8	32 36.4	3 3.4
【居住する地区】	山地部	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	丘陵部	16 100.0	2 12.5	4 25.0	1 6.3	3 18.8	1 6.3	10 62.5	0 0.0
	周辺部1	14 100.0	3 21.4	3 21.4	3 21.4	2 14.3	2 14.3	6 42.9	0 0.0
	中心部	56 100.0	5 8.9	17 30.4	6 10.7	19 33.9	7 12.5	16 28.6	3 5.4
	周辺部2	23 100.0	3 13.0	5 21.7	0 0.0	6 26.1	6 26.1	7 30.4	1 4.3
	わからない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

性別にみると、男性では「地域社会は自然に出来上がってくるものだから」、女性では「住みやすい地域社会への活動は、行政（市）がやるものだと思うから」が最も高くなっている。

居住年数別にみると、20年以上では「地域社会は自然に出来上がってくるものだから」が最も高くなっている。

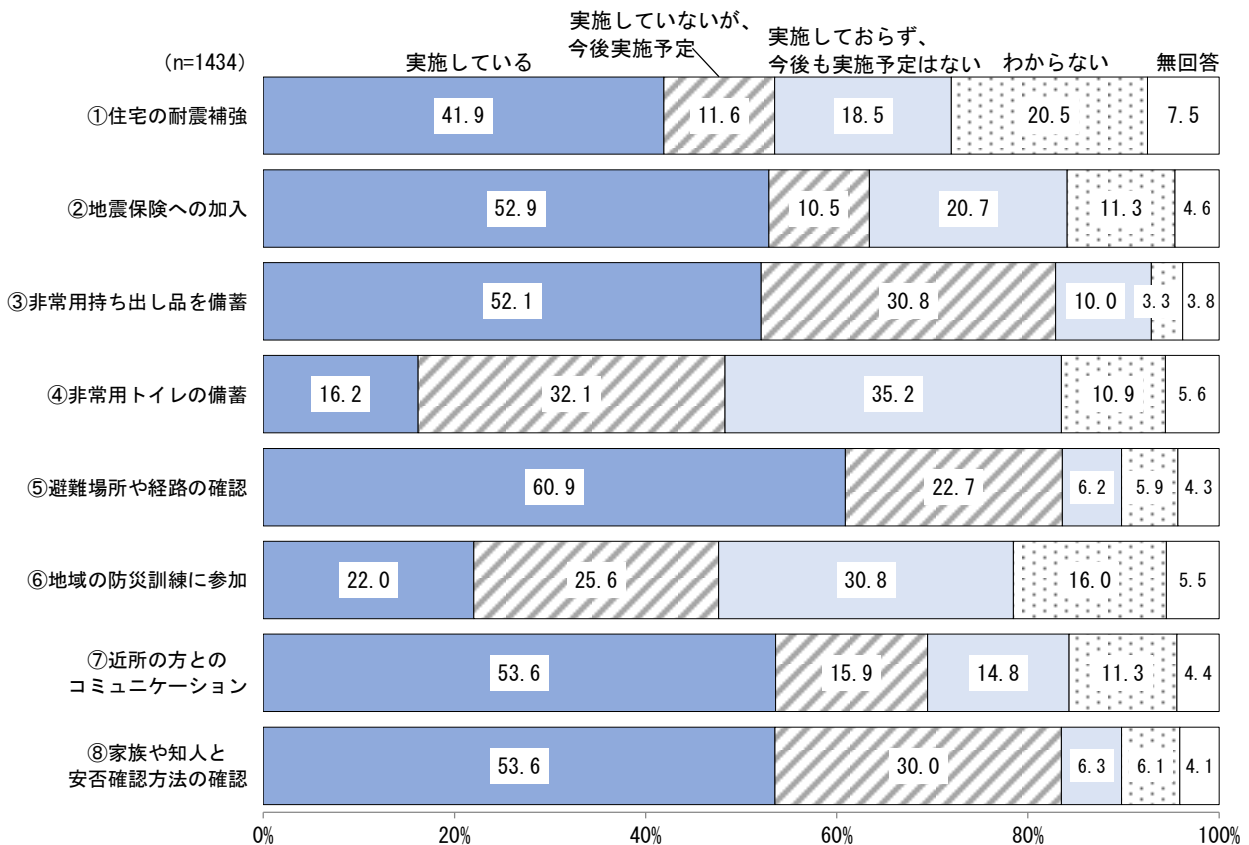
居住する地区別にみると、中心部では「住みやすい地域社会への活動は、行政（市）がやるものだと思うから」が最も高くなっている。

7 防災への取り組みについて

(1) 防災への取り組み状況

問 25 あなたのご家庭では地震や台風などの災害に対して、どのような防災の取り組みをしていますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【防災への取り組み状況】



家庭での防災への取り組みとして、「実施している」が『⑤避難場所や経路の確認』で6割台（60.9%）と最も高く、『⑦近所の方とのコミュニケーション』（53.6%）、『⑧家族や知人と安否確認方法の確認』（53.6%）、『②地震保険への加入』（52.9%）、『③非常用持ち出し品を備蓄』（52.1%）においても過半数を占めている。一方、『④非常用トイレの備蓄』（16.2%）、『⑥地域の防災訓練に参加』（22.0%）では1～2割台にとどまっており、「実施しておらず、今後も実施予定はない」がともに3割台と高い。

【属性等別 防災への取り組み状況（「実施している」と回答）】

（上段：人、下段：％）

		調査数	①住宅の耐震補強	②地震保険への加入	③非常用持ち出し品を備蓄	④非常用トイレの備蓄	⑤避難場所や経路の確認	⑥地域の防災訓練に参加	⑦近所の方とのコミュニケーション	⑧家族や知人と安否確認方法の確認
市全体		1434 100.0	601 41.9	758 52.9	747 52.1	232 16.2	874 60.9	316 22.0	769 53.6	768 53.6
【性別】	男性	597 100.0	250 41.9	307 51.4	290 48.6	74 12.4	349 58.5	131 21.9	269 45.1	294 49.2
	女性	816 100.0	344 42.2	441 54.0	442 54.2	153 18.8	513 62.9	181 22.2	487 59.7	460 56.4
【年齢】	18～29歳	112 100.0	54 48.2	51 45.5	63 56.3	23 20.5	72 64.3	11 9.8	60 53.6	73 65.2
	30～39歳	158 100.0	71 44.9	79 50.0	88 55.7	27 17.1	98 62.0	24 15.2	77 48.7	74 46.8
	40～49歳	241 100.0	116 48.1	124 51.5	134 55.6	48 19.9	158 65.6	54 22.4	129 53.5	152 63.1
	50～59歳	222 100.0	110 49.5	118 53.2	114 51.4	37 16.7	145 65.3	43 19.4	114 51.4	125 56.3
	60～69歳	312 100.0	116 37.2	181 58.0	160 51.3	39 12.5	187 59.9	74 23.7	174 55.8	160 51.3
	70歳以上	367 100.0	126 34.3	195 53.1	173 47.1	54 14.7	204 55.6	106 28.9	202 55.0	170 46.3
	【居住年数】	10年未満	21 100.0	11 52.4	10 47.6	11 52.4	1 4.8	13 61.9	4 19.0	15 71.4
	10～19年	222 100.0	128 57.7	109 49.1	132 59.5	58 26.1	152 68.5	44 19.8	106 47.7	130 58.6
	20年以上	1178 100.0	456 38.7	633 53.7	596 50.6	172 14.6	702 59.6	263 22.3	639 54.2	622 52.8
【居住する地区】	山地部	14 100.0	2 14.3	12 85.7	3 21.4	0 0.0	8 57.1	2 14.3	8 57.1	4 28.6
	丘陵部	164 100.0	75 45.7	85 51.8	89 54.3	26 15.9	97 59.1	34 20.7	94 57.3	81 49.4
	周辺部1	258 100.0	92 35.7	135 52.3	131 50.8	30 11.6	165 64.0	67 26.0	150 58.1	143 55.4
	中心部	665 100.0	290 43.6	345 51.9	350 52.6	122 18.3	405 60.9	129 19.4	333 50.1	350 52.6
	周辺部2	313 100.0	134 42.8	174 55.6	162 51.8	53 16.9	187 59.7	78 24.9	171 54.6	179 57.2
	わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0

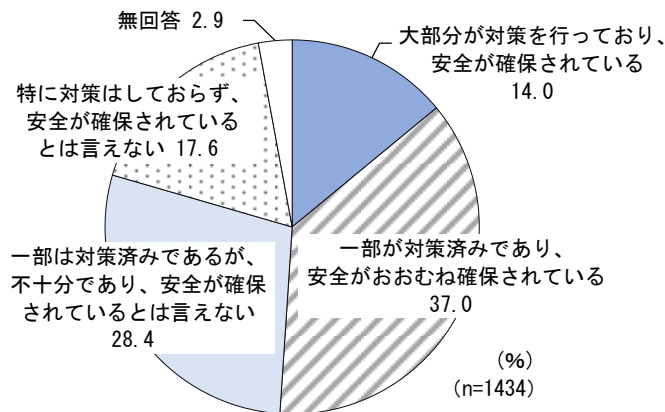
“実施している”という割合について、年齢別でみると、30歳以上ではいずれも『⑤避難場所や経路の確認』、10・20歳代では『⑧家族や知人と安否確認方法の確認』が、それぞれ5～6割台と最も高くなっている。

居住する地区別でみると、概ねいずれの地区も『⑤避難場所や経路の確認』が5～6割台と最も高くなっており、特に周辺部1で64.0%と高い。

(2) 家具の転倒防止等の対策状況

問 26 あなたのご家庭では、家具等の転倒・落下・移動について、どの程度対策をしていますか。
あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

【家具の転倒防止等の対策状況】



家具等の転倒・落下・移動についての対策としては、「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」が 37.0%と最も高く、「大部分が対策を行っており、安全が確保されている」(14.0%)を合わせると、「安全が確保されている」という割合は 51.0%となっている。一方、「一部は対策済みであるが、不十分であり、安全が確保されているとは言えない」は 28.4%、「特に対策はしておらず、安全が確保されているとは言えない」は 17.6%となっており、「安全が確保されているとは言えない」という割合は 46.0%となっている。

【属性等別 家具の転倒防止等の対策状況】

(上段：人、下段：%)

		調査数	るり大部分が対策をされている	て安全が確保されている	一部が対策済みであり、安全が確保されている	十分であり、安全が確保されていない	安全が確保されていない	特に対策はしておらず、安全が確保されている	無回答
市全体		1434 100.0	201 14.0	531 37.0	407 28.4	253 17.6	42 2.9		
【性別】	男性	597 100.0	94 15.7	217 36.3	159 26.6	117 19.6	10 1.7		
	女性	816 100.0	105 12.9	309 37.9	238 29.2	133 16.3	31 3.8		
【年齢】	18～29歳	112 100.0	24 21.4	42 37.5	27 24.1	16 14.3	3 2.7		
	30～39歳	158 100.0	25 15.8	67 42.4	45 28.5	18 11.4	3 1.9		
	40～49歳	241 100.0	41 17.0	108 44.8	63 26.1	28 11.6	1 0.4		
	50～59歳	222 100.0	31 14.0	87 39.2	58 26.1	44 19.8	2 0.9		
	60～69歳	312 100.0	37 11.9	112 35.9	97 31.1	58 18.6	8 2.6		
	70歳以上	367 100.0	41 11.2	112 30.5	106 28.9	85 23.2	23 6.3		
【居住年数】	10年未満	21 100.0	3 14.3	6 28.6	10 47.6	2 9.5	0 0.0		
	10～19年	222 100.0	42 18.9	102 45.9	55 24.8	21 9.5	2 0.9		
	20年以上	1178 100.0	154 13.1	421 35.7	336 28.5	228 19.4	39 3.3		
【居住する地区】	山地部	14 100.0	0 0.0	1 7.1	5 35.7	7 50.0	1 7.1		
	丘陵部	164 100.0	29 17.7	61 37.2	43 26.2	30 18.3	1 0.6		
	周辺部1	258 100.0	34 13.2	91 35.3	79 30.6	47 18.2	7 2.7		
	中心部	665 100.0	91 13.7	246 37.0	192 28.9	115 17.3	21 3.2		
	周辺部2	313 100.0	42 13.4	128 40.9	81 25.9	52 16.6	10 3.2		
	わからない	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0		

年齢別で見ると、“安全が確保されている”という割合は40歳代で6割台、“安全が確保されているとは言えない”という割合は70歳以上で5割台と、それぞれ最も高くなっている。

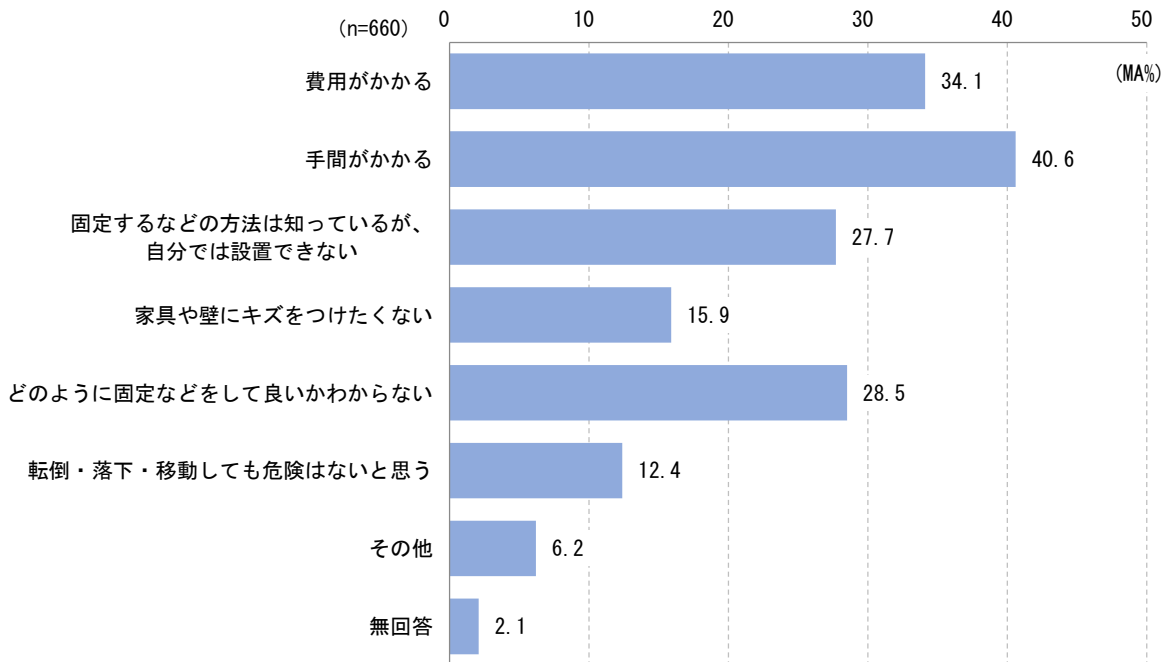
居住する地区別で見ると、“安全が確保されている”という割合が、丘陵部、周辺部2でともに5割台と高くなっている。

(3) 家具の転倒防止対策等が不十分な理由

(問26で「3. 一部は対策済みであるが、不十分であり、安全が確保されているとは言えない」、「4. 特に対策はしておらず、安全が確保されているとは言えない」とお答えになった方にお聞きします。)

問27 対策が不十分であり、安全が確保されていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【家具の転倒防止対策等が不十分な理由】



家具の転倒防止対策等が不十分で安全が確保されていないと回答した人の理由としては、「手間がかかる」が40.6%と最も高く、次いで「費用がかかる」が34.1%、「どのように固定などをして良いかわからない」が28.5%となっている。

【属性等別 家具の転倒防止対策等が不十分な理由】

(上段：人、下段：%)

	調査数	費用がかかる	手間がかかる	は知固定は設置できない	た家具や壁にキズをつけ	しどのようにか固定できない	も転倒・落下・移動して	その他	無回答
市全体	660 100.0	225 34.1	268 40.6	183 27.7	105 15.9	188 28.5	82 12.4	41 6.2	14 2.1
【性別】									
男性	276 100.0	107 38.8	122 44.2	51 18.5	51 18.5	66 23.9	43 15.6	21 7.6	5 1.8
女性	371 100.0	114 30.7	137 36.9	127 34.2	53 14.3	120 32.3	38 10.2	20 5.4	9 2.4
【年齢】									
18～29歳	43 100.0	19 44.2	24 55.8	8 18.6	6 14.0	15 34.9	4 9.3	1 2.3	1 2.3
30～39歳	63 100.0	29 46.0	30 47.6	8 12.7	9 14.3	22 34.9	7 11.1	5 7.9	0 0.0
40～49歳	91 100.0	26 28.6	37 40.7	12 13.2	26 28.6	24 26.4	12 13.2	6 6.6	0 0.0
50～59歳	102 100.0	37 36.3	53 52.0	18 17.6	16 15.7	24 23.5	14 13.7	9 8.8	1 1.0
60～69歳	155 100.0	52 33.5	70 45.2	41 26.5	25 16.1	45 29.0	20 12.9	13 8.4	5 3.2
70歳以上	191 100.0	57 29.8	44 23.0	91 47.6	20 10.5	56 29.3	24 12.6	7 3.7	7 3.7
【居住年数】									
10年未満	12 100.0	7 58.3	7 58.3	3 25.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3
10～19年	76 100.0	27 35.5	37 48.7	7 9.2	15 19.7	25 32.9	15 19.7	6 7.9	0 0.0
20年以上	564 100.0	188 33.3	219 38.8	169 30.0	87 15.4	156 27.7	65 11.5	35 6.2	13 2.3
【居住する地区】									
山地部	12 100.0	4 33.3	3 25.0	5 41.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3
丘陵部	73 100.0	31 42.5	29 39.7	20 27.4	10 13.7	21 28.8	11 15.1	6 8.2	0 0.0
周辺部1	126 100.0	43 34.1	55 43.7	29 23.0	19 15.1	31 24.6	11 8.7	11 8.7	2 1.6
中心部	307 100.0	104 33.9	126 41.0	81 26.4	52 16.9	93 30.3	43 14.0	14 4.6	9 2.9
周辺部2	133 100.0	40 30.1	49 36.8	45 33.8	22 16.5	36 27.1	14 10.5	10 7.5	2 1.5
わからない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

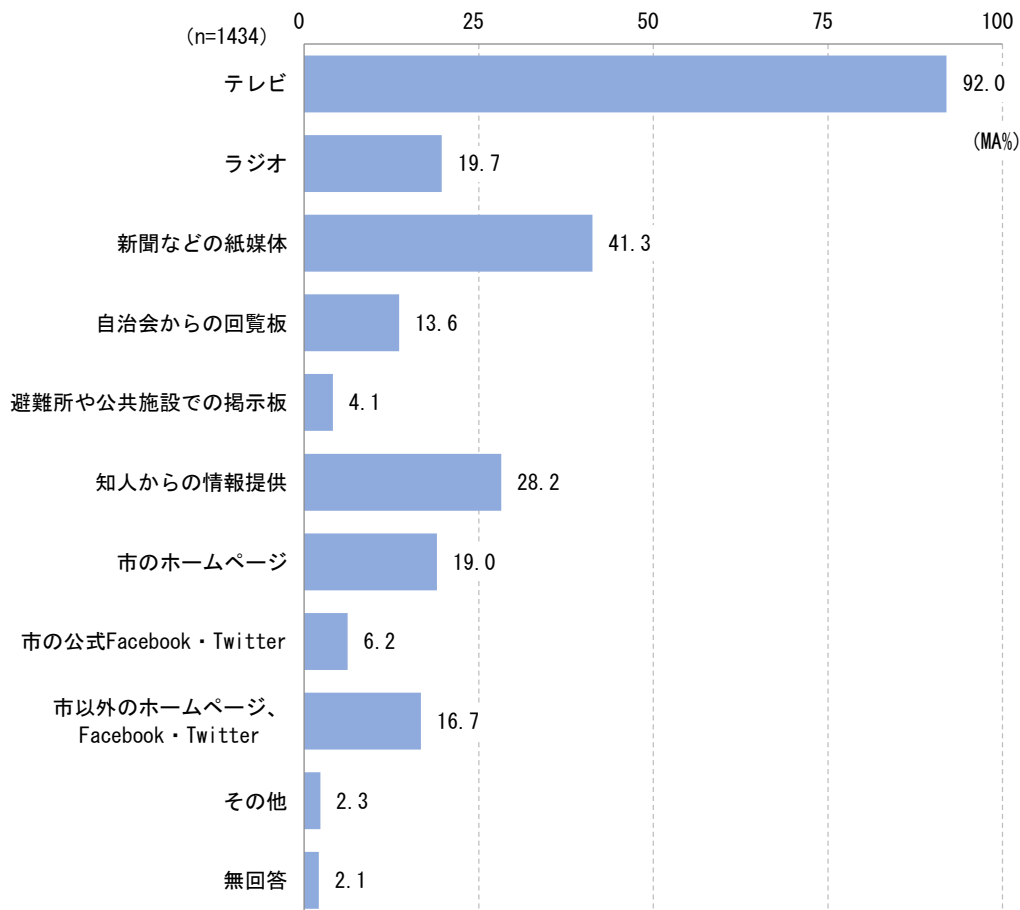
年齢別で見ると、70歳未満ではいずれも「手間がかかる」が4～5割台と最も高く、特に10・20代で55.8%と高くなっている。一方、70歳以上では「固定するなどの方法は知っているが、自分では設置できない」が4割台と最も高い。

居住する地区別で見ると、周辺部1、中心部、周辺部2では「手間がかかる」が3～4割台、丘陵部では「費用がかかる」が4割台と、それぞれ最も高くなっている。

(4) 災害に関する情報の入手手段

問 28 平成 30 年に発生した、大阪府北部を震源とする地震、7月豪雨、台風 21 号などの自然災害のとき、災害に関する情報はどのような手段で得られましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【災害に関する情報の入手手段】



災害に関する情報の入手手段としては、「テレビ」が 92.0%と最も高く、次いで「新聞などの紙媒体」が 41.3%、「知人からの情報提供」が 28.2%となっている。

【属性等別 災害に関する情報の入手手段】

(上段：人、下段：%)

	調査数	テレビ	ラジオ	新聞などの紙媒体	自治会からの回覧板	避難所や公共施設での掲示板	知人からの情報提供	市のホームページ	市の公式Facebook・Twitter	市以外のホームページ、Facebook・Twitter	その他	無回答
市全体	1434	1319	282	592	195	59	404	273	89	239	33	30
	100.0	92.0	19.7	41.3	13.6	4.1	28.2	19.0	6.2	16.7	2.3	2.1
【性別】	男性	597	549	139	269	70	24	118	35	105	14	13
		100.0	92.0	23.3	45.1	11.7	4.0	19.8	5.9	17.6	2.3	2.2
【性別】	女性	816	752	139	311	123	33	281	53	130	19	17
		100.0	92.2	17.0	38.1	15.1	4.0	34.4	6.5	15.9	2.3	2.1
【年齢】	18～29歳	112	102	14	22	3	3	39	13	55	2	3
		100.0	91.1	12.5	19.6	2.7	2.7	34.8	11.6	49.1	1.8	2.7
	30～39歳	158	132	18	27	9	5	57	23	44	2	4
		100.0	83.5	11.4	17.1	5.7	3.2	36.1	14.6	27.8	1.3	2.5
	40～49歳	241	214	36	56	19	7	87	21	55	4	4
		100.0	88.8	14.9	23.2	7.9	2.9	36.1	8.7	22.8	1.7	1.7
	50～59歳	222	199	35	91	29	9	63	15	35	9	1
	100.0	89.6	15.8	41.0	13.1	4.1	28.4	6.8	15.8	4.1	0.5	
【年齢】	60～69歳	312	300	74	153	54	16	84	6	33	9	5
		100.0	96.2	23.7	49.0	17.3	5.1	26.9	1.9	10.6	2.9	1.6
【年齢】	70歳以上	367	352	100	233	79	17	70	11	13	7	12
		100.0	95.9	27.2	63.5	21.5	4.6	19.1	3.0	3.5	1.9	3.3
【居住年数】	10年未満	21	19	5	3	3	1	5	2	5	0	1
		100.0	90.5	23.8	14.3	14.3	4.8	23.8	9.5	23.8	0.0	4.8
	10～19年	222	199	19	50	12	4	88	26	72	6	1
	100.0	89.6	8.6	22.5	5.4	1.8	39.6	11.7	32.4	2.7	0.5	
【居住年数】	20年以上	1178	1089	253	531	179	53	309	61	159	26	28
		100.0	92.4	21.5	45.1	15.2	4.5	26.2	5.2	13.5	2.2	2.4
【居住する地区】	山地部	14	12	3	7	4	1	0	2	2	1	2
		100.0	85.7	21.4	50.0	28.6	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1	14.3
	丘陵部	164	151	38	67	25	5	45	9	28	3	1
		100.0	92.1	23.2	40.9	15.2	3.0	27.4	5.5	17.1	1.8	0.6
	周辺部1	258	244	63	111	34	12	58	15	36	2	4
		100.0	94.6	24.4	43.0	13.2	4.7	22.5	5.8	14.0	0.8	1.6
	中心部	665	608	113	267	91	29	208	49	119	16	13
	100.0	91.4	17.0	40.2	13.7	4.4	31.3	7.4	17.9	2.4	2.0	
【居住する地区】	周辺部2	313	285	60	130	39	11	87	14	51	11	9
		100.0	91.1	19.2	41.5	12.5	3.5	27.8	4.5	16.3	3.5	2.9
【居住する地区】	わからない	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

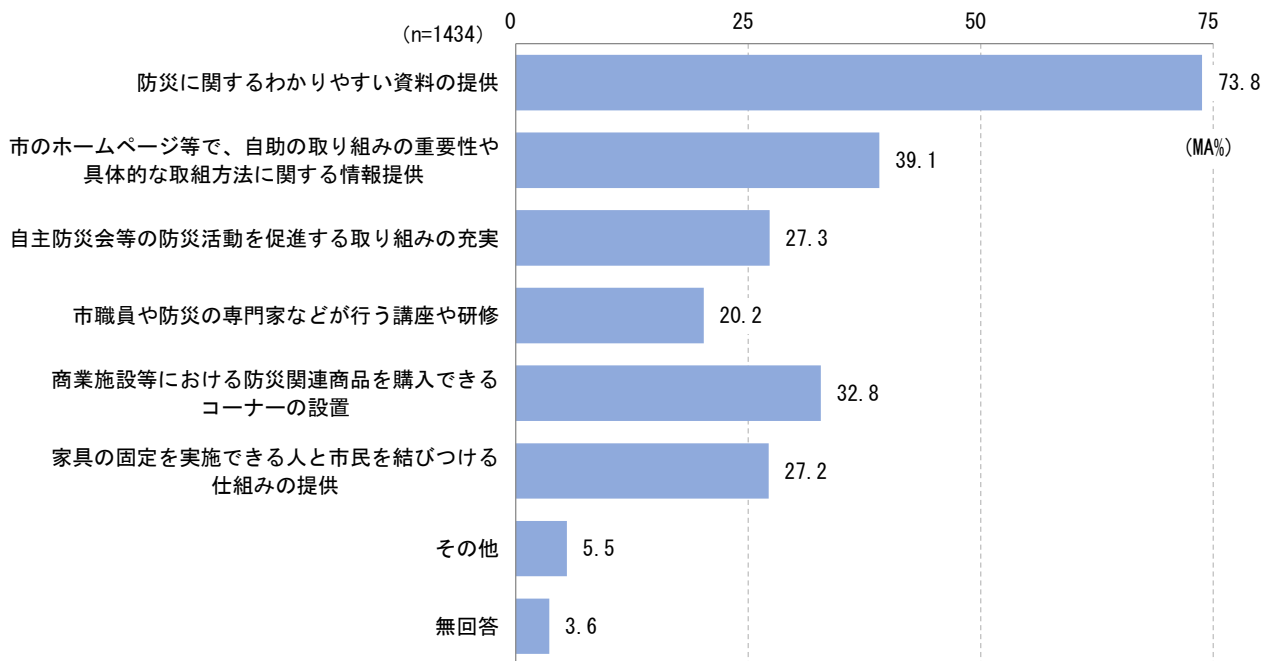
年齢別でみると、いずれの年齢層も「テレビ」が8～9割台と最も高くなっている。これに続くのが、10・20歳代では「市以外のホームページ、Facebook・Twitter」、30～40歳代では「知人からの情報提供」、50歳以上では「新聞などの紙媒体」となっている。

居住する地区別でみると、いずれの地区も「テレビ」が8～9割台と最も高く、次いで「新聞などの紙媒体」となっている。

(5) 災害に備えた自助の取り組みに必要な支援

問 29 あなたは、地震や大雨等の災害に備えた自助（自分の生命、財産などは自分で守る）の取り組みを進めるうえで、市からはどのような支援が必要であると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【災害に備えた自助の取り組みに必要な支援】



災害に備えた自助の取り組みを進めるうえで必要な支援としては、「防災に関するわかりやすい資料の提供」が73.8%と最も高く、次いで「市のホームページ等で、自助の取り組みの重要性や具体的な取組方法に関する情報提供」が39.1%、「商業施設等における防災関連商品を購入できるコーナーの設置」が32.8%となっている。

【属性等別 災害に備えた自助の取り組みに必要な支援】

(上段：人、下段：%)

	調査数	防災に関する資料の提供	市や自治体の具体的な取り組みに関する情報提供	市のホームページ等で、自助の取り組みの重要性	自主防災会等の取り組みの促進	市職員や防災の専門家などが行う講座や研修	商業施設等における防災関連商品の購入できるコーナーの設置	家具の固定を結びつけたり、仕組みの提供	その他	無回答
市全体	1434 100.0	1058 73.8	560 39.1	391 27.3	289 20.2	471 32.8	390 27.2	79 5.5	52 3.6	
【性別】										
男性	597 100.0	443 74.2	259 43.4	161 27.0	110 18.4	171 28.6	128 21.4	43 7.2	20 3.4	
女性	816 100.0	601 73.7	292 35.8	227 27.8	177 21.7	292 35.8	256 31.4	36 4.4	32 3.9	
【年齢】										
18～29歳	112 100.0	82 73.2	49 43.8	24 21.4	21 18.8	49 43.8	24 21.4	5 4.5	3 2.7	
30～39歳	158 100.0	113 71.5	77 48.7	35 22.2	35 22.2	71 44.9	42 26.6	9 5.7	1 0.6	
40～49歳	241 100.0	166 68.9	118 49.0	52 21.6	38 15.8	81 33.6	59 24.5	14 5.8	4 1.7	
50～59歳	222 100.0	171 77.0	94 42.3	61 27.5	52 23.4	80 36.0	59 26.6	16 7.2	6 2.7	
60～69歳	312 100.0	234 75.0	115 36.9	91 29.2	61 19.6	87 27.9	86 27.6	23 7.4	8 2.6	
70歳以上	367 100.0	278 75.7	97 26.4	124 33.8	79 21.5	95 25.9	114 31.1	12 3.3	29 7.9	
【居住年数】										
10年未満	21 100.0	14 66.7	8 38.1	7 33.3	6 28.6	5 23.8	3 14.3	0 0.0	1 4.8	
10～19年	222 100.0	159 71.6	99 44.6	50 22.5	41 18.5	95 42.8	51 23.0	13 5.9	1 0.5	
20年以上	1178 100.0	877 74.4	449 38.1	331 28.1	242 20.5	366 31.1	330 28.0	65 5.5	50 4.2	
【居住する地区】										
山地部	14 100.0	8 57.1	2 14.3	5 35.7	2 14.3	3 21.4	2 14.3	1 7.1	4 28.6	
丘陵部	164 100.0	123 75.0	63 38.4	53 32.3	35 21.3	49 29.9	45 27.4	8 4.9	2 1.2	
周辺部1	258 100.0	199 77.1	105 40.7	65 25.2	55 21.3	85 32.9	76 29.5	13 5.0	9 3.5	
中心部	665 100.0	481 72.3	265 39.8	181 27.2	128 19.2	228 34.3	173 26.0	37 5.6	25 3.8	
周辺部2	313 100.0	231 73.8	120 38.3	84 26.8	67 21.4	100 31.9	86 27.5	20 6.4	11 3.5	
わからない	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	

年齢別で見ると、いずれの年齢層も「防災に関するわかりやすい資料の提供」が6～7割台と最も高くなっている。また、「市のホームページ等で、自助の取り組みの重要性や具体的な取組方法に関する情報提供」が30～40歳代、「商業施設等における防災関連商品を購入できるコーナーの設置」が10～30歳代で、それぞれ4割台と高くなっている。

居住する地区別で見ると、いずれの地区も「防災に関するわかりやすい資料の提供」が最も高く、概ね7割台となっている。

資料編

茨木市のまちづくりに関するアンケート

《ご協力のお願ひ》

平素から、皆さまには市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、まちづくりの基本指針である「第5次茨木市総合計画」に基づいて、皆さまのご協力のもと施策を推進しておりますが、社会経済情勢の変化やそれに伴う市民ニーズの変化へ対応するため、中間年である平成31（2019）年度において計画を見直すこととしております。

このことから、市民の皆さまへアンケートを行い、日頃まちづくりについて考えておられることや、まちづくりに対する率直なご意見などをお伺ひし、「第5次茨木市総合計画（後期基本計画）」策定のための基礎資料として役立てていきたいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

茨木市

【アンケートの取扱について】

1. このアンケートは、18歳以上の市民の皆さまの中から無作為に選ばれた5,000人の方を対象に、調査票をお送りしています。
2. 無記名でお答えいただき、すべてのお答えをコンピューターで統計的に処理したうえで取りまとめますので、各個人のお答えの内容が明らかになることはありません。
3. このアンケートの結果を、上記の目的である基礎資料以外に使用することはありません。

【ご記入にあたって】

このアンケートには、封筒のあて名のご本人がお答えください。

【返送について】

お答えいただいた調査票は、平成31年1月28日（月）までに、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

■ あ ん け と かん と あ き
アンケートに関するお問い合わせ先
いばらきし きかくさいせいぶ せいさくきかくか
茨木市 企画財政部 政策企画課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号（茨木市役所 本館3階）

でんわ 電話：072-620-1605 ふあつくす FAX：072-623-3025

Eメール：kikaku@city.ibaraki.lg.jp

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別・年齢について、記載してください。

【性別】

【年齢】

問2 あなたの家族構成について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯（親と子） |
| 4. 三世帯世帯（親と子と孫） | 5. その他（具体的に：) | |

問3 下記のようなご家族と同居していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 就学前（0～6歳）の家族 | 2. 小学生の家族 |
| 3. 中学生の家族 | 4. 65歳以上の家族（あなた自身を含めて） |
| 5. その他（具体的に：) | |

問4 あなたがお住まいの住宅の種類について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（集合住宅） | 3. 賃貸（一戸建て） |
| 4. 賃貸（集合住宅） | 5. 社宅・寮 | 6. その他（具体的に：) |

問5 あなたの職業（兼業の場合は主なほう）について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 給与所得者（会社員、公務員、団体職員等） | 2. 自営業、農林漁業 |
| 3. アルバイト、パート、派遣社員 | 4. 学生 |
| 5. 家事 | 6. 無職 |
| 7. その他（具体的に：) | |

問6 あなたはどの小学校区にお住まいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-------------------------|-----------|------------|------------|
| 1. 茨木小学校 | 2. 春日小学校 | 3. 春日丘小学校 | 4. 三島小学校 |
| 5. 中条小学校 | 6. 玉櫛小学校 | 7. 安威小学校 | 8. 玉島小学校 |
| 9. 福井小学校 | 10. 清溪小学校 | 11. 忍頂寺小学校 | 12. 大池小学校 |
| 13. 豊川小学校 | 14. 中津小学校 | 15. 東小学校 | 16. 水尾小学校 |
| 17. 郡山小学校 | 18. 太田小学校 | 19. 天王小学校 | 20. 葦原小学校 |
| 21. 郡小学校 | 22. 庄栄小学校 | 23. 沢池小学校 | 24. 畑田小学校 |
| 25. 山手台小学校 | 26. 耳原小学校 | 27. 穂積小学校 | 28. 白川小学校 |
| 29. 東奈良小学校 | 30. 西小学校 | 31. 西河原小学校 | 32. 彩都西小学校 |
| 33. わからない（町名をご記入ください：) | | | |

2. 今後の定住意向について

問7 あなたは茨木市に通算して何年お住まいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～4年 | 3. 5～9年 |
| 4. 10～19年 | 5. 20年以上 | |

問8 今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思われませんか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 現在の場所に住み続けたい | →問9へ |
| 2. 茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない | } →問10へ |
| 3. いずれは市外に引っ越すかもしれない | |
| 4. すぐにでも市外に引っ越したい | |
| 5. わからない | →次ページの間11へ |

問9 (問8で「1. 現在の場所に住み続けたい」とお答えになった方にお聞きします。) 茨木市内に住み続けたい理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|------------------------|-------------|
| 1. 自然環境が良い | 2. 住環境が良い | 3. 交通の便が良い |
| 4. 子育て環境が良い | 5. 教育環境が良い | 6. 福祉環境が良い |
| 7. 商売や仕事の都合が良い | 8. 日常生活に必要な施設、ものがそろい便利 | |
| 9. 住み慣れている | 10. まちのイメージが良い | 11. 親や親戚がいる |
| 12. 人間関係が良い | 13. 今後もまちが繁栄・発展すると思う | |
| 14. その他(具体的に: _____) | | |

問10 (問8で「2. 茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」、「3. いずれは市外に引っ越すかもしれない」、「4. すぐにでも市外に引っ越したい」とお答えになった方にお聞きします。)

その理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|------------------------|----------------|
| 1. 自然環境が良くない | 2. 住宅が狭い | 3. 住宅の価格・家賃が高い |
| 4. 交通の便が良くない | 5. 子育て環境が良くない | 6. 教育環境が良くない |
| 7. 福祉環境が良くない | 8. 商売や仕事の都合がよくない | |
| 9. 日常生活に必要な施設、ものが不足しており不便 | | 10. まちになじめない |
| 11. まちのイメージが良くない | 12. 親や親戚と暮らす・近くに住む | |
| 13. 人間関係が良くない | 14. 今後、まちが繁栄・発展すると思えない | |
| 15. その他(具体的に: _____) | | |

3. 茨木市の現状への満足度と今後の充実への期待度について

問 11 茨木市が推進する各分野の施策について、現状への満足度と、今後の充実への期待度を聞きします。満足度と期待度をそれぞれ5段階（2、1、0、-1、-2）で評価し、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

項目	現状への満足度					今後の充実への期待度				
	大変満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	大変不満	大いに期待する	どちらかといえば期待する	どちらでもない	あまり期待してない	全く期待してない
(回答例) 地域での支えあい	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
1 ともに支えあい、健やかに暮らせるまち										
1 地域での支えあい	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
2 高齢者への支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
3 障害者への支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
4 生活困窮者への支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
5 健康づくりや地域医療の充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
6 社会保険制度の安定的な運営	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
2 次代の社会を担う子どもたちを育むまち										
7 すべての子ども・家庭状況に応じた切れ目のない支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
8 地域の人たちが互いに連携・協力した子育て	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
9 「生きる力」を育む教育	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
10 良好で快適な教育環境づくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
11 青少年が心豊かにたくましく成長できるような取組	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
3 みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち										
12 生涯学習の機会増加と情報提供の充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
13 みんなが楽しめるスポーツ活動	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
14 文化芸術活動の支援と歴史と伝統の継承	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
15 観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
16 都市間交流と国際化	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

項目	現状への満足度					今後の充実への期待度					
	大変満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	大変不満	大いに期待する	どちらかといえば期待する	どちらでもない	あまり期待してない	全く期待してない	
4 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち											
17	災害への備えの充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
18	消防・救急体制の充実強化	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
19	防犯や多様な危機への対策強化	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
20	消費者教育の推進と自立した消費者の育成	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち											
21	地域経済を支える産業の育成	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
22	時代の変化を見通した新しい産業の育成	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
23	就労支援と働きやすい職場づくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
24	地域特性をいかした計画的な都市づくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
25	良好で住みよい環境・景観づくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
26	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
27	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
28	暮らしと産業を支える交通の充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
29	市民・民間によるまちづくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
6 心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち											
30	いごちの良い生活環境	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
31	バランスのとれた自然環境	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
32	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちづくり	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
33	きちんと分別で資源の循環	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
7 まちづくりを進めるための基盤											
34	まちの魅力を市内外に発信	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
35	社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
36	地域社会の発展に貢献できる職員の育成	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
37	人権尊重のまちづくりと平和の実現	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
38	市民とともに実現する男女共同参画社会	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
39	地域コミュニティの育成と地域自治の支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
40	市民活動団体や大学など多様な主体の連携	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

4. 市政に関する情報の入手方法について

問 12 あなたは、市政に関する情報を何から知ることが多いですか。あてはまるものに3つまで ○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 広報いばらき（毎月1日発行） | 2. 市のパソコン用ホームページ |
| 3. 市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ | 4. 市の公式 Facebook・Twitter |
| 5. 新聞、テレビなどのマスコミ報道 | 6. 市が主催する学習会・講習会 |
| 7. 自治会からの回覧板 | 8. 市が作成するパンフレットやチラシ |
| 9. 行政資料の閲覧（情報ルーム・図書館等） | 10. 知人からの口コミ |
| 11. その他（具体的に： _____） | |

問 13 あなたは、市政に関する情報入手の手段として、今後どのような方法を期待しますか。あてはまるものに3つまで ○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 広報いばらき（毎月1日発行） | 2. 市のパソコン用ホームページ |
| 3. 市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ | 4. 市の公式 Facebook・Twitter |
| 5. 新聞、テレビなどのマスコミ報道 | 6. 市が主催する学習会・講習会 |
| 7. 自治会からの回覧板 | 8. 市が作成するパンフレットやチラシ |
| 9. 行政資料の閲覧（情報ルーム・図書館等） | 10. 知人からの口コミ |
| 11. その他（具体的に： _____） | |

問 14 茨木市は、市の良いところを市内外に向けて積極的に発信していると思いますか。あてはまるものに1つだけ ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |






5. 茨木市内での移動について

問 15 各交通手段の利用環境について、満足していますか？

また、「やや不満である」、「不満である」を選択した方は、不満の内容を教えてください。

※全ての交通手段についてお答え下さい。

	利用環境の満足度 (1つだけ○をつけてください)	不満に思う内容 (あてはまるもの <u>すべて</u> に○をつけてください。)
徒歩	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない	1. 歩道がない、狭いなど危険な道路が多い 2. 横断歩道がなく、道路の横断が危険な箇所が多い 3. 段差が多く、歩きづらい道路が多い 4. 自転車マナーが悪く、接触しそうで危ない 5. その他（具体的に： _____）

	利用環境の満足度 (1つだけ○をつけてください)	不満に思う内容 (あてはまるもの <u>すべて</u> に○をつけてください。)
自転車	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない 	1. 自転車が安全に通行できる道路が少ない 2. 段差が多くて通行しづらい道路が多い 3. 駐輪場がない、少ない 4. その他 (具体的に: _____)
自動車	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない 	1. 渋滞のため、時間がかかることがある 2. 道路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しそうになる 3. 交差点で交通量が多いのに右折レーンがない 4. 駐車場が少ない 5. その他 (具体的に: _____)
タクシー	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない 	1. 運賃が高い 2. タクシーに乗車するまでの待ち時間が長い 3. その他 (具体的に: _____)
バス	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない 	1. 自宅からバス停までの距離が遠い 2. バス停から目的地までの距離が遠い 3. 渋滞等により時刻表どおりに運行しない 4. バスを利用すると時間がかかる 5. バスの料金が安い 6. 始発時間が遅い 7. 終発時間が早い 8. バスの利用環境がバリアフリーに対応していない 9. その他 (具体的に: _____)
鉄道	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない 	1. 駅まで行く交通手段がない 2. 運行本数が少ない 3. 駅やその周辺がバリアフリーに対応していない 4. 混雑していて座れない 5. 駅に駐車場がない・少ない 6. 駅に駐輪場がない・少ない 7. バスと鉄道等の乗継が不便 8. 始発便が遅い、終発便が早い 9. 駅周辺が混雑しており、駅に行くまでに時間がかかる 10. その他 (具体的に: _____)
	鉄道を利用する方にお聞きします。よく利用する駅は？ (1. JR 2. 阪急電鉄 3. 大阪モノレール) (_____) 駅	

6. あなたの地域活動への参加状況について

問 16 あなたは、地域でどのような活動に参加されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------------|--------------|
| 1. 趣味・教養 | 2. スポーツ | 3. 自然保護や環境保全 |
| 4. 文化財などの保護 | 5. 地域の防犯や防災 | 6. 地域の美化 |
| 7. 子育て支援 | 8. 福祉活動 | 9. 青少年健全育成 |
| 10. 祭り・イベント | 11. その他（具体的に： _____） | |
| 12. 何もしていない | →問 17 へ | |

問 17 （問 16 で「12. 何もしていない」とお答えになった方にお聞きします。）
その理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 時間的な余裕がない | 2. 近辺で行われていない |
| 3. きっかけがない | 4. 参加したいものがない |
| 5. 体力的に難しい | 6. 地域での活動に関心がない |
| 7. 自分にとってメリットがない | 8. その他（具体的に： _____） |
| 9. 特に理由はない | |

問 18 あなたは、地域でどのような団体に所属していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|-------------|-----------------|
| 1. 自治会（町内会） | 2. 老人クラブ | 3. 婦人会 |
| 4. P T A | 5. ボランティア団体 | 6. NPO 等の市民活動団体 |
| 7. 趣味のサークル | 8. 自主防災会 | |
| 9. その他（具体的に _____） | 10. 所属していない | →問 19 へ |

問 19 （問 18 で「10. 所属していない」とお答えになった方にお聞きします。）
その理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 時間的な余裕がない | 2. 団体を知らない |
| 3. 所属したい団体がない | 4. きっかけがない |
| 5. 人間関係が煩わしい | 6. 団体に所属する必要性を感じない |
| 7. その他（具体的に： _____） | 8. 特に理由はない |

問 20 (問 18 で「1.自治会(町内会)」に○をつけていない方にお聞きします。)

自治会に加入していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 加入を勧められたことがない | 2. 連絡先や加入方法がわからない |
| 3. 活動や運営の状況がわからない | 4. 興味のある活動が行われていない |
| 5. 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 6. 役員になりたくない |
| 7. 会費を払いたくない | 8. 活動に参加する余裕がない |
| 9. 加入しなくても日常生活に支障がない(管理組合があるなど) | |
| 10. 住んでいる地域に自治会がない | 11. その他 |
| 12. 特に理由はない | (具体的に:) |

問 21 あなたの住んでいる地域の自治会がどのような活動を行っているか知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------|--------------|---------|
| 1. よく知っている | →問 22 へ | 2. ある程度知っている | →問 22 へ |
| 3. あまり知らない | →問 23 へ | 4. 全く知らない | →問 23 へ |

問 22 (問 21 で「1. よく知っている」または「2. ある程度知っている」とお答えになった方にお聞きします。)

あなたが知っている地域の自治会等の活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動 |
| 2. ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動 |
| 3. 避難訓練などの防災活動 |
| 4. 市からの通知文の配付など、地域住民に必要な情報を提供する活動 |
| 5. お祭りやレクリエーションなど、地域住民の交流を図る活動 |
| 6. 高齢者や子どもの見守り活動 |
| 7. その他(具体的に:) |

問 23 各地域では、防災・防犯活動や、高齢者や子どもの見守りなど、概ね小学校区を単位として、同じ地域に住む人たちが主体的に住みやすい地域社会をつくっていかこうとする活動が行われていますが、あなたは、このような住民主体によるまちづくりが必要だと思われませんか。あなたのお考えに近いものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 非常に重要だと思う | →問 25 へ |
| 2. ある程度、必要だと思う | →問 25 へ |
| 3. どちらとも言えない | } →問 24 へ |
| 4. あまり必要ではない | |
| 5. 必要ではない | |

問 24 (問 23 で「3. どちらとも言えない」、「4. あまり必要ではない」、「5. 必要ではない」とお答えになった方にお聞きします。)

選んだ理由について、あなたのお考えに近いものに2つまで○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 地域のことに関心がないから |
| 2. 地域社会は自然に出来上がってくるものだから |
| 3. 特別な活動をしない方がよいと思うから |
| 4. 住みやすい地域社会への活動は、行政(市)がやるものだと思うから |
| 5. 地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくないから |
| 6. その他(具体的に: _____) |

7. 防災への取り組みについて

問 25 あなたのご家庭では地震や台風などの災害に対して、どのような防災の取り組みをしていますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

項目	実施している	実施していないが、今後実施予定	今後実施予定はない	実施しておらず、わからない
①住宅の耐震補強 (耐震性のある住宅に居住している場合を含む)	1	2	3	4
②地震保険への加入	1	2	3	4
③非常用持ち出し品 (食料、備蓄水、医薬品、懐中電灯、ラジオ等)を備蓄	1	2	3	4
④非常用トイレの備蓄	1	2	3	4
⑤避難場所や経路の確認	1	2	3	4
⑥地域の防災訓練に参加	1	2	3	4
⑦近所の方とのコミュニケーション	1	2	3	4
⑧家族や知人と安否確認方法の確認	1	2	3	4

問 26 あなたのご家庭では、家具等の転倒・落下・移動について、どの程度対策をしていますか。
あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 大部分が対策を行っており、安全が確保されている | →問 28 へ |
| 2. 一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている | →問 28 へ |
| 3. 一部は対策済みであるが、不十分であり、安全が確保されているとは言えない | } →問 27 へ |
| 4. 特に対策はしておらず、安全が確保されているとは言えない | |

問 27 (問 26 で「3. 一部は対策済みであるが、不十分であり、安全が確保されているとは言えない」、「4. 特に対策はしておらず、安全が確保されているとは言えない」とお答えになった方にお聞きします。)

対策が不十分であり、安全が確保されていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 費用がかかる | 2. 手間がかかる |
| 3. 固定するなどの方法は知っているが、
自分では設置できない | 4. 家具や壁にキズをつけたくない |
| 5. どのように固定などをして良いかわからない | 6. 転倒・落下・移動しても危険はないと思う |
| 7. その他 (具体的に | |

問 28 平成 30 年に発生した、大阪府北部を震源とする地震、7月豪雨、台風 21 号などの自然災害のとき、災害に関する情報はどのような手段で得られましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ |
| 3. 新聞などの紙媒体 | 4. 自治会からの回覧板 |
| 5. 避難所や公共施設での掲示板 | 6. 知人からの情報提供 |
| 7. 市のホームページ | 8. 市の公式 Facebook・Twitter |
| 9. 市以外のホームページ、Facebook・
Twitter | 10. その他
(具体的に) |

問 29 あなたは、地震や大雨等の災害に備えた自助(自分の生命、財産などは自分で守る)の取り組みを進めるうえで、市からはどのような支援が必要であると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 防災に関するわかりやすい資料の提供 |
| 2. 市のホームページ等で、自助の取り組みの重要性や具体的な取組方法に関する情報提供 |
| 3. 自主防災会等の防災活動を促進する取り組みの充実 |
| 4. 市職員や防災の専門家などが行う講座や研修 |
| 5. 商業施設等における防災関連商品を購入できるコーナーの設置 |
| 6. 家具の固定を実施できる人と市民を結びつける仕組みの提供 |
| 7. その他 (具体的に) |

茨木市のまちづくりに関するアンケート調査
報 告 書

発行 茨木市企画財政部政策企画課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号

電話 072-620-1605

FAX 072-623-3025

平成31年3月